

石見銀山近代史料集

要書録(一)

第一集

石見銀山近代史料集第一集

要書録（一）

例言

一、島根県教育委員会・大田市教育委員会は石見銀山遺跡総合調査研究事業の一環として石見銀山の近代開発の歴史について調査研究を行っている。本史料集は石見銀山の近代史を研究する上で基本となる史料を翻刻・刊行するものである。

一、第一集には、上野寛司氏所蔵文書「要書録」（上野家文書13-4）のうち、明治十九（一八八六）年九月から同二十一年三月までを収録した。

一、「要書録」は、藤田組（現DOWAホールディングス株式会社）が明治期に石見銀山を開発するにあたり官公署宛てに提出した文書の控えである。近代石見銀山の開発状況を示す史料として知られていたが、これまで限定的な引用にとどまり総体として評価される機会がなかった。本史料は、次に略記するように藤田組による開発の初期段階の実情をよく示しており史料価値が高いことから、翻刻・刊行することとした。

一、藤田組による石見銀山の開発は明治十九年に始まるが、明治維新後一旦は新政府の管理下におかれ、同六年日本坑法公布・施行後、複数の人物が経営する民営の鉱山となっていた。藤田組は既存の借区地と製錬施設等を買収し、更に隣接地域を含め合計九万七六二七坪の借区を同二十年に獲得して当地での鉱山経営を確立した。ただし、その過程で笹ヶ谷鉱山を経営する堀家と借区権をめぐり訴訟となり、最終的には堀家が手を引く形で和議に至り藤田組が単独で全鉱区を獲得している。同二十年七月に開業式を開催し、開発に必要な

な土地の買収を順次行い施設整備を進めた。また、同五年の浜田地震により崩壊水没していた永久坑・龍源寺坑など旧坑道の修復とダイナマイトによる坑道の拡張を進め、同二十二年九月には永久坑と本谷坑が開通し、同二十三年には永久坑本坑道以下に豎坑が開削され、永久坑からの出鉱を開始した。

一、史料を所蔵する上野家（下博多屋）は、近世後期には大森代官所による鉱業活動に従事していた銀山師の家である。明治末～大正期には同家の上野席次郎が藤田組大森鉱山事務所の所長として鉱山開発に深く携わっていた。このような経緯から近世及び明治期の史料群が同家にまとまって伝えられてきた。

一、「要書録」は上野家文書13-4（明治十九年九月～同二十二年一月）と同13-6（明治二十二年一月～同二十四年十二月）の二冊が伝存している。

一、藤田組が明治期に作成した同種の簿冊は全部で八冊存在していたことが「継用帳簿及書類書留簿」（同11-1）から確認できる。文書の写しが綴られた期間は明治十九年九月～同二十九年十二月で、同家にはこのうち明治十九年九月～同二十四年十二月分をまとめた「要書録」が二冊、同二十五年四月～同二十六年九月分をまとめた「諸官省願何届書綴」（同13-5）が一冊伝わっている。

一、本史料は豎帳で、たて二三・八センチ、よこ一六・二センチ、厚さ六・〇センチ、表紙に表題と書類の連綴期間が記載されている。本紙には「藤田組」、「藤田組大森鉱山所」の二種類の罫紙が主に用いられている。

一、本書の刊行にあたり史料所蔵者の上野寛司氏、史料寄託機関の石見銀山資料館の協力を得た。記して感謝する。

一、本書の編集に際し撮影した写真類、解説文その他関係資料等は島根

県教育委員会で保管している。

- 一、掲載史料の翻刻作業は以下の体制で輪読により行い、平成二十六年九月三十日から行った。(所属は作業当時のもの)

島根県教育庁文化財課世界遺産室

熱田貴保(主席研究員) 東山信治(専門研究員)

矢野健太郎(主任研究員) 小杉紗友美(嘱託)

大田市教育委員会石見銀山課

青木俊介(副主任) 山手貴生(同) 矢部俊一(技師)

西尾克己(嘱託) 新川 隆(同) 尾村 勝(同)

- 一、本書の編集は東山、矢野、小杉の協力を得て熱田が行った。

掲載した史料には、個人の名前と平民、士族といった現代では使用されていない身分呼称が頻出する。本書の性格上、歴史的事実を正確に伝えるためにそのまま掲載している。史料の利用にあたっては、個人の人權を保護することを念頭に適切な配慮をもっていただきたい。

凡例

- 一、漢字は原則として新字体を使用し、人名は原文のままとした。

一、異体字・俗字・略字・合字のうち、メ(しめ)・扣(ひかえ)・并(ならびに)・ゞ(より)・ㄗ(こと)・ㄣ(とも)・ㄣ(とき)についてはそのままとした。

- 一、繰り返し記号については、漢字は「々」、平仮名は「ゝ」、片仮名は「ヽ」を用いた。

- 一、本文には適宜読点(、)や並列点(・)を加えた。

一、文意が通じない部分には(ママ)、文字が重複する場合は(衍)と注記した。誤字や脱字が明らか場合は()内に注記した。

一、朱書については、その部分を「」で囲むかまたは文末に注記した。貼紙は「」で囲んで右肩に(貼紙)と注記した。

一、文字が判読できない部分は□□とし、虫損の場合は(虫損)と注記した。また、原文の空白部分はそのままとした。

一、史料の抹消部分については二重線で見え消しとし、判読できない場合は□□とした。訂正された文字は該当部分の右側にポイントを下げて表記した。なお内容的に必要がないと判断される場合は訂正部分をそのまま本文とした。

一、印紙貼用と割印が手書きされている箇所については、割印の朱書・墨書の区別は省略した。

一、文字の配列は原文をできるだけ尊重したが、編集の都合上修正を加えた。また罫紙の錯簡は訂正のうえ翻刻した。

一、便宜上、史料中の個々の文書に通し番号を付けた。

一、翻刻文に若干の注を付け簡単な解説を文末に掲載した。

一、巻末に上野寛司氏所蔵文書のうち図面を除く近代史料一覧を掲載した。また島根県所蔵史料の中から本書に関係する図面の一覧を併せて掲載した。

一、参考として明治二十二年の町村合併以前の邇摩・安濃郡の村配置図と石見銀山遺跡の位置図を掲載した。

目次

例言

凡例

目次

図1 明治初期の邇摩郡・安濃郡

図2 石見銀山遺跡の位置

要書録(一)

1	借区譲り受御届	1	18	共有山ノ義ニ付奉答書	8
2	借区坑業譲受渡并増借区御願	1	19	共有山之義ニ付理由書	8
3	借区坑業譲受渡并増借区願之義ニ付副申書	2	20	証(出願時の調印につき約定書)	9
4	不承諾孕地明細書	2	21	副申書(借区并増借区出願地内における不承諾地主無印につき)	9
5	委任状之事	3	22	証(開業出願時の調印につき約定書)	10
6	通洞仮券名前御書換願	3	23	「具申書」(上申書四通提出につき)	10
7	旧坑道使用願	4	24	事務所新築御届	10
8	借区并通洞図面上連印者扣	4	25	「事務所新築に係る借地区面」	11
9	委任状写御引換願	5	26	寄留御届	11
10	借区図面上小字界線及每字坪数記載無之理由御尋ニ付答伸書	6	27	借区譲受渡并二増借区出願御指令ノ義ニ付御伺	11
11	願書(銀山町借区願地実測図上字界線一件理由書の可否通達願)	6	28	寄留出立御届	12
12	願(大田警察署大森分署新築費献納につき)	6	29	副申書(借区出願地内の堀伴成所有地は不承諾地の取扱につき)	12
13	御届(庶玄第二七九号御達に対し出願につき)	6	30	開申書(堀伴成所有地貸渡に係る約定取結の経緯につき)	12
14	警察分署寄附金之義ニ付願	7	31	寄留御届	13
15	借区譲受渡ノ件ニ付手続上申書	7	32	印鑑届	14
16	意見上申書(借区開坑願に係る堀伴成との熟議不成立につき)	8	33	地所売渡証	14
17	御届(大原順之助帰山につき)	8	34	印鑑証明願	14
			35	証明書御下付願	14
			36	地所売買ニ付登記願	15
			37	地所登記済証下付願	15
			38	売買地券書換願	15
			39	地券書換手数料上納書	16
			40	小作掛り受証	16
			41	地所買請ニ付返り証	17
			42	記(北林兼司名義の土地藤田組所有につき)	17
			43	寄留人転居御届	17
			44	寄留御届	18

45	「代人願」(浜田裁判所より小川兵市喚起の儀につき)	18	72	御願(開坑採鉱のため火薬を以て石割につき)	26
46	上申書(堀伴成所有地の貸借契約に關し松江へ出張につき)	18	73	火薬買入御願	27
47	副申書(借区地主として調印の安田廣吉資格之儀御尋につき)	18	74	火薬買入御願	27
48	委任状	19	75	御願(開坑採鉱のため火薬を以て石割につき)	27
49	「書簡」(社員谷川千代松を以談示置候一件進捗状況照会につき)	19	76	寄留人転居御届	27
50	副申書(堀伴成所有地の貸借契約取結難航のため調停願につき)	19	77	寄留御届	28
51	副申(本月十日郡役処御掛審之御諭示につき副申書へ署名願)	20	78	寄留御届	28
52	委任状之事	20	79	寄留御届	28
53	委任状之事	20	80	地券状村名訂正願	29
54	副申書(堀伴成所有地の契約取結の示談難航のため調停願につき)	20	81	「答申」(龍源寺旧坑使用上、浅田市兵衛所有地との関係有無につき)	29
55	寄留御届	21	82	御届(坑夫雇夫の喫食報知のため報時鐘につき)	29
56	寄留御届	21	83	御受書(昆布山谷鉱業借区地内にて発掘品御下げ渡しにつき)	30
57	寄留御届	22	84	火薬買入御願	30
58	遺失物堀得二付御届(昆布山谷新坑口開鑿に係る遺物につき)	22	85	副申書御下渡願(堀伴成と廣田義二郎との間にて和議成立につき)	30
59	地所売渡証	22	86	委任状	30
60	印鑑証明願	23	87	御届(大原順之助上阪不在中の代理につき)	31
61	証明書御下付願	23	88	委任状	31
62	地所売買二付登記願	23	89	印鑑届	31
63	地所登記済証下付願	23	90	印鑑証明願	32
64	売買地券書換願	24	91	地所譲与二付登記願	32
65	地券書替手数料上納証	24	92	地所登記済証下付願	32
66	記(北林兼司名義の土地藤田組所有につき)	24	93	譲受渡地券書換願	32
67	小銭文字種類及小石梵字取調書	24	94	地券書換手数料上納証	33
68	地目変換御届	25	95	御届書(借区出願地内不承諾地主との譲与示談成立につき)	33
69	火薬庫建設願	26	96	御届書(借区出願地内不承諾地主との貸借契約成立につき)	34
70	火薬庫建設方法書	26	97	火薬買入御願	34
71	御届(大原順之助不在中の代理につき)	26	98	地所譲渡二付登記願	35

125	火薬買入願	43
124	寄留御届	43
123	委任状之事	42
122	印鑑証明願	42
121	印鑑証明願	41
120	委任状之事	41
119	御届(大原順之助帰山により代理解任につき)	41
118	委任状之事	41
117	御届(火薬買入のため出頭代理につき)	40
116	火薬買入願	40
115	火薬買入願	40
114	印鑑届	39
113	印鑑証明願	39
112	御届(火薬買入のため出頭代理につき)	39
111	御届(大原順之助出張不在中の代理につき)	39
110	御届(大森銀山開業式への御臨場につき)	39
109	御届(大原順之助出張不在中の代理につき)	38
108	御届(大原順之助帰山により代理解任につき)	38
107	火薬買入御願	38
106	寄留人転居御届	38
105	寄留人転居御届	37
104	御届書(借区出願地内不承諾地主との貸借契約成立につき)	37
103	火薬買入御願	36
102	寄留御届	36
101	地券書換手数料上納証	36
100	譲受渡地券書換願	35
99	地所登記済証下付願	35

152	譲受渡地券書換願	55
151	地所登記済証下付願	54
150	地所譲渡二付登記願	54
149	譲受渡地券書替願	53
148	御証明願(登記法第四〇条に基づき所有者たることの証明願)	53
147	地券書換手数料上納証	53
146	地所譲渡証	52
145	地所登記済証下付願	52
144	地所譲渡二付登記願	52
143	譲受渡地券書換願	50
142	地券書換手数料上納証	49
141	地所登記済証下付願	48
140	地所譲渡二付登記願	48
139	印鑑証明願	48
138	御届(火薬買入のため出頭代理につき)	47
137	火薬買入願	47
136	御届(大原順之助帰山により代理解任につき)	47
135	御届(火薬買入のため出頭代理につき)	47
134	火薬買入願	46
133	建物登記済 ^(証脱) 下付願	46
132	建物譲渡二付登記願	46
131	「譲渡建物図面」	45
130	建物譲渡証書	45
129	野取実測図面帳	44
128	御払下地荒地免税年季御附与願	44
127	官有地御払下ケ願	43
126	御届(火薬買入のため出頭代理につき)	43

179	雇用受証	68
178	〔浅田市兵衛所有本屋一棟・製煉所一棟・雪隠一棟平面図〕	68
177	御届（大原順之助出張不在中の代理につき）	68
176	御届（火薬買入免シ手形下げ渡しに係る出頭代理につき）	68
175	鉱業用火薬買入願	67
174	御届（大原順之助出張不在中の代理につき）	67
173	御届（火薬買入のため出頭代理につき）	67
172	鉱業用火薬買入願	67
171	御届（火薬買入のため出頭代理につき）	67
170	委任状	66
169	御届（大原順之助帰山により代理解任につき）	66
168	御届（火薬買入のため出頭代理につき）	66
167	御届（大原順之助出張不在中の代理につき）	66
166	御届（大原順之助出張不在中の代理につき）	66
165	御届（大原順之助出張不在中の代理につき）	66
164	御届（大原順之助出張不在中の代理につき）	66
163	御届（火薬買入のため出頭代理につき）	65
162	火薬買入願	64
161	火薬庫建設落成二付御検査願	64
160	御届（火薬買入のため出頭代理につき）	64
159	御届（開鉱のため火薬を以て石割につき）	64
158	火薬買入願	64
157	譲受渡地券書換願	63
156	御証明願（登記法第四〇条に基づき所有者たることの証明願）	61
155	地所譲渡証	59
154	地券書替手数料上納証	58
153	御証明願（登記法第四〇条に基づき所有者たることの証明願）	56
206	雇用請証	69
205	雇用受証	69
204	御届（大原順之助出張不在中の代理につき）	79
203	御届（大原順之助帰山により代理解任につき）	79
202	御届（大原順之助出張不在中の代理につき）	78
201	御届（大原順之助出張不在中の代理につき）	78
200	地券書換願	77
199	解任御届（廣田義二郎代理大原順之助解任につき）	76
198	委任状之事	76
197	御届（火薬庫建築につき）	76
196	〔火薬庫建築届に係る図面〕	75
195	委任状之事	75
194	委任状之事	75
193	地所譲渡証	74
192	御届（龍源寺坑口見張所等新築につき）	74
191	〔龍源寺坑口見張所他建築届に係る粗図面〕	74
190	御届（製煉所増築并分析場建築につき）	73
189	〔製煉所増築并分析場建築届に係る図面〕	73
188	旧坑道使用願	72
187	通洞譲受渡二付仮券面名義書換願	72
186	借区坑業譲受渡二付坑区券面名義書換願	71
185	解任御届（廣田義二郎代理大原順之助解任につき）	71
184	委任状之事	70
183	鉱業用火薬買入願	70
182	雇用受証	70
181	雇用受証	69
180	雇用請証	69
205	寄留移転御届	79
204	御届（大原順之助出張不在中の代理につき）	79
203	御届（大原順之助帰山により代理解任につき）	79
202	御届（大原順之助出張不在中の代理につき）	78
201	御届（大原順之助出張不在中の代理につき）	78
200	地券書換願	77
199	解任御届（廣田義二郎代理大原順之助解任につき）	76
198	委任状之事	76
197	御届（火薬庫建築につき）	76
196	〔火薬庫建築届に係る図面〕	75
195	委任状之事	75
194	委任状之事	75
193	地所譲渡証	74
192	御届（龍源寺坑口見張所等新築につき）	74
191	〔龍源寺坑口見張所他建築届に係る粗図面〕	74
190	御届（製煉所増築并分析場建築につき）	73
189	〔製煉所増築并分析場建築届に係る図面〕	73
188	旧坑道使用願	72
187	通洞譲受渡二付仮券面名義書換願	72
186	借区坑業譲受渡二付坑区券面名義書換願	71
185	解任御届（廣田義二郎代理大原順之助解任につき）	71
184	委任状之事	70
183	鉱業用火薬買入願	70
182	雇用受証	70
181	雇用受証	69
180	雇用請証	69

233	〔開申〕(官有地払下に係る検査時の御尋につき)	88
232	官地 ^(行) 地御払下願	87
231	副申(火薬運搬許可証還納につき)	87
230	〔開申〕(銀銅単価報告差し替えにつき)	87
229	〔回答〕(笹田助次郎出頭要請につき)	87
228	鉱業用火薬買入願	86
227	委任状	86
226	買銃二付願	86
225	御届(大原順之助帰山により代理解任につき)	86
224	〔火薬運搬許可証還納届〕	85
223	〔火薬運搬許可証還納届〕	85
222	〔火薬運搬許可証還納届〕	85
221	〔火薬運搬許可証還納届〕	85
220	鉱業用火薬買入願	84
219	御届(大原順之助出張不在中の代理につき)	84
218	〔旧坑道使用許可に係る付属図面下げ渡し願〕	84
217	委任状	83
216	委任状	83
215	委任状	83
214	委任状	82
213	委任状之事	82
212	委任状之事	81
211	委任状之事	81
210	委任状之事	81
209	委任状之事	80
208	委任状之事	80
207	〔旧坑道使用許可再願〕	80

260	代理人御届(所有地納税につき)	96
259	〔回答〕(奈良博覧会の鉱石出品の有無に係る照会につき)	96
258	寄留御届	95
257	委任状之事	95
256	委任状之事	95
255	委任状之事	94
254	委任状之事	94
253	委任状之事	94
252	委任状之事	93
251	委任状之事	93
250	委任状之事	93
249	委任状之事	93
248	委任状之事	92
247	委任状之事	92
246	委任状之事	91
245	委任状之事	91
244	委任状之事	91
243	御届(官有地払下に係る代金上納につき)	91
242	〔回答〕(山陰新聞掲載記事に関する照会につき)	90
241	副申(明治二十一年度借区納税額誤謬のため切符再下付願につき)	90
240	鉱業用火薬類買入願	90
239	御届(事務所設置及び事業所の名称につき)	90
238	副申(火薬運搬許可証還納につき)	89
237	〔上申〕(当鉱山景況并盛衰の原由報告の期日につき)	89
236	現況報告書	89
235	〔副申〕(当鉱山景況并盛衰の原由報告につき)	89
234	鉱業用火薬買入願	88

関係文書・図面目録

	注		
276		地券下附願	261
275		鉦業用火薬類買入願	262
274		御払下地御引渡二付請書	263
273		委任状之事	264
272		印鑑証明願	265
271		御届(地目変換の手続予定につき)	266
270		御払下地賦税御検査願	267
269		副申(火薬運搬許可証還納につき)	268
268		鉦業用火薬類買入願	269
267		「添状」(鉦石式塊出品のため差出につき)	270
266		目録(鉦石出品につき)	271
265		「添状」(奈良大仏博覧会出品目録差出につき)	272
264		「自用乗馬使用届」	273
263		御届(大原順之助出張不在中の代理につき)	274
262		「開申」(福島県物産陳列場へ出品鉦石の代価につき)	275
261			276
	108		
	102		
	101		
	101		
	100		
	100		
	100		
	100		
	99		
	99		
	98		
	98		
	97		
	97		
	97		
	96		
	96		

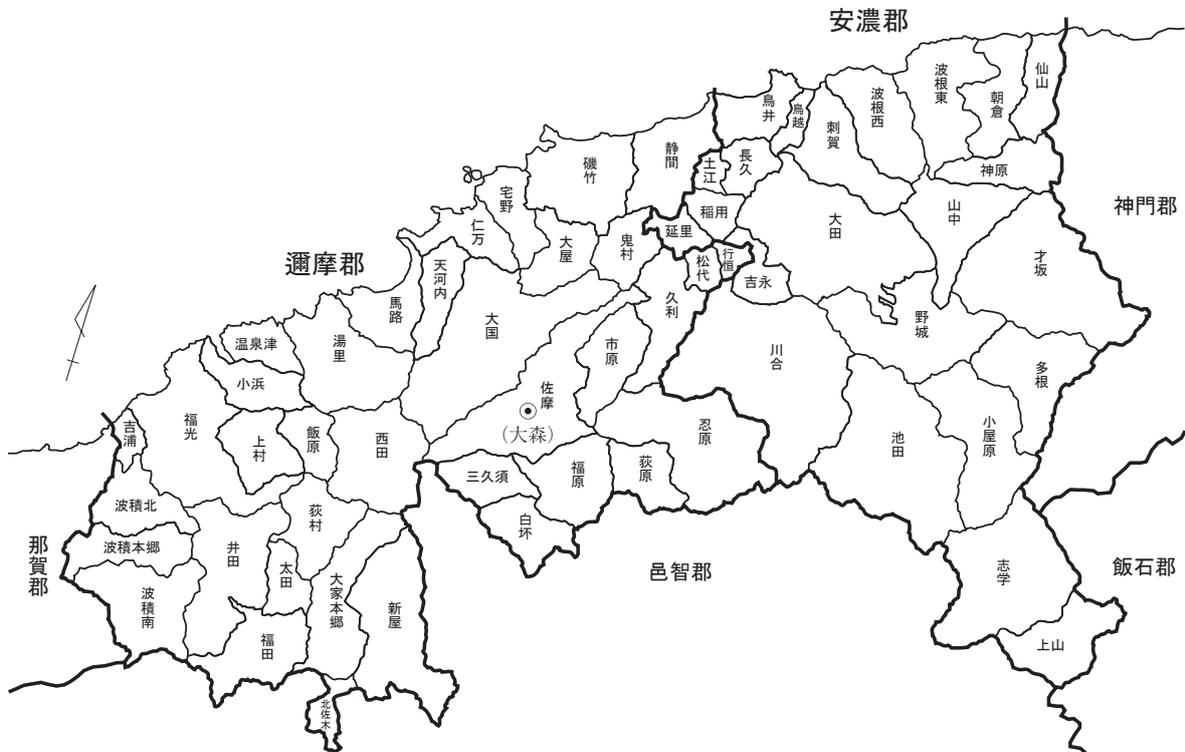


図1 明治初期の邇摩郡・安濃郡

*明治22年の合併以前の村域を示している

(『石見神楽の創造性に関する研究』2013年 鳥根県古代文化センター より引用・一部改変)

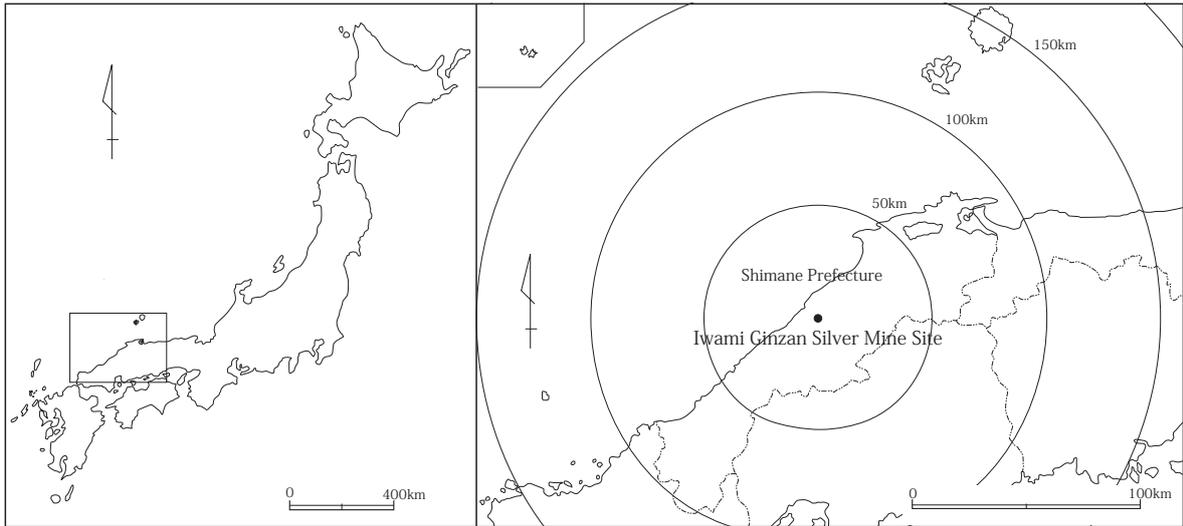


図2 石見銀山遺跡の位置

要書錄(一)

(表紙)「自 明治十九年四月
至 同 廿二年一月

要書録

「^(貼紙)永年保存」
「^(朱印)合名 藤田組大森鉦山事務所」
会社

(1から145まで「藤田組」の罫紙)

1 借区譲り受御届

当銀山町小川兵市外壱名稼中ニ有之候佐摩村銀山借区、今般廣田義二郎へ譲り受候ニ付、右引継トシテ拙者委任ヲ受出張仕候、就テハ右手続上ニ付万端願出候間、此段不取敢御届申上置候也

山口県長門国阿武郡萩南古萩町
十三番地当時大坂府下東区伏見町三丁目十四番地寄留

廣田義二郎⁽⁴⁾代人

大坂府下東区北浜五丁目十六番地

寄留

大原順之介⁽⁵⁾印

明治十九年九月廿日

佐摩村外四ヶ村

戸長宗岡光壽⁽⁷⁾殿

外ニ同文ニテ郡役所へ壱通差出候事

邇摩⁽⁸⁾

郡長中村秀年⁽⁹⁾殿

安濃

2

借区坑業譲受渡并増借区御願⁽¹⁰⁾

鳥根県石見国邇摩郡佐摩村百七十九番地

平民

借区坑業譲渡人 小川兵市

全県全国全郡大國村式百七十三番地

平民

全 田中義太郎⁽¹¹⁾

山口県長門国阿武郡萩古萩町十三番地

当時大阪府東区伏見町三丁目拾四番地寄留

平民

借区坑業譲受 廣田義二郎

及増借区出願人

一、鳥根県石見国邇摩郡佐摩村字銀山町

昆布山谷

小字

出シ辻

但民有地

銀銅鉦借区場三千七百七拾貳坪八合

右従前借区坑業ノ処、今般譲受渡ノ分、借第三六四九号

一、鳥根県石見国邇摩郡佐摩村字銀山町

昆布山谷

出シ辻

但民有地

小字

栃畑谷

仙ノ山

石銀山

銀銅鉦借区場九万三千八百五拾四坪貳合

右別紙図面之通、今般増借区出願ノ分

合計銀銅鉦借区場九万七千六百貳拾七坪

右之通前書ノ借区地ニ於テ、從來坑業罷在候処、今般都合ニ依リ双方熟談ノ上、借区年限中廣田義二郎へ坑業悉皆譲渡申度、御許可ノ上ハ譲受人ニ於テ、後書之通増借区相願、更ニ盛業ヲ謀リ度精神ニ御座候、尤モ地元へ及示談候処、別紙副申書之通ニ御座候間、御許可相成候様仕度、則譲渡人借区券并ニ増借区図面相添此段以連署、此段併テ奉願上候也

附箋

本文借区券状ハ、本年六月十八日附増借区出願之節、御本省へ差出シ有之候間、此段付箋仕候也

右

借区坑業譲渡人

明治十九年十月七日

小川兵市印

全

田中義太郎印

借区坑業譲受及増借区出願人

廣田義二郎代人

大阪府東区北浜五丁目拾六番地寄留

兵庫県士族

大原順之助印

右五通十月七日佐摩村外四ヶ村戸長役場へ進達ス

3 借区坑業譲受并増借区願之義ニ付副申書

從來借区坑業罷在候島根県下石見国邇摩郡佐摩村字銀山町銀銅鉞借区、今般該地方ノ隆盛ヲ計シカ為メ、大阪藤田組廣田義二郎へ譲渡シ、更ニ同人ニ於テ坑区ヲ擴張シ盛業ヲ企図仕度目的ニ付、早速該区内地主へ熟談ニ及候処、別紙図面ニ黄色記標及明細書ノ通、全区九万七千六百貳拾七坪ノ内、僅々斜面合反別壺町八反三畝拾五歩、此地主三名ニ於テハ彼

是故障ヲ申立、一向承諾不致呉、素ヨリ隣傍ハ連続耕地而已ニシテ他ノ地主ニ在リテハ速ニ承諾致呉候モ、独リ彼等ニ於テ苦情ヲ申募リ候段、更ニ其理由ヲ弁知不仕候、仮令開業候氏、該地上ニハ毫モ障害無之筈百方弁明頼談ニ及候得共、強テ相拒ミ其理由書モ差出不申、徒ニ示談ノ為時日ヲ遷延シ、開業ノ機会ヲ失シ候テハ困難ノ事情不尠而已ナラス、到底相互ノ熟談ハ整ヒ兼候様信認仕候間、不得止不承諾地主孕地ノ俣出願仕候間、何共恐縮ノ至リニ奉存候得共、事實御洞察ノ上、特別ノ御詮議ヲ以テ可然様御処断被成下、至急増借区御許可相成候様仕度、此段譲受渡人連署ヲ以テ奉願上候也

明治十九年十月七日

借区坑業譲渡人

小川兵市印

鳥根県石見国邇摩郡佐摩村百七十九番地平民

全

田中義太郎印

山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地平民

借区坑業譲受

廣田義二郎代人

及増借区出願人

大阪府東区北浜五丁目十六番地寄留

兵庫県士族

大原順之助印

右

4 不承諾孕地明細書

石見国邇摩郡佐摩村ホ三百七十六番字昆布山谷切石

一、山反別 貳反歩

橋本武一郎

全国全郡全村ホ三百八十番
字サイカ

一、山反別 九反歩

全国全郡全村ホ三百八十式番
字村上前

一、山反別 式畝拾式歩

全国全郡全村ホ百六十四番
字天井道ノ布下

一、畑反別 式反七畝三歩

全国全郡同村ホ百六十三番
字天井道ノ左

一、畑反別 七畝拾八歩

全国全郡全村ホ三百七十番
字サヅマイ原

一、山反別 三反六畝拾式歩

合計壱町八反三畝拾五歩

右之通御座候

明治十九年十月七日

右同人

右同人

右同人

田辺太伸

金銅実叫

島根県

譲渡人 小川兵市印

同 田中義太郎印

大阪

譲受人 廣田義二郎代人

大阪

大原順之助印

右

5

五厘
印紙

委任状之事

一、拙者都合ニ扱リ大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者ノ名義ヲ以テ左ノ権限ノ事ヲ代理為致候

一、石見国邇摩郡佐摩村銀山田中義太郎・小川兵市借区ノ分、今回拙者へ譲リ受ルニ付、全人トノ間ニ於テ定約取結ノ件及右ニ関スル官衙へ出願向取扱ヒ并ニ代印ノ事

大阪府東区伏見町三丁目拾四番地寄留

廣田義二郎印

明治十九年九月九日

右之通相違無御座候也

明治十九年十月七日

大原順之助印

島根県知事籠手田安定殿

右之通各五通外二借区図面五枚、十月七日佐摩村戸長役場へ出ス

6 通洞仮券名前御書換願

島根県石見国邇摩郡佐摩村百七十九番地

平民

通洞譲渡人 小川兵市

全県全国全郡大國村式百七十三番地

平民

全 田中義太郎

山口県長門国阿武郡萩古萩町十三番地

大阪府東区伏見町三丁目拾四番地寄留平民

通洞譲受人 廣田義二郎

通第五号 明治十八年十二月十六日御許可

島根県石見国邇摩郡佐摩村

字昆布山谷

通洞壺ヶ所

島根県石見国邇摩郡佐摩村字銀山町銀銅鋳借区、今般双方熟談ノ上廣田義二郎へ譲渡候、付テハ前書通洞仮券右譲受人名前ニ御書換被成下度、別紙仮券相添、譲受渡人以連署此段奉願候也

右通洞譲渡人
譲渡人

小川兵市印

明治十九年十月七日

同 田中義太郎印

通洞譲受人 廣田義二郎代人

大阪府東区北浜五丁目拾六番地寄留

兵庫県士族

大原順之助印

右

7 旧坑道使用⁽¹⁵⁾
進瀬願

島根県石見国邇摩郡大国村字柑子谷永久通洞并全郡佐摩村字大谷龍源寺通洞之義ハ、往古ノ開設ニシテ当銀山全区ノ疏水坑道ニ有之候処、去明治五年震災ニ罹リ所々崩壊シ爾来全ク不用ニ属居候処、此度別紙願之通借区譲り受更ニ増借区出願ノ上鋳業拡張候、付テハ右通洞必要ニ有之候付、改良修補仕度、尤モ通洞ノ地位ニ当リ候地主ト示談相濟、且近傍ニ於テ借区主無之候間、右御許可相成候様仕度、別紙図面相添此段奉願上候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地

大阪府東区伏見町三丁目拾四番地寄留

明治十九年十月七日

平民 通洞出願人 廣田義二郎代人

大阪府東区北浜五丁目拾六番地寄留

兵庫県士族

大原順之助印

右名前書換願ハ五通、通洞願ハ六通、十月八日佐摩村戸長役場へ差出シ、十月十三日戸長奥書調印済、同日邇摩⁽¹⁶⁾村戸長役場へ再ヒ差出シ、大国村戸長安井好尚氏ノ奥書調印ヲ受ケ、借区開坑願ト共ニ邇摩郡役所へ進達ス

8 借区并通洞図面上連印者扣

島根県石見国邇摩郡佐摩村字銀山町

銀銅鋳借区願地 尺度本形

五千分ノ一 実測図

島根県石見国邇摩郡佐摩村百七十九番地

平民

借区譲渡人 小川兵市印

全県全国全郡大国村式百七十三番地

民地字昆布山谷、出シ辻

平民

全 田中義太郎印

山口県長門国阿武郡萩古萩町十三番地

平民

借区譲受并 廣田義二郎

増借区出願人

大阪府東区北浜五丁目拾六番地寄留

以上拾一名

兵庫県士族
 右代人 大原順之助印
 島根県石見国邇摩郡佐摩村百九十番地
 平民
 地主惣代 高橋富三郎印
 同県同国全郡全村百三十九番地
 平民
 同上 三原幾次印
 、、、、、、、百六十七番地
 平民
 全上 小割安三郎印
 、、、、、、、百八十九番地
 平民
 全上 三宅丈一郎印
 、、、、、、、式百四十三番地
 平民
 全上 安田廣吉印
 、、、、、三久須村
 平民
 全上 長見幾三郎印
 、、、、、三久須村
 平民
 全上 上野久四郎印
 地元戸長
 宗岡光寿印



島根県石見国邇摩郡 佐摩村字大谷・栃畑谷
 大國村字柑子谷
 通洞願地式ヶ所 尺度本形
 五千分ノ一 実測図
 願人 廣田義二郎
 右代人 大原順之助印
 地主惣代 高橋富三郎印
 全上 三原幾次印
 全上 小割安三郎印
 全上 三宅丈一郎印
 全上 安田廣吉印
 大國村式百三十番地平民
 全上 田中正容印
 地元戸長 宗岡光寿印
 全 安井好尚印
 以上九名

9 委任状写御引換願
 私義先般邇摩郡佐摩村銀山借区出願之節、差出候委任状写此度別紙之通
 本状増補訂正仕り、既二県庁へハ直ニ差出置候間、郡戸両御役所御扣ノ
 分、別紙写卜御引換相成度、此段奉願候也
 明治十九年十一月十五日 大原順之助
 代人 鈴木正吉印

佐摩外四村戸長宗岡光壽殿

右ノ通式通差出シ、委任本状ハ係員熟覽ノ上返戻シ、写シ式通丈ケ差出置候事

10 借区図面上小字界線及每字坪数記載無之理由御尋ニ付答伸書

鳥根県下石見国邇摩郡佐摩村字銀山町銀銅鉞借区願地実測図面上小字界線及每字坪数記載無之ハ、去明治十六年工部省御達ノ借区図式ニ戻リ、不都合ニ付理由御取札ニ相成候処、謹テ左ニ答伸仕候間、特別ノ御詮議ヲ以テ右界線等記載無之俾其御筋へ御進達被成下度、此段奉願上候也

邇摩郡佐摩村字銀山町借区出願場ノ義ハ、峻嶮ナル高峯断崖中ニ有之、場内小字界線ノ如キ土地古老中斯事熟知致候者ニ就キ質問仕候処、不判然ノ箇所数多有之、到底精確ニシテ毫モ誤謬無之様字界線測量執行ハ至難ノ業ニ有之候へハ、則チ曖昧不明ノ字界線等ヲ実測図上記載致テハ、乍恐真ニ無益ト信認致シ候ノミナラズ、却テ後日ノ不都合釀生可致ト恐察仕リ、御成規ヲモ願ミズ暫ク字界線等ノ記載省略仕候、以上
明治十九年十一月一日 廣田義二郎代人

鳥根県農商課御中

大原順之助印

11 願書

本月一日附ヲ以御県下石見国邇摩郡佐摩村銀山町銀銅鉞借区願地実測図上字界線云々ノ義ニ付、理由書尙札差出申候処、万一其御筋ニ於テ右理由御聞届ニ不相成節ハ御課へ出頭ノ上訂正仕度ニ付、御手数ノ段恐縮ノ至ニ御座候得共、何卒右御聞届無之節ハ其旨銀山町宛ニテ私迄御通達被

成下度、此段以書面奉願上候也

明治十九年十一月十一日

廣田義二郎代人

大原順之助印

鳥根県農商課

御中

12 願（全体に抹消線あり）

「此分不用奥ニ改正」

一、金五拾円也

右ハ当県下安濃郡（天）太田警察署大森分署新築費之内江前頭之金額献納仕度、此段奉願候也

廣田義二郎代理

大原順之助印

明治十九年十一月廿日

鳥根県知事籠手田安定殿

13 御届

廣田義二郎代人 大原順之助

藤田組社員 島村彦三

世話人 栗栖佐四郎

同 三宅丈一郎

庶亥第貳百七十九号御達ニ付右之者出願可仕候間、此段御届申上候也

十二月廿弍日

大原順之助

佐摩村外四ヶ村

戸長宗岡光壽殿

14 警察分署寄附金之義ニ付願

一、金五拾円也

右ハ島根県大田警察署大森分署建築費之内へ首標ノ金額寄附仕度候間、御加へ相成候様致度、此段奉願候也

明治十九年十一月廿六日

廣田義二郎代理

大原順之助

熊谷信常殿^①

川北徹藏殿^②

松原小兵衛殿

15 借区讓受渡ノ件ニ付手續上申書

一、今回私共始メ現借区人小川兵市外一名其他地主關係人等御呼出ニ付
出頭仕候処、知事殿ヨリ一鉢山両借区坑業ハ将来百般ノ不利益タル理
由親シク御懇諭ニ相成奉畏候、就テハ農商課長并ニ郡長殿ノ御取扱ヒ
ヲ以テ左ノ二題ニ対シ書面ヲ以テ意見陳述可致旨被仰渡概略上申仕候
第一 堀家^③ヨリ借区出願中ノ地所使用權及地主人民ニ関スル定約ヲ讓受
継行スル件

第一項 私共先般小川兵市外名ノ現借区及通洞ヲ讓リ受全山中
富鉦ノ地下見認ケルケ所ハ地主卜定約ヲ結ヒ、已ニ十月七日付
願書ノ如ク讓受渡シ併セテ増借区并ニ通洞式ケ所出願仕、尚將
来必要ノケ所ハ大凡地主卜定約ヲ結ヒ、坑業擴張可致計画ハ已
ニ準備仕候得ハ、更ニ私共ニ於テ緊要ノ坑区ハ無之様思考仕居
候得共、今回知事殿ノ御懇諭ニ基キ堀家卜熟議ヲ遂ケ銀山再興
ノ実ヲ拳ル精神ニ御座候事

第二項 堀家卜熟議スルニハ、同家卜地主人民トノ間ニ取結ヒタル契約中、其筋ニ於テ相当卜御見認メニ相成、且私共ニ於テ有
功ト思考スル件々ハ引継履行可致事

第三項 堀家ヨリ既ニ借区出願中ノ地所其他^外同家ノ定約地所、私
共ニ於テ緊要ト思考スルケ所ノ使用權ハ悉皆讓受可申事

第四項 堀家カ借区出願ノ順序ヲナスニ付、判然費消シタル金額
ニ対シ適切ノ名義ヲ附シ、相当ノ金円相渡スベキ事

第五項 以上ノ趣意ヲ以テ熟議完結スル時ハ、将来同家及同家ノ
賛成人等ト紛議葛藤ノ生セサル盟約証ヲ取換ハセ、之ニ郡戸長
殿ノ認可証ヲ受クヘキハ勿論、知事殿ノ御懇諭ニ基キ今後借区
両立ニ不至様、全山ノ地主人民等ヨリ私へ無斷他へ坑業ニ関ス
ル地所定約致間數旨ノ一札ヲ要候事

第二 私共先般讓受タル現借区通洞及製煉場、今回出願致候増借区及式ケ
所ノ通洞其外将来坑業擴張ニ付必要ノ地所使用權讓渡ノ件

第一項 私共現借区讓渡人年来ノ素志ヲ継キ、乍不及坑業擴張シ
テ銀山再興ノ実ヲ拳ルノ目的ヲ以テ、先年来不容易辛苦ヲ經、
且不尠資材ヲ抛チ、漸ク今日ノ結果ヲ得タル次第第二御座候付、
多年ノ辛苦ヲ放擲シ今更他へ讓渡候テハ世ノ所謂売山者流ト同
一視サレ、旁以テ讓渡人素志継続ノ意ニ悖リ候付、讓渡候義ハ
甚以迷惑仕候事

第二項 前項申述タル通二候処、強テ我意ヲ張ル心底ハ毛頭無之、
飽迄モ知事殿ノ御懇諭ニ基キ双方熟議ヲ謀リ度精神ニ御座候得
共、其方法ニ至リテハ互ニ輕重難易有之義卜存候得ハ、第一題
各項ニ拠リ御取扱相成候ハ、熟議モ速ニ纏リ易ク双方ノ便宜
卜存候事

右之通上申仕候間可然御取計被成下度、此段奉願候也

十九年十一月三十日
島根県

廣田義二郎代人

大原順之助印

農商課御中

16 意見上申書

一、当県下石見国邇摩郡佐摩村字昆布山谷其他ニ於テ現借区人小川兵市外名ヨリ私へ譲受ノ借区ニ併テ増借区出願(去十月七日付)中、堀伴成ヨリ隣借区出願仕候ニ付テハ、今回本県江御召寄ニ相成県知事殿ヨリ一鉦山借区主両立ハ将来百般ノ不利益ニ付、可相成ハ一借区ニ引纏メノ熟議可致様、双方へ親シク御内訓ノ処、双方ニ於テ各意見モ有之、終ニ熟議整ヒ兼候ヨリ、左ノ趣意書面ヲ以テ上申可致様被仰渡候間、即陳述仕候

一、一鉦山両借区ハ私共ニ於テ敢テ希望不仕候ニ付、今回ノ御内訓ニ基キ可相成ハ、一纏メニ可致心底ヲ以テ過日意見書差出候処、隣借区人堀家ニ於テ承諾致兼候場合有之、不得止双方ノ願書其筋へ御進達相成ニ付テハ、今後其筋ノ御詮議ヲ以テ万一双方へ御許可ノ節ハ、開業ニ先チ営業上ノ利益ヲ増進シ且弊害ヲ防クヘキ意主ヲ以テ、緊要ノ件々互ニ協議ヲ遂ケ申合規約結了可致事

一、今後其筋ヨリ借区御許可否ノ御指令有之候迄ハ、地元人民ニ対シ今回借区出願件ニ係ル坑法外ノ詞訟致問敷候事

右上申仕候也

明治十九年十二月四日

廣田義二郎代人

大原順之助印

島根県

農商課御中

17 御届

私義昨夕帰山仕候間、此段御届申上候也

十九年十二月十一日

大原順之助印

邇摩安濃郡長中村秀年殿

外ニ佐摩村戸長宗岡光寿殿宛尅通

18 共有山ノ義ニ付奉答書

石見国邇摩郡佐摩村銀銅鉦借区、小川兵市外名ヨリ廣田義二郎譲受、併テ増借区出願中ニ候処、就中借区内共有山ニ当リ名主承諾及捺印等ノ儀ニ付、御下問ノ趣ヲ以テ取糾別紙両通相副、此段連署ヲ以テ上申仕候

廣田義二郎代人

大阪府東区北浜五丁目十六番地

明治十九年十二月十一日

大原順之助印

石見国邇摩郡佐摩村

小川兵市印

同国同郡大田村

田中義太郎印

島根県農商課御中

19 共有山之義ニ付理由書

石見国邇摩郡佐摩村銀山字仙ノ山ノ内共有山ノ義ハ、明治十年度山林取調ノ際、組長中協議ヲ遂ケ組長ノ内上組ニテ高橋芳太郎、下組ニテ門脇格造ヲ以テ共有山名義主ト相定メ、共有名簿上申罷在候処、明治十五年六月鉦業ノ為メ小川兵市、田中義太郎ヨリ該山借受度旨依頼ニ応シ、協

議ノ末門脇格造名義ヲ以テ芳太郎義八明治十五年二月死去ス別紙定約書写シノ通貸与ノ契約取結ヒ、借地料一ヶ年金八拾錢ト相定、該金八年々小割安三郎方へ受取、高橋富三郎へ相渡シ諸税仕払来候処、当度大坂府下廣田義二郎右兩人借区讓渡シ候ニ付、前頭契約ヲ履行致シ、出願図面等へ調印承諾委任候処相違無之候、依之保証人連署取扱ノ理由書差進候也

石見国邇摩郡佐摩村銀山字仙ノ山内共有山惣代人
門脇格造印
明治十九年十二月十日

全国全郡全村

保証人 高橋富三郎印

全国全郡全村

保証人 小割安三郎印

全国全郡全村

保証人 高田安太郎印

廣田義二郎代

大原順之助殿



証

佐摩村赤四百拾八番

字仙ノ山

一、山反別四町三反三畝拾五步

右地所貴殿等鉞業稼方御見込有之由ニテ御依頼ノ旨承諾仕候、然ル上ハ将来御出願之節速ニ調印可致候、依テ為後証地主約定証相渡申処如件

銀山共有山惣代人

明治十五年六月

小川兵市殿

外沓名

右定約証写相違無之候也

明治十九年十二月十一日

小川兵市印
田中義太郎印

21 副申書

十月七日付ヲ以高根県石見国邇摩郡佐摩村字銀山町銀銅鉞借区讓受并増借区出願候処、該願地内字昆布山谷・枳畑谷ノ中故福田啓次所有地ノ義ハ曩キニ讓渡人小川兵市外沓名ト借地定約致シ、且同人義ハ坑業同盟中ノ者ニ有之候、同人死去ノ後尚又明治十五年六月別紙定約写ノ通相続人福田吉太ト定約取結ヒ、借区図面ヘモ記名調印シ大凡現借区内ニ囲包致候レ居ニ付、此度増借区出願ニ就テハ別段図面上調印ハ必用無之義ト存候得共、右地所ノ内現借区線外ニ少許ツ、散在致居候ニ付、調印ノ義、○同人親戚吉田品吉本人福田吉太ハ先般来ヘ熟談ニ及候得共、不承知ヲ唱ヘ調印致呉不申、尤モ該借区線外少片ノ部ハ前陳ノ如ク定約囲包内ノ地ニ有之候得ハ、無論本人ニ於テハ異存無之義ト存候得共、不在中代人ニ於テ彼是相拒ミ、徒ニ示談ノ為メ時日遷延候テハ困難ノ事情モ御座候ニ付、承諾印無之俣出願仕候間、事實御洞察成被下願ノ通御許可相成候様仕度、此段讓受渡人連署ヲ以副申仕候也

明治十九年十二月十一日

讓渡人 小川兵市印
全県全国全郡大國村二百七十三番地

同 田中義太郎印

讓受人廣田義二郎代人

大坂府東区北浜五丁目十六番地
大原順之助印

22
印紙 一錢 印

証

石見国邇摩郡佐摩村銀山

一、字昆布山谷

栃畑谷

右ハ今後貴殿方開業稼方御出願被成候節ハ、右字ノ内願地面我等持地ニ於テ苦情無之何時ニテモ御調印可致候、為後証依テ如件

明治十五年六月

地主

福田吉太印

小川兵市殿

外一名

(貼紙) 右之通り相違無御座候也

小川兵市〇

明治十九年十二月十一日

田中義太郎〇

以上上申書四通十二月十一日左ノ手簡ヲ添へ、書留郵便ヲ以テ

農商課へ送ル

23 「具申書」

拝啓、過般御下命相成候別紙上申書四通ノ義ハ県知事殿御上京ノ期ニ不相後為メ直ニ差出申候間御査収相成度候、尤モ右同様ノ書面郡戸両衙へ其々差出置候、右ノ外御下命ニ相成候参考書類ノ義ハ至急取揃へ相認次第差出可申候、右具申仕候也

十九年十二月十一日

廣田義二郎代人

大原順之助印

小川兵市印

田中義太郎印

島根県

農商課御中

24

事務所新築御届

邇摩郡佐摩村ニ式百五拾七番

字栃畑谷

地主

一、事務所

三原幾次

一棟

但 桁行五間半
梁行三間半

右事務所一棟今般建築仕候間、此段組長奥印ヲ以テ御届仕候也

廣田義二郎代理

明治二十年一月六日

大原順之助印

佐摩村外四村

戸長宗岡光寿殿

前書之通相違無御座候也

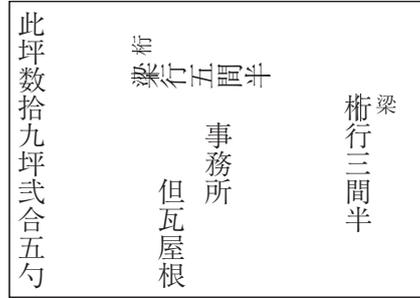
組長

明治二十年一月六日

上野榮次郎印

25 [事務所新築に係る借地図面]

邇摩郡佐摩村二式百五十七番地三原幾次ヨリ借地



書載之通相違無御座候也

廣田義二郎代理

明治二十年一月

大原順之助(朱印)

右地主

三原幾次(朱印)

26 寄留御届

大坂府下東区和泉町式丁目

三番地平民

本日ヨリ壹ケ年間寄留ノ見込

島村彦三

文久元年十一月廿五日出生 当一月廿五年三ヶ月

右本村内銀山鉦業用ニ付本日ヨリ私方へ寄留罷在候間、此段双方連署組長奥印ヲ以テ御届仕候也

邇摩郡佐摩村百八十九番地

宿屋営業人

明治廿年一月廿三日

三宅丈一郎印

右寄留者

嶋村彦三印

佐摩村外四村戸長宗岡光壽殿

27 借区讓受渡并二増借区出願御指令ノ義ニ付御伺

客年十月七日付ヲ以テ出願仕候借区讓受渡并二増借区願書ノ義、其後御
県庁ニ於テ種々御詮議ノ末、已ニ其筋へ御進達ノ趣仄カニ承知仕候処、
当初出願後殆ント三ヶ月間余ヲ經過仕候モ今以テ御沙汰無之当節柄御指
令延引相成候時ハ、地主村民ニ於テモ彼は迷惑ノ件差起リ、且讓受渡人
ニ於テモ不尠損害ヲ相醸シ、甚以テ難渋仕候ニ付、一日モ早ク御許可可
相成様仕度、右ハ憂慮ノ余リ御煩慮ヲ不顧此段奉伺候、依テ何分ノ御指
令有之度讓受渡人連署并二戸長奥印ヲ以テ奉懇願候也

石見国邇摩郡佐摩村

明治廿年一月廿四日

借区讓渡人 小川兵市

全国全郡大國村

全 田中義太郎

廣田義二郎代理

石見国邇摩郡佐摩村寄留

借区讓受人 大原順之助

嶋根県知事籠手田安定殿

28 寄留出立御届

大坂府下東区和泉町式丁目
三番地平民

寫村彦三

当二月廿五年三ヶ月

右本村内銀山鉷業用ニ付本年一月廿三日ヨリ向フ壱ヶ年間ノ見込ニテ私
方へ寄留罷在候所都合ニ依リ本日出立本籍へ帰国仕候間、此段御届仕候也

邇摩郡佐摩村百八拾九番地

宿屋營業人

明治二十年二月二十日

三宅丈一郎

右寄留者

嶋村彦三

佐摩村外四ヶ村
戸長宗岡光寿殿
太田警察署
大森分署御中

29

「更ニ別書ト引換ニ付取下ヲナシタルモノ」

副申書

昨明治十九年十月七日付ヲ以島根県石見国邇摩郡佐摩村字銀山町銀銅鉷
借区讓受並増借区出願候所、該願地内字栃畑谷小字馬場西横相ほ三百五
拾九番山反別九反三畝九歩ノ義ハ、当時安濃郡大田村平民森本格四郎ノ
所有ニ有之、銀山町組長平民安田廣吉代理ト成リ別紙ノ手續ニ依リ鉷業
用ノ為メ該地貸渡契約ノ取結ヲ致呉レ、私共ニ於テ十分正当確實ノ契約

ト信認シ其筋エモ右写ヲ差出シ、昨年十二月地所償金三ヶ月分廣吉工扨
渡候様ノ次弟ニテ飽マテ安心仕居候所、去一月下旬全国鹿足郡邑輝村土
族堀伴成ニ於テ該地悉皆買受其筋ノ公証モ已ニ相濟候哉ニ伝承仕、実ニ
愕然直ニ廣吉ニ向ヒ嚴敷詰問仕候へ共差向キ致方無之故、更ニ伴成へ契
約取結ノ示談ニ可及筈ニ御座候得共、到底不相纏事明瞭ニシテ此際無益
ノ示談ヲ開徒ニ時日遷延候テハ困難至極ノ事情有之候ニ付、曩ニ副申仕
候地所ト同様乍残念地主不承諾地ノ一二相加へ、現所有主ノ承諾印無之
俣出願仕候、尤モ今回一層嚴密精査仕候処此他借区出願線内ニ於テ毛頭
不承諾地無御座候間、目下ノ事實篤ト御洞察被成下願ノ通至急御許可相
成候様仕度、此段讓受渡人連署ヲ以テ副申仕候也

島根県石見国邇摩郡佐摩村百七十九番地

明治二十年二月廿四日

讓渡人 小川兵市

全県全国全郡大田村二百七十三番地

全 田中義太郎

讓受人廣田義二郎代

全県全国全郡佐摩村銀山町寄留

大原順之助

30

開申書

安濃郡大田村森本格四郎所有ニ有之候邇摩郡佐摩村字栃畑谷小字馬場西
横相ほ三百五拾九番地、山反別九反三畝九歩ノ義、鉷業上御入用ニ付私
義全人代理ノ名義ヲ以テ貴殿へ貸渡ノ約定取結置候処、先日堀伴成・宮
崎弥三郎兩人へ右地処売渡候趣ニ付不都合之段御詰問ニ相成、依テ該地
貸渡約定取結ノ手續左ニ開申仕候

抑私養父廣吉ト先代格四郎ノ間柄八年来実懇成ヲ以テ該地ニ関スル義

ハ、租税ハ勿論其他万般養父廣吉ヨリ私ニ至迄世話仕、既ニ先年安達惣右エ門及松本理左エ門、浅田市兵衛等借区出願且讓受渡等ノ際モ毎時私代理調印ヲ以定約仕、年々地主約定金右借区人ヨリ私方へ受取格四郎へ相渡居候処、去十八年三月右理左エ門借区禁止ノ御処分ニ相成、鉞業上ニ付テハ爾来右地所不用ト相成居候折柄、昨明治十九年六月中藤田組へ仮定約仕其旨直ニ通知ニ及置、其后私同道ニテ実地点検ヲモ仕、屹度承知有之事ニ付仮定約ヲ継キ、全年十月中貴殿へ宛テ本定約取結タル訳柄ニテ格四郎所有地私自保ニ定約仕候次第ニハ決テ無之、前陳ノ通十分手続ヲ経タル義ニ御座候、然ル処去一月下旬格四郎ヨリ伴成、弥三郎兩人へ右地所売渡候間、此段承知致呉トノ旨申来候者有之候処、格四郎ヨリ實際申来候義ナラハ、常々參付候者ヨリ承候カ或ハ仝人手翰等ニテモ携帶可仕ニ、其義絶テ無之頗疑數様相考候間、直接相談ノ上ナラテハ承知難致ニ付、近日罷越熟談ノ上決定致度候間、左様御承引有之度旨相答置候処、其後無沙汰ニテ弥売渡ノ定約相結候赴翌日承候ニ付早速公証御猶予願仕、直ニ格四郎方へ罷越先代以来常々懇意誠実ヲ以テ該地所世話向仕居候処、如何ノ訳合ヲ以俄ニ御変心被致私ニ御懇談モ無之他へ売渡相成候哉相尋候処、是迄種々配意相掛ケ貴殿へ対シ変心等決テ致タル義ニ無之候得共、此儀ハ木村樞三郎ナル者へ委托致置候故、已ニ売渡濟ニ相成候哉或ハ未濟ニ候哉相分兼候間、氣ノ毒ナガラ彼ヲ除キ相互ニテハ示談決了ニ至リ難候間、彼へ就キ示談可然決了致呉度与申答頓着不仕候ニ付大森へ歸リ樞三郎ニ面談致候処、該証書ハ已ニ橋本愛吉へ相渡置候得共公証ノ義ハ未濟ト考候旨相答候ニ付、又々直ニ戸長殿へ伺出候処、最早今朝公証相濟今更如何共致方無之旨被仰聞候仕合ニ御座候、前陳ノ如甲乙互ニ他ニ譲リ彼是ト時日ヲ延シテ其内遂ニ公証ヲ受ケ多年ノ信義ヲ破リ私ニ迷惑ヲ被ラシメ、随テ貴殿御出願ノ借区ヲ損傷致ント企タル次第ニ可有之、私ニ於テハ專ラ格四郎ノ為筋ニ相成候様取計候処、却テ右

様ノ仕向ヲ受ケ私ニ於テハ毫貴殿ヲ欺キ候精神無之ハ勿論ニ候得共今更如何トモ致方無之ニ付、事實御憐察被成下宜敷御取計被成下度、此段手續開申旁奉懇願候也

佐摩村銀山町

明治二十年二月三日

安田廣吉印

証人

小割安三郎印

廣田義二郎代理

大原順之助殿

31

寄留御届

秋田県下北秋田郡真木沢鉞山^②
八十九番地平民

本日ヨリ六ヶ月間寄留見込

北林兼司

文久元年十月十日出生

当二月廿五年四月

右本村内銀山鉞業用ニ付本日ヨリ私方へ寄留罷在候間、此段双方連署組長奥印ヲ以テ御届仕候也

邇摩郡佐摩村百八十九番地

宿屋營業人

明治二十年二月廿三日

三宅丈一郎

右寄留者

北林兼司

佐摩村外四村戸長宗岡光壽殿

32 印鑑届

紙掛一 実印〇

右私実印相違無御座候也

羽後国北秋田郡真木沢鉦山当時石見
国邇摩郡佐摩村百八拾九番地寄留

明治廿年二月廿三日

北林兼司

佐摩村外四村戸長宗岡光壽殿

33 地所売渡証

印紙

邇摩郡三久須村七百四拾五番字仙ノ山

一、伐替畑五段九畝九歩

地価金拾円八拾六錢壹厘

地租金貳拾七錢貳厘

全郡全村九百貳拾四番字貝谷奥

一、山沓町貳段六畝歩

地価金七拾八錢五厘

地租金貳錢

合反別沓町八段五畝九歩

此売買代金拾円也

右地所是迄私所有地ニ有之候処、今般貴殿へ前記売買代金拾円ニテ売渡
代金受取申候処実正也、然ル上ハ本年ヨリ地租及諸上納金共貴殿御上納
被下度、就テハ右地所ニ関スル義ハ如何様共御勝手ニ御取計可被成候、
右ニ付私ハ勿論親戚ノ者モ聊苦情申間敷候、依テ印紙貼用親戚保証人連
署地所売渡証相渡候処如件

明治二十年二月廿三日

売渡本人

廣山常次

親戚兼保証人

上野久四郎

北林兼司殿

34 印鑑証明願

〇印鑑

羽後国北秋田郡真木沢鉦山当時石見国
邇摩郡佐摩村百八十九番地寄留

北林兼司

右印鑑御証明被下度奉願候也

羽後国北秋田郡真木沢鉦山平民当時

石見国邇摩郡佐摩村百八拾九番地寄留

明治廿年二月廿三日

北林兼司

佐摩村外四村戸長宗岡光壽殿

但右式通差出ス

35 証明書御下付願

邇摩郡三久須村七百四拾五番字仙ノ山

一、伐替畑五反九畝九歩

地価拾円八拾六錢壹厘

全郡全村九百廿四番字貝谷奥

一、山沓町貳反六畝歩

地価七拾八錢五厘

右之地所今般登記願出度、付テハ該物件ニ対ス他ヨリ故障無之候間、証
明書御下付被下度、此段奉願候也

明治廿年二月廿三日
彌摩郡三久須村廿五番地
廣山常次

佐摩村外四村戸長宗岡光壽殿

36 島根県石見国彌摩郡三久須村

平民

賣渡人 廣山常次

地所売買ニ付登記願⁽²²⁾

秋田県羽後国北秋田郡真木沢鉦山

平民

買受人 北林兼司

此代価金拾円也

此手数料金式拾五錢也

明治二十年二月廿三日

右半紙白紙ニテ半切

37 地所登記済証下付願

彌摩郡三久須村七百四拾五番

字仙ノ山

一、伐替畑五反九畝九歩

地価金拾円八拾六錢壹厘

全郡全村九百式拾四番

字貝谷奥

一、山壺町式反六畝歩

地価金七拾八錢五厘

右之地所今般彌摩郡三久須村式拾五番地廣山常次ヨリ買請候ニ付、地券
書換願出度候間、登記済之証御下付被成下度、此段奉願候也

明治二十年二月二十三日

羽後国北秋田郡真木沢鉦山

北林兼司

佐摩登記所御中⁽²³⁾

「登記済 佐摩 登記所」

明治二十年二月廿四日

38 売買地券書換願

彌摩郡三久須村七百四拾五番字仙ノ山

一、伐替畑五反九畝九歩

地価拾円八拾六錢壹厘

地租式拾七錢式厘

全郡全村九百式拾四番字貝谷奥

一、山壺町式反六畝歩

地価七拾八錢五厘

地租式錢

右地所売買ニ付地券状式枚御書換被下度、成規之手数料相添戸長奥印ヲ
以テ此段奉願候也

明治廿年二月廿三日

売渡本人邇摩郡三久須村

廣山常治

買請人羽後国北秋田郡

真木沢鉦山

北林兼司

邇摩安濃郡長中村秀年殿

39 地券書換手数料上納書

三久須村七百四拾五番地券

一、金三錢

全村九百廿四番地券

一、金三錢

六錢

右納候也

羽後国北秋田郡真木沢鉦山

北林兼司

明治廿年二月廿三日

邇摩安濃郡長中村秀年殿

40 小作掛り受証

邇摩郡三久須村七百四拾五番字仙ノ山

一、伐替畑五反九畝九歩 此境

東ハ上野虎次郎大岩境、北ハ銀山之
内境、西ハ上野貞二郎松ノ木境、南
ハ同人境

凡二尺廻り

但油桐式百三拾本

全郡全村九百廿四番字貝谷奥

一、山壹町貳反六畝歩 此境

東ハ上野虎次郎水ハシリ境、北ハ銀
山々ノ境、西ハ上野貞二郎境、南ハ
上野貞二郎三谷境

但松木凡廿五本

凡三尺廻りヨリ二尺廻り

合反別壹町八反五畝九歩

一、壹ヶ年掛り受金六拾錢ト相定メ候

一、右掛り受金六拾錢毎年十二月廿日限り無遅々相納可申候、若本人相

滞候節ハ請相人ヨリ急度相納決テ遅延致間敷候、万一相滞候節ハ何時

小作掛り受御取上ケ相成候共異儀申間敷候事

一、掛り受年限ハ明治廿年二月ヨリ全廿五年一月迄五ヶ年間正ニ掛り受

申候事

一、山林立木等伐採不致様精々取締方仕候ハ勿論、私ニ於テモ決テ伐採

等致間敷候事

一、自然根返り又ハ風折木等有之候節ハ直ニ貴殿へ御届方仕御検査相受

可申候事

一、土地ノ変換等無断ニテ決テ仕間敷候

右之条々固ク相守リ可申、万一違背候節ハ何時ニテモ小作掛り御取上ケ

被成候ト、聊苦情ケ間敷義申間敷候、依テ印紙貼用請人連署小作掛り受

証相渡置候也

小作人

邇摩郡三久須村

明治廿年二月

廣山常次

請相人

北林兼司殿

上野久四郎

41 地所買請ニ付返リ証

邇摩郡三久須村七百四拾五番字仙ノ山

一、伐替畑五反九畝九歩

地価拾円八拾六錢壹厘

全郡全村九百貳拾四番字貝谷奥

一、山沓町貳反六畝歩

地価七拾八錢五厘

一、右地所ニケ所貴殿所有地ノ処今般私代金拾円ニテ正ニ買請候事

一、本年「二月ヨリ明治廿五年一月」迄五ヶ年間ニ於テ右買受代金拾円

御返金相成候ヘハ、無異儀何時ニテモ貴殿ヘ土地所有權相譲リ地券書

換ノ手續可仕候事

但明治廿四年十二月ヲ経過シ返金無之買戻ノ順序運ヒ方無之節ハ此

証書無効タルヲ

一、右期限内前記代金返済相成、仮令貴殿ノ所有地ニ地券書換ルト雖モ

藤田組廣田義二郎借区図面調印及地主契約等取結ビ方ハ無異論御記名

調印可被致ハ勿論、若全氏都合ニヨリ他ヘ譲渡等相成名義相替リ候ト

雖モ記名調印可被下候事

右地所買請返証、如件

藤田組社員佐摩村銀山町寄留

明治廿年二月廿四日

佐摩村

北林兼司

受人柳原喜代作

三久須村

廣山常次殿

42 記

石見国邇摩郡三久須村七百四拾五番字仙ノ山

一、伐替畑五反九畝九歩

此地価金拾円八拾六錢壹厘

全国全郡全村九百廿四番字貝谷奥

一、山沓町貳反六畝歩

此地価金七拾八錢五厘

合反別沓町八反五畝九歩

此地価金拾円六拾四錢六厘

右ハ本組ノ都合ニ依リ拙者名義ニ相成ト雖モ全ク本組ノ所有物ニテ、拙

者ニ於テ權利義務総テ關係無之候也

社員

明治二十年二月廿四日

藤田組御中

北林兼司

43 寄留人転居御届

邇摩郡佐摩村百八拾九番地

寄留

大原順之助

右ハ銀山鉱業用ニ付本年一月廿日ヨリ当村内百八拾九番地三宅丈一郎方
ヘ寄留致居候処、都合ニ仍リ今般光田ヒロ家宅借受本日ヨリ転居仕候間、

此段双方連署組長奥印ヲ以御届仕候也

邇摩郡佐摩村

百三十八番地

明治廿年三月九日

光田ヒロ

右寄留転居者

大原順之助

佐摩村外四ヶ村戸長宗岡光壽殿

44 寄留御届

東京芝区西久保巴町廿八番地平民

本日ヨリ壹ヶ年間寄留ノ見込

谷川千代松⁽²⁾

安政二年五月七日生 当三月三十一年十ヶ月

右本村内銀山鉱業用ニ付本日ヨリ私方へ寄留罷在候間、此段双方連署組長奥印ヲ以テ御届仕候也

邇摩郡佐摩村百八拾九番地

宿屋営業人

明治廿年三月十日

三宅丈一郎

右寄留者

谷川千代松

佐摩村外四ヶ村戸長宗岡光壽殿

45 [代人願]

小川兵市浜田裁判所ヨリ喚起相成、病氣ニ付代人願左ノ如シ

一、代人願 一、上申書 一、委任状写 一、医師診断書

一、保証願 是ハ戸長役場限り

右書類別紙扣保存有之二付文面爰ニ略ス

46 上申書

去二月廿四日付ヲ以テ邇摩郡銀山町字栃畑谷小字馬場西横相本三百五拾九番山反別九反三畝九歩ノ義ニ付副申仕候処、一応現所有主堀伴成へ示談致、然上ニテ貸借承諾ノ有無可決旨被仰聞候ニ付、直ニ全人代理堀昌造并宮崎弥三郎ヲ訪問致候処、当今兩人共出松中ノ趣ニテ帰山ノ程相待候テハ時日徒ニ遷延之恐有之二付、私義至急出松示談仕度心得ニ御座候間、此段上申仕候也

廣田義二郎代

明治廿年三月十一日

大原順之助

邇摩安濃郡長中村秀年殿

47 副申書

昨年十月七日付ヲ以差出候借区図面上地主トシテ調印致居候安田廣吉資格之義ニ付御尋ニ相成候処、全人義ハ全ク地主惣代ノ一人ニ相違無之、御参考ノ為別書委任状写差出候也

廣田義二郎代

明治廿年三月十一日

大原順之助

邇摩安濃郡長中村秀年殿

48 委任状

一、石見国邇摩郡佐摩村銀山高橋富三郎・三原幾次・小割安三郎・三宅丈一郎・安田廣吉ノ五名ヲ以左ノ権限ノ事ヲ部理代人ト相定メ委任候事
一、同国同郡同村銀山銀銅坑借区人小川兵市・田中義太郎江地所貸渡定約候処、右兩人ヨリ今般大坂府下藤田組廣田義二郎へ譲渡相成候二付、今後譲受人ニ於試掘及借区出願之書類図面へ記名調印ノ事
右委任候処、仍テ如件

石見国邇摩郡佐摩村

明治十九年九月

小割安三郎

外三拾八名爰ニ略ス

49 「書簡」

拜伸未得拜芝、時下追日春暖相加候処、益御清康被為遊御座奉恭祈候、陳共去廿日社員谷川千代松ヲ以貴宅御留主番板垣殿へ談示申上置候一件如何御運被成下候哉、乍御手数至急何分ノ貴答御申越相成度、此段及御照会候也、草々不備

廿年三月廿五日

大原順之助

堀伴成殿

堀礼造殿

50

「更ニ別書ト引換ニ付取下ヲナシタルモノ」

副申書

曩ニ二月廿四日付ヲ以テ副申仕候、当邇摩郡佐摩村銀山町字栃畑谷小字

馬場西横相ほ三百五拾九番山反別九反三畝九歩之義、現所有主鹿足郡邑輝村堀伴成ニ就キ、貸借契約取結之示談可致トノ御諭示ニ基キ本月十一日上申仕候通り、直ニ全人代理宮崎弥三郎ニ面会右示談可致為メ翌十二日当時全人滞在致居候松江へ向ケ出張仕候所、最早当所へ引取候跡ニ有之、依テ迅速飛報ヲ発シ当所ニ残置候北林兼司ヲシテ全十四日全人ニ会シ右示談為致候所、種々談論之末全人ニハ伴成所有地ノ貸借ヲ進退スル権限無之旨答候二付、不得止当方ヨリ更ニ谷川千代松ヲ在邑輝村へ出張為致候所、全人及長子禮造共山口地方へ出張中之由ニ有之候得者、去廿日留守居板垣庸次ニ面会為致候所、銀山ニ関スル事件ハ宮崎弥三郎ニ於テ委任受居ル筈ニシテ、全人ニテハ更ニ不分明ナリトノ答ニ付、然レハ右關係事件ハ総テ弥三郎へ委任シアルヤ否問直候処、事ニ抛リテハ本人へ相談之上可取計義モ可有之トノ事ニ御座候、尤モ板垣ノ言ニ抛レハ、禮造ニハ右二十日ヨリ向フ三日中ニ帰宅可致筈ニ付、其上ニテ右示談承諾ノ有無至急郵便ニテ回答可有之事ニ板垣ト堅ク約束ヲ結タル上、谷川ニハ去廿四日当所へ引取候所、今日ニ至ルモ何タル音信無之、前陳ノ如ク種々可及丈ノ手續ヲ尽シ不容易配慮仕候得共、時日空遷延スルニ止リ、到底相互ノ間ニテ示談可纏望絶テ無之ハ勿論、何タル回答ヲ得ル能ハズ寔ニ困難至極ニ御座候間、事實篤ト御洞察被成下特別ノ御詮議ヲ以テ可然御処弁奉仰度、此ニ絮煩ヲ顧ズ此迄尽タル手續謹テ上申仕候也

廣田義二郎代

鳥根県石見国邇摩郡佐摩村銀山町寄留

明治二十年三月廿七日

大原順之助

鳥根県知事籠手田安定殿代理

鳥根県書記官中條政恒殿

51 副申

去二月廿四日付県知事宛副申書之義ニ付、本月十日当郡役処御掛審之御諭示ニ基キ、更ニ別紙副申書差出候間、可然御奥書被成下度、此段奉願上候也

明治二十年 廣田義二郎代

三月廿八日 銀山町 大原順之助

佐摩村 戸長宗岡光寿殿
外四ヶ村

52



委任状之事

一、拙者義病氣ニ付鈴木正吉ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ニテ左ノ権限ノ事ヲ委任ス

一、松江始審裁判所浜田支庁本年第五号民事詞訟事件ニ付、引合人トシ召喚相成タルヲ以テ拙者ノ代理トナリ同庁へ出頭シ、該件ニ付訊問ニ対シ答弁一切ノ権限ノ事
右代理ノ委任状、仍テ如件

明治廿年三月廿三日 大坂府東区伏見町三丁目拾四番地寄留平民

廣田義二郎印

53



委任状之事

一、拙者義矢野勝ヲ以テ代言人ト相定メ、拙者之名義ニテ左ノ権限ノ事ヲ委任ス

一、松江始審裁判所浜田支庁本年第五号民事詞訟事件ニ付、自分参加被告トシテ召喚相成タルヲ以テ同庁へ出頭シ、該件ニ関スル答弁一切ノ権限ノ事

右代言ノ委任状、仍テ如件

大坂府東区伏見町三丁目拾四番地寄留平民

明治廿年四月

廣田義二郎印

54 副申書

昨明治十九年十月七日付ヲ以テ島根県石見国邇摩郡佐摩村字銀山町銀銅鉦借区讓受並増借区出願候処、該願地内字栃畑谷小字馬場西横相ホ三百五拾九番山反別九反三畝九歩ノ義ハ、当時安濃郡大田村平民森本格四郎ノ所有ニ有之、銀山町組長平民安田廣吉代理ト成リ別紙ノ手續ニ依リ鉦業用ノ為メ該地貸渡契約ノ取結ヲ致呉レ、私共ニ於テ十分正當確實ノ契約ト信認シ、其筋ヘモ右写ヲ差出シ、昨年十二月地所償金三ヶ月分廣吉ニ払渡候様ノ次第ニテ飽迄安心仕居候処、去一月下旬全国鹿足郡邑輝村士族堀伴成ニ於テ該地悉皆買受、其筋ノ公証モ已ニ相濟候哉ニ伝承仕、実ニ愕然直ニ廣吉ニ向ヒ嚴敷詰問仕候得共、差向致方無之故、更ニ伴成へ契約取結ノ示談ニ可及筈ニ御座候得共到底不相纏事明瞭ナルヲ以テ、去二月廿四日付ヲ以テ副申仕候通り示談不致ニ打過候処、去三月十日当郡役所ヨリノ御諭示ニ基キ、伴成代理宮崎弥三郎エ面会、右示談可致為メ全月十二日当時全人滞在致居候松江エ向出張仕候所、最早当所へ引取候跡ニ有之、依テ迅速飛報ヲ發シ、当所ニ残置候北林兼司ヲシテ、全十四日全人ニ面会シ右示談為致候所、種々談論ノ末全人ハ伴成所有地ノ貸借ヲ進退スル権限無之旨答候ニ付、不得止当方ヨリ更ニ谷川千代松ヲ在邑輝村伴成自宅へ出張為致候処、全人及長子礼造山口地方エ出張中

ノ由ニ有之候得ハ、全廿日留守居板垣席次ニ面会為致候処、銀山ニ関スル事件ハ宮崎弥三郎ニ於テ委任受居筈ニシテ全人ニテハ不分明ナリトノ答ニ付、然レハ右關係事件ハ総テ弥三郎ニ委任シアルヤ否問直候処、事ニ抛テハ本人へ相談ノ上可取計義モ可有之トノ事ニ御座候、尤モ板垣ノ言ニ抛レハ礼造ニハ右廿日ヨリ向三日中ニ帰宅可致筈ニ付、其上ニテ右示談承諾ノ有無至急郵便ニテ回答可有之事ニ板垣ト堅ク約束結ヒタル上、谷川ニハ全廿四日当所へ引取候処、期日ヲ過ルモ何タル音信無之ヲ以テ全廿五日書留別配達郵便ヲ以テ伴成父子ニ宛更ニ回答ヲ促候処、是又今日ニ至ルモ回答ヲ致サス、前陳ノ如ク種々可及丈ノ手續ヲ尽シ不容易配慮仕候得共、時日空ク遷延スルニ止リ到底相互ノ示談可纏望絶テ無之ハ勿論、何タル回答ヲ得ル不能様信認仕候間、何共恐縮ノ至ニ奉存候得共、事實篤卜御洞察被成下何卒特別ノ御詮議ヲ以テ可然御処弁御成候様仕度、此段借区讓受渡人連署ヲ以テ副申仕候也

明治二十年四月廿四日

島根県石見国邇摩郡佐摩村百七拾九番地

讓渡人 小川兵市

全県全国全郡大國村二百七拾三番地

全 田中義太郎

讓受人廣田義二郎代

全県全国全郡佐摩村銀山町寄留

大原順之助

嶋根県知事籠手田安定代理

島根県書記官中條政恒殿

55

寄留御届

兵庫県下丹波国多紀郡井上村百四拾三

番屋敷 士族 大原順之助
安政六未年正月廿五日生 当一月満廿八年
右本村内銀山鉷業用ニ付本日ヨリ私方エ寄留罷在候間、此段双方連署組長奥印ヲ以テ御届仕候也

邇摩郡佐摩村百八拾九番地

宿屋営業人

明治二十年一月廿日

三宅丈一郎 ㊦

兵庫県下丹波国多紀郡井上村士族百四

十三番屋敷右寄留者

大原順之助 ㊦

佐摩村外四ヶ村戸長宗岡光壽殿

56

寄留御届

和歌山県紀伊国海部郡湊村千式百拾番地

士族

鈴木正吉

安政六未年十二月十二日生 当二月廿七年二ヶ月

右本村内銀山鉷業用ニ付本日ヨリ私方へ寄留罷在候間、此段双方連署組

長奥印ヲ以テ御届仕候也

邇摩郡佐摩村百八拾九番地

宿屋営業人

明治二十年二月十七日

三宅丈一郎 ㊦

右寄留者

鈴木正吉

佐摩村外四ヶ村戸長宗岡光壽殿

57 寄留御届

岩手県陸中国南岩手郡仁王村

字大沢川原四十五番地平民

本日ヨリ沓ケ年間寄留ノ見込 向井田司郎

安政六末年十二月生 当二十七年四ヶ月

右本村内銀山町鉱業用ニ付本日ヨリ私方へ寄留罷在候間、此段双方連署
組長奥印ヲ以テ御届仕候也

遼摩郡佐摩村百八拾八番地

明治二十年三月 高田安太郎

右寄留者

向井田司郎

佐摩村外四ヶ村戸長宗岡光壽殿

58 遺失物堀得ニ付御届

一、素焼壺 壹個

壺中蓄藏品左ニ

一、古銭九拾弍文

一、梵字入小石拾弍文

一、瓦器破損壹個

右ノ品本月八日午後三時、当郡佐摩村銀山字昆布山谷鉱業借区許可地内
新坑口竪六尺巾四尺ニ開鑿致候処、坑口ヨリ延弍拾弍尺ニテ左傍土上ヨ
リ弍尺許リノ処ニテ斜形ニ押藏致候分堀取致候処、古往数百年ノ遺物^②
可有之、壺ノ木蓋ハ自然朽腐シアルヲ以テ壺中改查致候処、前記ノ通り
蓄藏有之候ニ付其来歴及埋藏ノ事実等探究致候得共、一向ニ瞭然不致次
第二御座候、依テ現物并ニ略図相添へ、此段御届申上候也

石見国遼摩郡佐摩村銀山借区鉱業人

廣田義二郎代理

明治廿年四月十二日 大原順之助

島根県大田警察署

大森分署御中

古銭内訳

永樂通宝	拾九文	開元通宝	五文	洪武通宝	四文
景元通宝 ^金	五文	皇榮通宝	弍文	元通々宝	三文
元豐通宝	四文	元樂通宝	三文	紹元通宝	四文
政和通宝	二文	天元通宝	三文	宜德通宝	壹文
治元通宝	壹文	文字不分明	三十六文		

計九拾弍文

59 「佐摩村地所登記弍拾弍式号^{秀年}」

〇 地所売渡証

遼摩郡佐摩村ホ百拾壹番字小金水

一、畑六畝六歩

地価金三円八拾五錢弍厘

地租金九錢六厘

此売買代金拾三円也

右地所是迄私所有地ニ有之候処、今般貴殿へ前記売買代金拾三円ニテ売
渡代金受取申候処実正也、然ル上ハ本年ヨリ地租及諸上納金共貴殿御上
納被下度、就テハ右地所ニ関スル義ハ如何様共御勝手ニ御取計可被成候、
右ニ付私ハ勿論親戚ノ者モ聊苦情申間敷候、依テ印紙貼用親戚保証人連

署地所売渡証相渡候処如件

売渡本人

明治二十年四月十一日

内田吉太郎

親戚兼保証人

内田佐十

北林兼司殿

60

印鑑証明願

羽後国北秋田郡真木沢鉦山当時石

○印鑑 見国邇摩郡佐摩村百八十九番地寄留

北林兼司

右印鑑御証明被下度奉願候也

羽後国北秋田郡真木沢鉦山当時

石見国邇摩郡佐摩村百八十九番地寄留

明治二十年四月

北林兼司

佐摩村外四村戸長宗岡光壽殿

但右式通差出ス

61

証明書御下付願

邇摩郡佐摩村ホ百拾壹番字小金水

一、畑六畝六歩

地価金三円八拾五錢貳厘

地租金九錢六厘

右ノ地所今般登記願出度、付テハ該物件ニ対シ他ヨリ故障筋無之候間証

明書御下附被下度、此段奉願候也

邇摩郡佐摩村

明治廿年四月

内田吉太郎

佐摩外四ヶ村戸長宗岡光壽殿

62

鳥根県石見国邇摩郡佐摩村

平民

売渡人 内田吉太郎

地所売買ニ付登記願

秋田県羽後国北秋田郡真木沢鉦山

平民

買受人 北林兼司

此代価金拾三円也

此手数料金貳拾貳錢五厘^五

明治廿年四月

右半紙白紙ニテ半切

63

地所登記済証下付願

邇摩郡佐摩村ホ百拾壹番字小金水

一、畑六畝六歩

地価金三円八拾五錢貳厘

地租金九錢六厘

右ノ地所今般邇摩郡佐摩村

番地内田吉太郎ヨリ買受候ニ付地

券書替願出度候間、登記済ノ証御下付被成下度、此段奉願候也

明治二十年四月

羽後国北秋田郡真木沢鉾山

北林兼司

佐摩登記所御中

「
登記済
佐摩
登記所

明治二十年四月」

64 売買地券書換願

邇摩郡佐摩村ホ百拾壹番字小金水

一、畑六畝六歩

地価金三円八拾五銭貳厘

地租金九銭六厘

右地所売買ニ付地券状壹枚御書被下度、成規ノ手数料相添戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

売渡本人邇摩郡佐摩村

明治廿年四月

内田吉太郎

買受人羽後国北秋田郡

真木沢鉾山

北林兼司

邇摩安濃郡長中村秀年殿

65 地券書替手数料上納証

佐摩村ホ百拾壹番地券

一、金三銭

右上納候也

羽後国北秋田郡真木沢鉾山

明治廿年四月

北林兼司

邇摩安濃郡長中村秀年殿

66 記

石見国邇摩郡佐摩村ホ百拾壹番字小金水

一、畑六畝六歩

地価金三円八拾五銭貳厘

右ハ石見国邇摩郡佐摩村百六十九番地平民内田吉太郎ヨリ買入候分本組ノ都合ニ依リ拙者名義ニ相成ト雖モ、全ク本組ノ所有物ニテ拙者ニ於テ權利義務総テ關係無之候也

社員

明治廿年四月

北林兼司

藤田組御中

67 小銭文字種類及小石梵字取調書

一、小銭九拾貳文

内訳

永楽通宝 貳拾文

治平通宝

壹文

治平元宝

壹文

景祐元宝 貳文

景德元宝

三文

皇宋通宝

拾文

元豐通宝	七文	元祐通宝	四文	熙寧元宝	四文
紹聖元宝	三文	紹定通宝	壹文	洪武通宝	四文
政和通宝	貳文	開元通宝	六文	天禧通宝	壹文
紹熙元宝	壹文	天元通宝	三文	至和元宝	壹文
宣德通宝	壹文	宣和通宝	壹文	大觀通宝	壹文
嘉祐通宝	壹文	祥符元宝	壹文	明元通宝	壹文
元符通宝	貳文	文字不分明	拾文		

一、梵字小石廿九個

内訳

〇ノ字記載之石 壹個 (梵字)
 〇ノ字分 貳拾個 (梵字)
 無文字ノ分 八個

右之通御座候也

明治二十年四月十二日

大原順之助

大田警察署

大森分署御中

68 地目変換御届

邇摩郡佐摩村字小金水ホ百拾壹番

畑反別六畝六歩

外二四歩 畦畔

地価三円八拾五銭貳厘

羽後国北秋田郡真木沢鉾山

持主

北林兼司

一、宅地段別六畝貳拾九歩 等級壹等

地価金貳円九拾貳銭六厘

類地比較

地租金七銭三厘

ほ百八拾九番地宅地壹等

右地目変換仕候二付、該地段別之丈量ヲナシ、近傍類地ノ比較ヲ以テ適當ノ地価取調候処、彼我權衡上不平準無之候間、実地御検査ノ上地価額御査定相成度絵図面相添、此段御届申上候也

右地主

明治廿年四月二十三日

北林兼司

島根県知事籠手田安定殿代理

島根県書記官中條政恒殿

(一) 六坪 (五) 貳十三坪

(二) 三十三坪四合八勺 (六) 百八坪貳合四勺

(三) 三十六坪五合五勺 (七) 百八坪八合

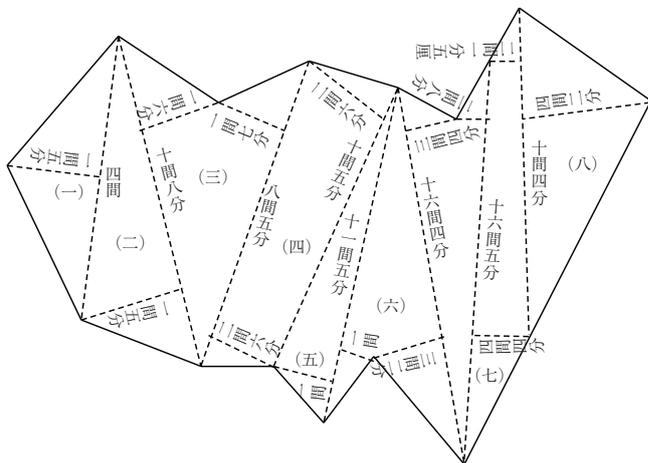
(四) 貳十七坪三合 (八) 六十六坪四勺

計四百拾九坪四合壹勺

此二除貳百九坪七合五才

反別六畝廿九歩

*本文と図中の番号部分は朱書



69 火薬庫建設願

一、火薬庫⁽²⁸⁾ 壱棟

梁間壱間半 桁間壱間半

右ハ鋳業用火薬貯蔵庫トシテ、当郡佐摩村ハ百四拾四番字馬場先キ山エ建設仕度候間建設方法書并図面相添、此段奉願上候也

石見国邇摩郡佐摩村

銀山町鋳業人

廣田義二郎代理

大原順之助

明治二十年四月廿三日

島根県知事籠手田安定殿代理

島根県書記官中條政恒殿

右図面ハ本書ニアリ

70 火薬庫建設方法書⁽²⁹⁾

一、火薬庫ハ石造ニシテ屋根ハ輕量ノ瓦葺トス、内部ハ羽目板張ニテ釘等ハ用イズ窓ナシ、屋上避雷針ヲ設ケ、庫外周囲ニ式間ヲ隔テ、高サ六尺之土堤ヲ築キ、其入口ニハ火薬庫ト大書シタル曲尺六尺ニシテ五寸角ノ標木ヲ建ツベシ
右之通りニ有之候也

邇摩郡佐摩村銀山

鋳業人

廣田義二郎代理

大原順之助

明治二十年四月廿二日

71

「延引廃止トナル」

御届

邇摩郡佐摩村銀山鋳業人廣田義二郎部理代人大原順之助義、一昨廿三日当地発足松江向ケ出發仕候ニ付、不在中私義代理致候間、此段御届申上候也

廣田義二郎部理代人

大原順之助代

北林兼司

明治二十年四月廿五日

大田警察署大森分署御中

右各一通宛佐摩外四村戸長役場トエ進達

72 御願

石見国邇摩郡佐摩村銀山

字昆布山谷 新横相坑

新盛坑

字大谷 龍源寺通洞

右者今般開坑採鋳ノ為火薬ヲ以テ石割仕度候間別紙図面相添、此段奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村銀山

鋳業人 廣田義二郎代

北林兼司

明治廿年四月廿五日
島根県大田警察署大森分署御中

73 火薬買入御願

一、火薬式貫目

右者石見国邇摩郡佐摩村銀山字昆布山谷新横相坑・新盛坑及字大谷龍源寺通洞切抜メノ用ニ付、前記ノ火薬買求メ度候間免シ手形御下渡被下度、此段大森分署ノ火薬石割願ノ御指令写相添、戸長奥印ヲ以テ奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村銀山

鉱業人 廣田義二郎代

明治廿年四月廿五日

北林兼司

島根県大田警察署御中

右火薬石割願及火薬願^買入願共各三通宛差出

74

「廢物トナル」

火薬買入御願

一、火薬 百貫目

一、タイナマイト³⁰拾貫目

一、雷管 千発

右者借区許可地内石見国邇摩郡佐摩村銀山字昆布山谷新横相坑・新盛坑及字大谷龍源寺通洞并ニ全国全郡大國村字柑子谷永久通洞切抜メノ用ニ付、前記ノ火薬買求ノ上火薬庫ニ貯蔵³¹シ時々使用仕度候間、免シ手形御下渡被下度、此段大森分署ノ火薬石割願ノ御指令写相添、戸長奥印ヲ以テ奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村銀山

鉱業人 廣田義二郎代

明治廿年四月廿五日

北林兼司

島根県大田警察署御中

右大田警察署エ式通差出、戸長役場エ一札差出

75

「廢物トナル」

御願

石見国邇摩郡佐摩村銀山

字昆布山谷 新横相坑

字大谷 新盛坑

字大谷 龍源寺通洞

全国全郡大國村

字柑子谷 永久通洞

右借区許可地内開坑採鉱ノ為火薬ヲ以テ石割仕度候間、此段奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村

鉱業人 廣田義二郎代

北林兼司

明治廿年四月廿五日

島根県大田警察署大森分署御中

右三通調製

76 寄留人転居御届

邇摩郡佐摩村百八拾九番地

寄留

北林兼司

右者銀山鉱業用ニ付、本年二月廿三日ヨリ当村内百八拾九番地三宅丈一

郎方エ寄留致居候処、都合ニ依リ今般当村百五拾貳番地矢田澤吉方エ転居仕候間、此段双方連署組長奥印ヲ以テ御届仕候也

邇摩郡佐摩村百五拾貳番地

明治廿年四月廿七日

矢田澤吉

右寄留転居者

北林兼司

佐摩村外四村戸長宗岡光壽殿

右一通宛村役場及大森分署エ差出

77 寄留御届

新潟県佐渡国雑太郡相川壹丁目
七番地平民

本日ヨリ一ケ年間寄留見込

川島久吉

安政三年九月初日生 当五月三十年九ヶ月

右本村内銀山鉸業用ニ付本日ヨリ私方エ寄留罷在候間、此段双方連署組長奥印ヲ以テ御届仕候也

石見国邇摩郡佐摩村百九十三番舍

明治廿年五月三日

川村リエ

右寄留者

川島久吉

雑太郡相川羽田町外七拾六ヶ町村

戸長黒部権吉殿

外ニ壹通宛寄留所戸長役場、全分署へ差出

78 寄留御届

新潟県佐渡国雑太郡相川新五郎町
貳拾五番地平民

本日ヨリ壹ケ年間寄留見込

吉岡三之吉

嘉永六年正月廿日生 当五月卅四年五ヶ月

右本村内銀山鉸業用ニ付本日ヨリ私方へ寄留罷在候間、此段双方連署組長奥印ヲ以テ御届仕候也

石見国邇摩郡佐摩村百九十三番舍

明治廿年五月三日

川村リエ

雑太郡相川羽田町外七十六ヶ町村

戸長黒部権吉殿

右之外壹通宛佐摩外四村戸長役場并分署へ差出

79 寄留御届

新潟県佐渡国雑太郡相川大工町
第貳番地平民

本日ヨリ一ケ年間寄留見込

金子鶴藏〔栄吉〕

文久三年七月生 当五月廿三年十一ヶ月

右本村内銀山鉸業用ニ付本日ヨリ私方へ寄留罷在候間、此段双方連署組長奥印ヲ以テ御届仕候也

邇摩郡佐摩村百九拾番舍

明治廿年五月廿日〔四一〕

川村リエ印

右寄留者

金子栄吉印

雑太郡相川羽田町外七拾六ヶ町村戸長黒部権吉殿

外屯通宛寄留所轄戸長役場及分署へ差出

80 地券状村名訂正願

石見国邇摩郡三久須村七百四十五番

〔真木沢鉦山〕

字仙ノ山 羽後国北秋田郡真木沢村

一、畑五段九畝九歩 持主 北林兼司

地価金拾円八拾六錢壹厘

地租金貳拾七錢貳厘

全国全郡全村九百貳拾四番

〔真木沢鉦山〕

字貝谷奥 羽後国北秋田郡真木沢村

一、山凡壹町貳反六畝歩 持主 北林兼司

地価金七拾八錢五厘

地租金貳錢

全国全郡佐摩村ホ百拾壹番

〔真木沢鉦山〕

字小金水 羽後国北秋田郡真木沢村

一、畑六畝六歩 持主 北林兼司

地価金三円八拾五錢貳厘

地租金九錢六厘

右之地所私所有之処前記墨書之通真木沢卜有之候得共、誤謬ニテ全ク朱書之通ニ有之候間、御訂正被下度別紙地券状三枚相副、此段戸長奥印ヲ以テ奉願候也

羽後国北秋田郡真木沢鉦山

明治二十年五月三日

地主 北林兼司

邇摩 郡長中村秀年殿
安濃

81 〔答申〕

勸玄第拾七号ヲ以テ字龍源寺山旧坑道曩ニ許可相成候処、右使用上ニテ浅田市兵衛所有地ニ關係之有無取調、至急回答可致旨御達之趣キ謹テ奉拜承候、右者浅田市兵衛所有地ニ一切關係無之候条、御達ニ基キ書面ヲ以テ御答申上候也

廣田義二郎代

明治二十年四月十五日

大原順之助

佐摩村外四村戸長宗岡光壽殿

82 御届

鉦業上使役坑夫雇夫エ喫喰報知ノ為メ、本日ヨリ当郡佐摩村銀山町字昆布山谷藤田組鉦山処ニ於テ毎日正午時ヲ期ス報時鐘ヲ打チ鳴ラシ候間、此段御届仕候也

邇摩郡佐摩村銀山町鉦業人

廣田義二郎代

明治廿年五月三日

大原順之助

島根県大田警察署大森分署御中

83 御受書

一、素焼壺壹箇

一、古銭九拾弍文

一、梵字入小石拾三文

一、瓦器破損壹箇

右本年四月八日当郡佐摩村字昆布山谷鉦業借区許可地内新坑口ニ於テ発堀候品、今般御下渡被下正ニ拜受候也

明治廿年四月四日

廣田義二郎代

大原順之助

島根県大田警察署大森分署御中

84 火薬買入御願

一、火薬三貫目

右者本年四月廿五日石割許可地内、石見国邇摩郡佐摩村銀山字昆布山谷新横相坑・新盛坑及字大谷龍源寺通洞切抜メノ用ニ付、前記ノ火薬買求ノ上使用仕度候間免シ手形御下渡被下度、此段戸長奥印ヲ以テ奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村銀山

鉦業人廣田義二郎代

明治廿年五月七日

大原順之助

島根県大田警察署御中

85 副申書御下渡願

本年四月廿四日付ヲ以テ副申仕候、安濃郡大田村森本格四郎旧処有地、

字析畑谷小字馬場西横相ホ三百五十九番山反別九反三畝九歩、現処有主鹿足郡邑輝村堀伴成へ借受之義数度依頼致候所、承諾無之二付更ニ書留別配達郵便ヲ以テ伴成父子へ問合候得共、到底相互之示談難纏ト信認致候ニ付、何分之御詮議相成度段副申仕置候処、去ル四月廿八日松江表ニテ伴成代理宮崎弥三郎ト談合之末、堀伴成ト廣田義二郎ノ間ニ和議相整、伴成及弥三郎処有地悉皆讓受之契約取結候間、進達致置候副申書御下附被成下度、此段奉願上候也

明治廿年五月九日

讓渡人

小川兵市

島根県石見国邇摩郡佐摩村百七拾九番地

全

田中義太郎

讓受人廣田義二郎代

全県全国全郡佐摩村寄留

大原順之助

島根県知事籠手田安定代理

島根県書記官中条政恒殿

86

印紙
五厘

委任状

「五月七日本店鉦山課百十二号ヲ以テ
回陳ノ分(書留郵便)五月十一日達ス」

一、拙者都合ニヨリ北林兼司ヲ以部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以而左之権限ノヲ委任致候

一、石見国鹿足郡邑輝村堀伴成ヨリ今般買得シタル土地登記出願ニ付、代印其他右ニ関スル諸般之事務結局ニ至ルマテ

右委任状、仍而如件

明治二十年五月

大阪府東区伏見町三丁目
拾四番地寄留
廣田義二郎

87 御届

社用ニテ本日出発上阪致候ニ付、不在中社員谷川千代松ヲ以テ代理為致候間、此段御届申上候也

拙者儀

廣田義二郎代

明治廿年五月十四日

大原順之助

邇摩

郡長中村秀年殿
安濃

外一通宛大森分署及佐摩外四村戸長役場へ差出

88

五厘
印紙

委任状

一、拙者都合ニヨリ北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者ノ名義ヲ以而左之権限ノヲ委任致候

一、石見国鹿足郡邑輝村堀伴成ヨリ今般買得シタル土地登記出願ニ付、代印其他右ニ関スル諸般之事務結局ニ至ルマテ

右委任状、仍而如件

大阪府東区伏見町三丁目

拾四番地寄留

明治二十年五月

廣田義二郎

前書委任状写相違無御座候也

明治廿年五月

邇摩郡佐摩村百五十二番地寄留

佐摩登記処御中

(北林兼司脱)

(No. 89から90まで抹消線あり)

89

「廢物トナル」

印鑑届

兼印



印鑑

山口県長門国阿武郡萩古萩町十三番地
当時大阪東区伏見町三丁目十四番地寄留

廣田義二郎

右私実印相違無御座候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地

当時大阪東区伏見町三丁目拾四番地寄留平民

廣田義二郎代理

当時島根県石見国邇摩郡佐摩村百五十二番地寄留平民

明治廿年五月廿^五日

北林兼司

佐摩外四村戸長宗岡光壽殿

90

「廢物トナル」

印鑑証明願

山口県長門国阿武郡萩古萩町十三番地

印鑑 当時大阪府東区伏見町三丁目十四番地寄留

廣田義二郎

右印鑑御証明被^成下度奉願候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地

当時大阪府東区伏見町三丁目拾四番地寄留平民

廣田義二郎代理

当時島根県石見国邇摩郡百五十二番地寄留平民

明治二十年五月廿四日

北林兼司

佐摩村外四村戸長宗岡光壽殿

尚一通下附ヲ乞フモノヲ差出ス

91

島根県石見国鹿足郡邑輝村拾五番地士族

譲与人 堀伴成代理

全県全国邇摩郡佐摩村三百八十式番屋敷

平民

宗岡光養⁽³³⁾

地所譲与ニ付登記願

山口県長門国阿武郡萩古萩町十三番地

平民

譲受人 廣田義二郎代理

当時島根県石見国邇摩郡佐摩村百五十二番地寄留平民

北林兼司

此相当時備式円也

此手数料金五銭

明治二十年五月廿日 右白半紙半枚紙

92 地所登記済証下付願

邇摩郡佐摩村ホ三百五十九番

字馬場西横相

一、山凡九段三畝九步

地価九拾八錢六厘

地租金式錢五厘

右ノ地所今般鹿足郡邑輝村拾五番地士族堀伴成ヨリ譲受候二付、地券書

替願出度候間登記済ノ証御下付被成下度、此段奉願候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時石見国邇摩郡佐摩村百五十二番地寄留平民

明治二十年五月廿四日

北林兼司

佐摩登記所御中

外一通 下附ヲ乞フモノヲ差出ス

93 譲受渡地券書換願

邇摩郡佐摩村ホ三百五十九番

字馬場西横相

一、山凡九段三畝九步

地価金九拾八錢六厘

地租金貳錢五厘

右地処讓受渡候ニ付地券状壹枚御書換被下度、成規之手数料相添、戸長
奥印ヲ以テ、此段奉願候也

島根県石見国鹿足郡邑輝村

拾五番地士族

譲与人 堀伴成代理

全県全国全郡佐摩村三百八十式番地^{屋敷}平民

宗岡光養

明治廿年^{〔六〕}^{〔三五〕}五月廿四日

山口県長門国阿武郡萩古萩町十三番

地平民

譲受人 廣田義二郎代理

当時島根県石見国邇摩郡佐摩村

百五拾貳番地寄留平民

北林兼司

邇摩

郡長中村秀年殿
安濃

尚一通戸長役場扣工差出シタリ

94 地券書換手数料上納証

佐摩村赤三百五十番地券

一、金三錢

右上納候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時島根県石見国邇摩郡佐摩村百五十

二番地寄留平民

北林兼司

明治二十年^{〔六〕}^{〔三五〕}五月廿四日

邇摩

郡長中村秀年殿
安濃

95 御届書

石見国邇摩郡佐摩村赤百六十三番

字天井道ノ左リ

一、畑段別七畝拾八歩

右地処之義ハ明治十九年十月七日廣田義二郎ニ於テ借区出願之節、貸借

契約相調ハザルヲ以テ全人ニハ地主不承諾地トシテ副申致居候処、其後

該地処鹿足郡邑輝村宮崎彌三郎工壳渡シ、這回更ニ彌三郎ヨリ廣田義二

郎ニ讓与之示談相纏候ニ付、此段連署ヲ以テ御届申上候也

明治廿年五月十日 島根県石見国邇摩郡佐摩村百七十九番地平民

旧借区稼業人 小川兵市

全 全県全国全郡大国村貳百七十三番地平民

田中義太郎

山口県長門国阿武郡萩古萩町十三番地平民

現借区稼業人 廣田義二郎代人

島根県石見国邇摩郡佐摩村百三十八番地寄留

兵庫県士族

大原順之助

全県全国全郡全村三百九十式番地

右地処旧持主 田辺太伸

島根県知事籠手田安定代理

島根県書記官中條政恒殿

96 御届書

石見国邇摩郡佐摩村ホ三百七十六番

字昆布山谷切石

持主

一、山段別式段歩

橋本武一郎

全国全郡全村ホ三百八十番

字サイカ

持主

一、山段別九段歩

右全人

全国全郡全村ホ三百八十式番

字村上前

持主

一、山段別式畝拾式歩

右全人

全国全郡全村ホ百六十四番

字天井道ノ下

持主

一、畑段別式段七畝三歩

右全人

全国全郡全村ホ三百七十番

字サンマイ原

持主

一、山段別三段六畝拾式歩

金銅實叫

右地処之義ハ明治十九年十月七日附ヲ以廣田義二郎ニ於テ借区出願之際、貸借契約示談相調ハズ全人ニハ地主不承諾地トシテ副申致候処、這回熟議相調候間、此段連署ヲ以テ御届申上候也

明治廿年五月十四日

島根県石見国邇摩郡佐摩村百七十九番地平民

旧借区鋳業人 小川兵市

全県全国全郡大國村式百七十三番地平民

全 田中義太郎

山口県長門国阿武郡萩古萩町十三番地平民

現借区鋳業人 廣田義二郎代人

島根県石見国邇摩郡佐摩村百卅八番地寄留

兵庫県土族

大原順之助

全県全国全郡全村百五十六番屋敷平民

地主 橋本武一郎代人

全県全国全郡全村全番屋敷平民

橋本愛吉

全県全国邑智郡川下村拾九番地平民

地主 金銅實叫代人

全県全国邇摩郡佐摩村百五十六番屋敷平民

橋本愛吉

全県全国全郡全村式百四番屋敷平民

横山兵三郎

島根県知事籠手田安定代理

島根県書記官中條政恒殿

97 火薬買入御願

一、火薬三貫目

右ハ本年四月廿五日石割許可地内石見国邇摩郡佐摩村銀山字昆布山谷新

横相坑・新盛坑及大谷龍源寺通洞切抜メノ用ニ付、前記火薬買求ノ上使
用仕度候間、免シ手形御下渡被下度、此段戸長奥印ヲ以テ奉願候也

明治二十年五月廿一日

嶋根県大田警察署御中

谷川千代松印

石見国邇摩郡佐摩村銀山
鉱業人廣田義二郎代

98

島根県石見国鹿足郡邑輝村五番地

譲渡人 宮崎彌三郎代理

全県全国邇摩郡佐摩村三百八十式番屋敷

平民

宗岡光養

地所讓渡ニ付登記願

山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地

平民

譲受人 廣田義二郎代理

当時島根県石見国邇摩郡佐摩村百五十二番地寄留

平民

北林兼司

此相当時価三円也

此手数料金五銭

明治廿年五月廿日

右一通調製、但用紙ハ白半紙半枚

99 地所登記済証下付願

邇摩郡佐摩村ホ百六拾三番

字天井道ノ左リ

一、畑段別七畝拾八歩

地価金貳円三銭

地租金五銭壹厘

右之地処今般鹿足郡邑輝村五番地 宮崎彌三郎ヨリ譲受候ニ付、地券

書替願出度候間、登記済之証御下付被成下度、此段奉願候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地

平民

廣田義二郎代理

当時石見国邇摩郡佐摩村百五拾二番地寄留

平民

北林兼司

明治廿年五月廿日

佐摩登記処御中

右登記済証トシテ下付ト相成分ト扣ト式通差出

100 譲受渡地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村ホ百六拾三番

字天井道ノ左リ

一、畑段別七畝拾八歩

地価金貳円三銭

地租金五銭壹厘

右地処譲受渡候ニ付地券状壹枚御書換被下度、成規之手数料相添戸長奥
印ヲ以テ此段奉願候也

島根県石見国鹿足郡邑輝村
五番地

譲渡人 宮崎彌三郎代理

全県全国邇摩郡佐摩村三百八拾
貳番屋敷平民

宗岡光養

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

譲受人 廣田義二郎代理

当時島根県石見国邇摩郡佐摩村

百五拾貳番地寄留平民

北林兼司

明治廿年^{〔六〕}五月廿日

邇摩 郡長中村秀年殿
安濃 右戸長役場、郡衙共一通宛差出

101 地券書換手数料上納証

佐摩村百六拾三番地券

一、金三銭

右上納候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町
拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時島根県石見国邇摩郡佐摩村

百五拾貳番地寄留平民

明治廿年^{〔六〕}五月廿日

北林兼司

邇摩 郡長中村秀年殿
安濃

102 寄留御届

岩手県陸中国南岩手郡仁王村字油町
四十八番地平民

本日ヨリ五ヶ年間寄留見込

小川正次郎

文久二年十一月廿日生 当廿四年七ヶ月

右八本村内銀山鋳業用ニ付本日ヨリ私方エ寄留罷在候間、此段双方連署
ヲ以テ御届仕候也

島根県石見国邇摩郡佐摩村百五拾貳番地

矢田澤吉

明治廿年五月卅日

右寄留者

小川正次郎

仁王村

戸長藤根吉愛殿

右之通ニ巻通ヲ分署エ差出、尚組長奥印ヲ以テ佐摩外四村役場エ差出

103 火薬買入御願

一、火薬三貫目

右ハ本年四月廿五日石割許可地内石見国邇摩郡佐摩村銀山字昆布山谷新
横相坑・新盛坑及大谷龍源寺通洞右三ヶ所坑内切拵メノ為、是迄火薬八
貫目三度ニ買求其当日使用致候ニ付、尚前記之火薬買入ノ上使用仕度候

間免シ手形御下渡被下度、此段戸長奥印ヲ以テ奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村銀山

鋤業人 廣田義二郎代

島根県石見国邇摩郡佐摩村百五十二番地寄留

秋田県平民

明治廿年五月卅一日

北林兼司

島根県大田警察署御中

右二通相調製、一通宛警察署卜村役場へ差出

104 御届書

昨年十二月十一日付ヲ以テ副申仕候故福田啓次所有地之義ハ、先般廣田義二郎ニ於テ借区讓受并ニ増借区出願之際全人親戚吉田品吉江貸借契約頼談致候処、不承諾ヲ唱へ調印致吳不申二付、不得止副申改置候処、今般双方熟議相整候間、此段連署ヲ以テ御届申上候也

島根県石見国邇摩郡佐摩村

百七十九番地平民

明治二十年六月二日

旧借区稼業人 小川兵市印

全県全郡全郡大田村

式百七拾三番地平民

全 田中義太郎印

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地

当時大阪府下東区伏見町三丁目

十四番地寄留平民

現借区稼業人 廣田義二郎

代理

島根県石見国邇摩郡佐摩村

百三十八番地寄留

兵庫県士族

大原順之助代人

全県全郡全郡全村百八拾九番地寄留

東京府平民

谷川千代松印

全県全郡全郡全村六拾七番屋敷平民

亡福田啓次跡引受人

吉田品吉印

島根県知事籠手田安定殿

105 寄留人転居御届

邇摩郡佐摩村百九十三番舍寄留

川島久吉

右者銀山鋤業用ニ付本年五月三日ヨリ当村内百九拾三番舍川村リエ方エ寄留致居候処、都合ニ依リ今般当村百四拾五番地竹下貞市方へ転居仕候間、此段双方連署組長奥印ヲ以テ御届仕候也

邇摩郡佐摩村百四拾五番舍

平民

明治二十年六月「十一」日

竹下貞市

右寄留者

川島久吉印

佐摩外四村戸長宗岡光壽殿

尚一通宛大森分署、原籍戸長役場、当所組長へ差出、但分署差出ノ
分ハ組長奥印ヲ受ケズ

106

寄留人転居御届(全文抹消線あり)

邇摩郡佐摩村百八拾八番地寄留

向井田司郎

右者銀山鉱業用ニ付本年三月以来当村内百八拾八番地高田安太郎方エ寄
留致居候処、都合ニ依リ今般当村 番地平民岸本トキ方エ転居仕候間、
此段双方連署組長奥印ヲ以テ御届仕候也

邇摩郡佐摩村

平民

明治廿年六月七日^八

岸本トキ

右寄留者

向井田司郎

佐摩外四村戸長宗岡光寿殿

外一通宛組長及大森分署、原籍戸長藤根吉愛宛差出

107

火薬買入御願

一、火薬三貫目^五

右ハ本年四月廿^五日石割許可地内石見国邇摩郡佐摩村銀山字昆布山谷新
横相坑・新盛坑及大谷龍源寺通洞右三ヶ処坑内切抜メ之為メ、是迄火薬
拾壹貫目四度ニ買求其当日使用致候ニ付、尚前記之火薬買入ノ上使用仕
度候間免シ手形御下渡被下度、此段戸長奥印ヲ以奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村銀山

明治二十年

六月十三日

鉱業人 廣田義二郎代

全国全郡全村百八十九番地

寄留 東京府平民

谷川千代姿

大田警察署御中

108

御届

私義客月十四日社用ニ付上阪仕候所、本日帰山仕候間社員谷川千代松代
理解任仕、此段御届申上候也

廣田義二郎代

明治二十年六月十九日

大原順之助印

邇摩

郡長中村秀年殿

安濃

外二同文届一通宛警察分署并二村役場へ差出ス

109

御届

拙者儀

社用ニテ本日出発出雲国神門郡今市駅へ罷越候ニ付、不在中社員谷川千
代松ヲ以テ代理為致候間、此段御届申上候也

廣田義二郎代

明治廿年六月二十三日

大原順之助

邇摩

郡長中村秀年殿

安濃

外尙通宛大森分署長及ヒ佐摩外四村戸長へ差出ス

110 御願

来ル七月十五日ヲトシ大森銀山開業式執行仕度候ニ付テハ、将来鉱業ノ隆盛ヲ鼓舞ナサシメ度、依之知事閣下始メ両書記官及当課長殿ノ御臨場ヲ請ヒ、当日来場ノ村民并ニ鉱業関係人等江対シ親シク御懇諭ニ与リ度希望仕候間、暑中之砌リ殊ニ遠路之処、態々御賁臨ヲ可願段幾重ニモ恐縮之至ニ存奉候得共、特別之御詮議ヲ以テ御採聽可相成様仕度、此段奉懇願候也

借区鉱業人廣田義二郎代

廿年六月廿四日

大原順之助「印」

鳥根農商課長

藤岡直藏殿

二伸、御庁務ノ御都合ニ依リ当日御差間モ被為在候ハ、日時伸縮ハ如何様共差繰リ可仕候間、更ニ御指示有之度奉願候

右正副三通

111 御届

拙者義

社用ニテ本日日出発神門郡今市駅へ出張致候ニ付、不在中社員谷川千代松ヲ以テ代理為致候間、此段御届申上候也

廣田義二郎代

廿年六月廿三日

大原順之助印

郡長、戸長、警察各老通宛

112 御届

私義

火薬買入之為メ出頭可仕之処病氣ニテ何分出頭難致候間、「高田安太郎」仰慕ヲ以テ代理トシ願書為差出候条、此段御聞届被下度候也

大原順之助代

廿年六月廿三日

谷川千代松印

大田警察署宛 老通

113 印鑑証明願

東京府下芝区西久保巴町二十八番地
当時石見国邇摩郡佐摩村百八十
九番地寄留
東京府平民
谷川千代松

○印鑑

右印鑑御証明被下度奉願候也

住所番地

廿年六月廿三日

谷川千代松印

戸長宛 式通

114 印鑑届

○印鑑

右私実印相違無之候也

東京府下芝区西久保巴町二十八番地

當時石見国邇摩郡佐摩村百八十九番地寄留

東京府平民

谷川千代松

佐摩村外四ヶ村戸長

宗岡光寿宛

115 火薬買入願

一、火薬三貫目

右者本年四月廿五日石割許可地内石見国邇摩郡佐摩村銀山字昆布山谷新横相坑・新盛坑及大谷龍源寺通洞右三ヶ所坑内切抜メ之為メ、是迄火薬拾四貫目五度ニ買求其当日使用致候ニ付、尚前記之火薬買入之上使用仕度候間、免シ手形御下渡被下度、此段戸長奥印ヲ以テ奉願候也

住所番地

鉤業人

廣田義二郎代

廿年六月廿三日

大原順之助代

谷川千代松代

大田警察署宛 式通

116 火薬買入願

一、火薬三貫目

右ハ本年四月廿五日石割許可地内石見国邇摩郡佐摩村銀山字昆布山谷新横相坑・^{新盛坑}及ヒ大谷龍源寺通洞右三ヶ所坑内切抜メノ為メ、是迄火薬十七貫目ヲ六度ニ買求其当日使用致候ニ付、尚前記ノ火薬買入ノ上使用仕度候間免シ手形御下渡被下度、此段戸長奥印ヲ以テ奉願候也

明治二十年六月三十日

石見国邇摩郡佐摩村銀山

鉤業人廣田義二郎代理

同国同郡同村百三十八番地寄留

兵庫県土族大原順之助代理

同国同郡同村百八十九番地寄留

東京府平民

谷川千代松印

大田警察署

御中

117 御届

火薬買入ノ為メ出頭可仕ノ処、病氣ニテ出頭難致候間、高田安太郎ヲ以テ代理トシ願書^為差出候条、此段御聞届被下度候也

大原順之助代

明治二十年六月三十日

谷川千代松印

大田警察署

御中

五厘
印紙

委任状之事

拙者義都合ニ依リ北林兼司を以而部理代人ト相定メ、拙者之名義を以テ左之権限之事を代理為致候事

- 一、嶋根県石見国邇摩郡大国村式百三十番地平民田中勘二郎ヨリ今般買受タル地処十三ヶ処登記出願ニ付、代印及右ニ関スル諸般之事務結局ニ至ル迄
- 右代理委任状、仍而如件

山口県長門国阿武郡萩古萩町

十三番地平民

明治廿年

六月

当時大坂府下東区伏見町三丁目

十四番地寄留

廣田義二郎（朱書印影）

*欄外に「本店副印」の朱書印影あり

*欄外に「(延引)」、「^(虫損)被□す」とあり

119

御届

私義本月廿三日社用ニ付神門郡今市駅へ出張致候所、昨日帰山仕候間社員谷川千代松代理解任仕候、此此御届申上候也

廣田義二郎代

明治廿年七月一日

大原順之助

大森分署御中

邇摩

郡長宛

安ノ

佐摩外四ヶ村戸長宛

右各々通宛

120

委任状之事

一、拙者都合ニ依リ大原順之助ヲ以而部理代人ト相定メ、左之権限ノヲ代理委任為致候

一、島根県石見国邇摩郡佐摩村拙者処有之地処讓渡シ并登記出願地券書換下附受取方等ニ関スル件

一、前同処ニ在ル動産不動産処有権移転ニ関係スル事務及代印処分ノヲ右代理委任状、依而如件

大坂府北区若松町八番地寄留

久間琢馬

明治廿年五月

全府下西成郡川崎村五百五十六番地

浅田市兵衛

*欄外に「九月十四日本店^(江カ)□回付ス」とあり

121

印鑑証明願

大坂府下撰津国西成郡川崎村

五百五拾六番地

浅田市兵衛

西成郡 川崎村 戸長役場	大坂府下撰津国西成郡 川崎村五百五十六番地 印鑑 浅田市兵衛
--------------------	---

右印鑑御証明被成下度奉願候也

明治二十年五月十六日

大坂府下撰津国西成郡
川崎村五百五十六番地
浅田市兵衛

西成郡川崎村戸長

加藤重兵衛殿

前印鑑相違無之候也

明治廿年五月十六日

西成郡川崎村
戸長代理用係
桜井傳之輔

*西成郡川崎村戸長役場印を朱書で示す

122 印鑑証明願

〔五寸〕

大坂府 北區役 久馬 琢馬 印鑑	撰津国北區若松町八番地寄留 佐賀県下肥前国杵島郡武雄上 瀧村士族 久間琢馬
------------------------------	--

〔四寸〕

右印鑑御証明被成下度奉願候也

大坂府北區若松町八番地寄留
佐賀県肥前国杵島郡武雄上瀧村
士族

明治廿年五月十六日

久間琢馬

北區長増田澗殿
右印鑑相違無之候也

明治廿年五月十六日

大阪府北區長増田澗

*大阪府北區役所印、久馬^同琢馬印を朱書で示す

123 委任状之事

拙者都合ニヨリ北林兼司ヲ以而部理代人ト相定メ、拙者之名儀ヲ以テ左ノ権限ノヲ代理為致候

一、佐賀県下肥前国杵島郡武雄上瀧村当時大坂府北區若松町八番地寄留久間琢馬并ニ同府下西成郡川崎村五百五十六番地浅田市兵衛之両人ヨリ今般買得シタル土地及建家之登記出願ニ付、代印其他右ニ関スル諸般之事務結局ニ至ルマテ

右代理委任状、仍而如件

山口県下長門国阿武郡萩古
萩町拾三番地平民当時大

阪府下東區伏見町三丁目拾四番地
寄留

明治廿年五月三十日

廣田義二郎

*欄外に「九月十四日日本店江回付ス」とあり

124 寄留御届

新潟県佐渡国雑太郡

相川四十物町十三番地

平民

本日る耆ケ年寄留見込

吉岡三次郎

安政五年七月十七日生

当廿年七月迄廿九年一ヶ月

右本村内銀山鉱業用ニ付本日ヨリ私方へ寄留罷在候間、此段双方連署組長奥印ヲ以テ御届仕候也

石見国邇摩郡佐摩村百九十三番舎

明治廿年七月四日

川村リエ

右寄留者

吉岡三次郎

警察署、戸長役場、原籍戸長各耆通宛

125 火薬買入願

一、火薬三貫目

右ハ本年四月廿五日石割許可地内石見国邇摩郡佐摩村銀山字昆布山谷新横相坑・新盛坑及ヒ大谷龍源寺通洞右三ヶ所坑内切抜メ之為メ、是迄火薬式拾貫目七度ニ買求其当日使用致候ニ付、尚前記ノ火薬買入ノ上使用仕度候間、免シ手形御下渡被下度、此段戸長奥印ヲ以テ奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村銀山

鉱業人廣田義二郎代理

同国同郡同村百三十八番地寄留

兵庫県士族大原順之助代理

明治二十年七月七日

大田警察署 式通

御中

同国同郡同村百八拾九番地寄留

東京府平民 谷川千代松印

126 御届

火薬買入之為メ出頭可仕之処、事務之都合ニ依リ吉田惟誠ヲ以テ代理トシ願書為差出候間、此段御届仕候也

大原順之助代

明治二十年七月七日

谷川千代松

大田警察署

御中

127 官有地御払下ケ願

邇摩郡佐摩村ホ三百六十六番

字昆布山谷元長福寺跡地

一、荒無地反別四畝拾式歩 官有地

右地所別紙匱図面之通私所有地ニ重モニ接続仕居、開墾上大ニ都合ヲ得候義モ御座候間、特別之御詮議ヲ以御払下被成下度、然ル上ハ御指図ニ随ヒ代金上納可仕候、依テ此段戸長奥印ヲ以テ奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村

明治十九年十一月廿日

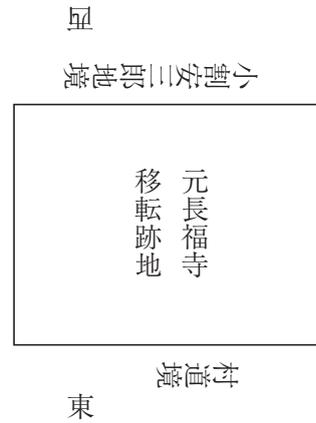
小割安三郎

嶋根県知事箆手田安定殿

遼摩郡佐摩村ホ三百六十六番

官有地境 北 川村タケ持地境

図面左二



小割安三郎地境

小割安三郎印

128 御払下地荒地免税年季御附与願

石見国遼摩郡佐摩村ホ三百六十六番

字昆布山谷

石見国遼摩郡佐摩村

持主

一、荒蕪地〔四畝貳拾七歩三合〕四畝拾貳歩

小割安三郎

但明治二十年ヨリ全廿九年迄十ヶ年季免税願

是ハ明治廿年六月中御払下ニ付二十年七月代金上納済ノ分

右者村内官有地二十年六月廿六日当村小割安三郎へ御払下相成候ニ就テハ賦税可願出之処、即今荒地ニシテ起返ノ見込相立不申候ニ付、実地御検査ノ上前書之通り十ヶ年季御附与被成下度実測図面相添、此段奉願候也

遼摩郡佐摩村

明治二十年七月

小割安三郎

佐摩村外四ヶ村戸長

嶋根県知事籠手田安定殿

宗岡光寿

129

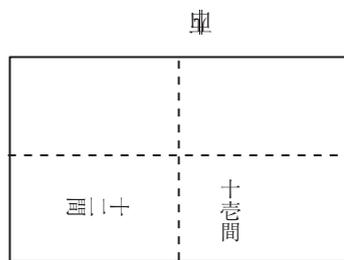
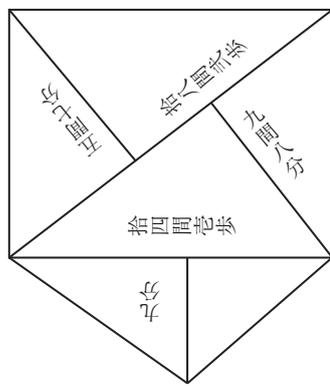
上紙

明治二十年七月

野取実測図面帳

遼摩郡佐摩村ホ三百六十六番
字昆布山谷

一、荒蕪地〔四畝貳拾七歩三合〕四畝拾貳歩



*右下図抹消線あり

右ハ御払下地今般丈量候所、野取図面前記之通相違無之候也

遼摩郡佐摩村

明治二十年七月

小割安三郎

佐摩村外四ヶ村戸長

嶋根県知事筆手田安定殿

宗岡光寿

130

印紙

建物譲渡証書

石見国邇摩郡佐摩村二式百廿五番地

字岩屋堂 自分所有地

一、建物本屋壹棟

桁行五間半
梁行四間半

坪数廿四坪七合五勺

一、建物製煉所壹棟

桁行四間
梁行六間

坪数貳拾四坪

一、全上

桁行九間
梁行四間

坪数三十六坪

一、建物雪隠壹棟

桁行壹間半
梁行壹間

坪数壹坪五合

一、全上

桁行壹間
梁行壹間

坪数壹坪

但建具敷場一切不殘

無代価譲渡

右ハ是迄私所有罷在候処、今般貴殿工譲渡申処確實也、然ル上ハ将来御自由ニ進退可被成候、尤モ該建物ニ付他ノ異儀申者更ニ無之候、依テ建物譲渡証一札相渡申処如件

大阪府下西成郡川崎村五百五十六番地

譲渡人 浅田市兵衛代理

嶋根県下邇摩郡佐摩村百三十八番地寄留

明治二十年七月

兵庫県士族

大原順之助

保証人

山口県阿武郡萩古萩町拾三番地平民

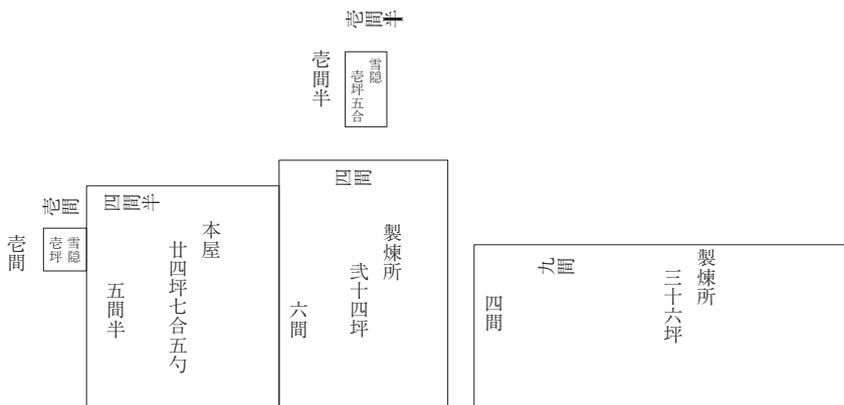
当時大阪府下東区伏見町拾三丁目四番地寄留

廣田義二郎殿

131 「譲渡建物図面」(破線で囲み)

明治二十年七月 譲渡

石見国邇摩郡佐摩村二式百廿五番建物



*平面図朱書

大阪府下西成郡川崎村五百五拾六番地

讓渡人 浅田市兵衛代理

石見国邇摩郡佐摩村百三十八番地寄留

兵庫県土族 大原順之助

山口県長門国阿武郡萩古萩町十三番地平民

当時大阪府下東区伏見町三丁目拾四番地寄留

廣田義二郎殿

大阪府下西成郡川崎村五百五拾六番地

平民

讓渡人 浅田市兵衛

当時島根県邇摩郡佐摩村百三十八番地

寄留 兵庫県土族

右代人 大原順之助

建物讓渡二付登記願

山口県阿武郡萩古萩町拾三番地当時

大阪府下東区伏見町三丁目十四番地寄留

平民

廣田義二郎代理

嶋根県邇摩郡佐摩村百五十式番地寄留

秋田県平民

北林兼司

133 建物登記済下附願(証脱)

石見国邇摩郡佐摩村二式百廿五番地字岩屋堂

一、建物本屋壹棟

桁行五間半 坪数廿四坪七合五勺
梁行四間半

一、建物製煉場壹棟

桁行四間 坪数貳拾四坪
梁行六間

一、全上

桁行九間 坪数三十六坪
梁行四間

一、建物雪隠壹棟

桁行壹間半 坪数壹坪五合
梁行壹間

一、全上

桁行壹間 坪数壹坪
梁行壹間

但建具敷場一切不残

右之建物今般大阪府下西成郡川崎村五百五拾六番地平民浅田市兵衛ヨリ讓受候二付、登記済之証御下附被成下度、此段奉願候也

山口県阿武郡萩古萩町拾三番地平民当時

大阪府下東区伏見町三丁目拾四番地寄留

廣田義二郎代理

嶋根県邇摩郡佐摩村百五十式番地寄留

秋田県平民

北林兼司

佐摩登記所御中

134

火薬買入願

一、火薬三貫目

右八本年四月廿五日石割許可地内石見国邇摩郡佐摩村銀山字昆布山谷新横相坑・新盛坑及ヒ大谷龍源寺通洞右三ヶ所坑内切抜メノ為メ、是迄火薬式十三貫目八度ニ買求其当日使用致候ニ付、尚前記ノ火薬買入ノ上使
用仕度候間免シ手形御下渡被下度、此段戸長奥印ヲ以テ奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村銀山

鉱業人廣田義二郎代理

同国同郡同村百三十八番地寄留

兵庫県土族大原順之助代理

同国同郡同村百八拾九番地寄留

東京府平民

谷川千代松印

明治二十年七月十日

大田警察署

御中 式通

135 御届

火薬買入ノ為メ出頭可仕之処、事務之都合ニ依リ須田浅市ヲ以テ代理卜シ願書為差出候間、此段御届仕候也

大原順之助代

谷川千代松

明治二十年七月十日

大田警察署御中 式通

136 御届

去ル九日社用ニテ出雲国神門郡鷓峠³⁶山へ出張罷在候処、本日帰山仕候

拙者義

間社員谷川千代松代理解任候条、此段御届申上候也

廣田義二郎代

明治二十年七月十二日

大原順之助

邇摩 郡長宛

安ノ

佐摩外四ヶ村戸長宛

大森分署宛

137 火薬買入願

一、火薬三貫目

右者本年四月廿五日石割許可地内石見国邇摩郡佐摩村銀山字昆布山谷新横相坑及ヒ大谷龍源寺坑通洞右三ヶ所坑内切抜メノ為メ、是迄火薬式拾六貫目買求メ其当日使用致候ニ付、尚前記火薬買入之上使用致度候間免シ手形御下渡被下度、此段戸長奥印ヲ以テ奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村

銀山鉱業人

廣田義二郎代理

当時同国同郡同村百三拾八番地寄留

兵庫県土族

大原順之助

明治廿年七月廿一日

大田警察署宛 式通

138 御届

火薬買入ノ為メ出頭可致候処、事務之都合ニ依リ村上米作ヲ以テ願書差

出サセ候間、此段御届仕候也

廿年七月廿一日

大田警察署宛

大原順之助

式番地寄留

秋田県平民

北林兼司

139

印鑑証明願（全体に抹消線あり）

〔五寸〕

兵庫県多紀郡井上村百四十三番地土族
 当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村
 百三十八番地寄留
 大原順之助

〔四寸〕

右印鑑御証明被下度奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村

百三十八番地寄留

兵庫県土族

大原順之助

廿年七月廿一日

佐摩外四村戸長

宗岡光寿殿

式通

140

地所讓渡ニ付登記願

山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地

平民

廣田義二郎代理

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村百五拾

141

地所登記済証下付願

石見国邇摩郡大国村千五百八拾七番地
 字板屋向上ミ

一、田反別五畝九歩

地価金拾八円貳拾三錢七厘

同国同郡同村千五百八拾八番地

字板屋向

一、田反別七畝三歩

地価金貳拾四円四拾貳錢貳厘

同国同郡同村千五百八拾九番地

字家ノ前

一、田反別六畝貳拾七歩

地価金三拾円〇七錢

同国同郡同村千五百九拾番地

字表田

一、田反別壹反四畝九歩

地価金六拾貳円三拾三錢八厘

外二荒地反別四畝歩

同国同郡同村千五百九拾壹番地

字表田上ミ

一、田反別三畝九歩

地価金拾三円六拾貳錢五厘

同国同郡同村千五百九拾貳番地

字板屋下モ

一、田反別八畝三步

地価金貳拾七円八拾七錢壹厘

同国同郡同村千六百番地

字板屋上ミ

一、田反別貳畝貳拾四歩

地価金九円五拾七錢六厘

同国同郡同村千六百貳番地

字古クレ

一、田反別壹反七畝三步

地価金五拾円六拾七錢貳厘

同国同郡同村千六百五番地

字古クレ

一、田反別貳拾七歩

地価金三円〇九錢

同国同郡同村千六百六番地

字古クレ

一、田反別三畝拾五歩

地価金拾貳円〇三錢

同国同郡同村千六百拾番地

字山口

一、田反別貳畝三步

地価金七円貳拾貳錢

同国同郡同村千六百壹番地

字水戸

一、宅地反別壹畝六歩

地価貳円拾九錢

同国同郡同村千六百七番地

字古曙

一、宅地反別壹畝九歩

地価金壹円九拾七錢六厘

右地所今般邇摩郡大國村貳百三拾番地平民田中勘二郎ヨリ讓受候二付、

地券書替願出度候間登記済之証御下付被成下度、此段奉願候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地

平民

廣田義二郎代理

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百五拾貳番地寄留

秋田県平民

北林兼司

佐摩登記所御中

142 地券書換手数料上納証

大國村千五百八拾七番地券

一、金三錢

同村千五百八拾八番地券

一、金三錢

同村千五百八拾九番地券

一、金三錢

同村千五百九拾番地券

一、金三銭

同村千五百九拾壹番地券

一、金三銭

同村千五百九拾貳番地券

一、金三銭

同村千六百番地券

一、金三銭

同村千六百貳番地券

一、金三銭

同村千六百五番地券

一、金三銭

同村千六百六番地券

一、金三銭

同村千六百拾番地券

一、金三銭

同村千六百壹番地券

一、金三銭

同村千六百七番地券

一、金三銭

ノ拾三筆

此計金三拾九銭

右上納候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百五拾貳番地寄留

秋田県平民

北林兼司

邇摩 郡長中村秀年殿

安濃

143 讓受渡地券書換願

石見国邇摩郡大国村千五百八拾七番地

字板屋向上ミ

一、田反別五畝九歩

地価金拾八円貳拾三銭七厘

同国同郡同村千五百八拾八番地

字板屋向

一、田反別七畝三歩

地価金貳拾四円四拾貳銭貳厘

同国同郡同村千五百八拾九番地

字家ノ前

一、田反別六畝貳拾七歩

地価金三拾円〇七銭

同国同郡同村千五百九拾番地

字表田

一、田反別壹反四畝九歩

地価金六拾貳円三拾三銭八厘

外二荒地反別四畝歩

同国同郡同村千五百九拾壹番地
字表田上ミ

一、田反別三畝九歩

地価金拾三円六拾貳銭五厘

同国同郡同村千五百九拾貳番地

字板屋下モ

一、田反別八畝三歩

地価金貳拾七円八拾七銭壹厘

同国同郡同村千六百番地

字板屋上ミ

一、田反別貳畝貳拾四歩

地価金九円五拾七銭六厘

同国同郡同村千六百貳番地

字古クレ

一、田反別壹反七畝三歩

地価金五拾円六拾七銭貳厘

同国同郡同村千六百五番地

字古クレ

一、田反別貳拾七歩

地価金三円〇九銭

同国同郡同村千六百六番地

字古クレ

一、田反別三畝拾五歩

地価金拾貳円〇三銭

同国同郡同村千六百拾番地

字山口

一、田反別貳畝三歩

地価金七円貳拾貳銭

同国同郡同村千六百壹番地

字水戸

一、宅地反別壹畝六歩

地価金貳円拾九銭

同国同郡同村千六百七番地

字古曙

一、宅地反別壹畝九歩

地価金壹円九拾七銭六厘

「合反別」

右之地所讓受渡候ニ付地券状拾三枚御書替被下度、成規之手数料相添、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

石見国邇摩郡大国村貳百三拾番地
平民

田中勘二郎

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番平民

銀山鉷業人

廣田義二郎代理

当時石見国邇摩郡佐摩村

百五拾貳番地寄留

秋田県平民

北林兼司

邇摩

郡長中村秀年殿

安濃

144

大坂府下撰津国西成郡川崎村五百五拾六番地
平民

讓渡人 浅田市兵衛

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百三十八番地寄留

兵庫県土族

右代理人 大原順之助

地所讓渡ニ付登記願

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百五十式番地寄留

秋田県平民

北林兼司

145

地所登記済証下付願

石見国邇摩郡佐摩村二ノ式百式拾五番地

字岩屋堂

一、宅地八畝式拾四步壹合

地価金三円六拾九錢七厘

地租金九錢貳厘

右之地所今般大坂府下撰津国西成郡川崎村五百五拾六番地平民浅田市兵

衛ヨリ讓受候二付、地券書替願出度候間、登記済之証御下付被成下度、

此段奉願候也

山口県長門国萩古萩町
拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百五十式番地寄留

秋田県平民

北林兼司

佐摩登記所御中

御証明願 (本文は148
こまで「藤田組」の野紙)

(146から148表題まで「藤田組大森鉦山所」の野紙)

146

地所讓渡証

石見国邇摩郡佐摩村二ノ式百式拾五番地

字岩屋堂

一、宅地八畝式拾四步壹合

地価金

地租金

右地所是迄拙者所有ニ有之候処、前記之代価ヲ以テ貴殿へ讓渡候義実正也、然ル上ハ本年 月以後地租等ノ上納方ハ貴殿ヨリ御上納可被成候、他ヨリノ故障申出候者有之節ハ拙者等ニ於テ引受ケ聊モ御迷惑相掛申間敷、依テ為後日讓渡証差出置候処如斯

大坂府下撰津国西成郡川崎村五百五十六番

地平民

讓渡人 浅田市兵衛

佐賀県肥前国杵嶋郡武雄上瀧村

当時撰津国北区若松町八番地寄留

佐賀県土族

同 久間琢馬

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百三十八番地寄留

兵庫県土族

右兩人代理 大原順之助

廣田義二郎殿

147 地券書換手数料上納証

佐摩村貳百貳拾番地券

一、金三錢

右上納仕候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時島根県石見国邇摩郡佐摩

村百五十貳番地寄留

秋田県平民

北林兼司

邇摩

郡長宛

安濃

148 御証明願

石見国邇摩郡佐摩村二ノ貳百貳拾五番地

字岩屋堂

一、宅地八畝貳拾四步壹合

地価金

右之地所今般山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地廣田義二郎へ讓渡候

二付登記願出度候間、登記法第四拾条³⁷ニ依リ所有者タル「御証明被下度、

此段相願候也

大坂府下撰津国西成郡川崎村

五百五拾六番地平民

浅田市兵衛

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百三十八番地寄留

兵庫県土族

大原順之助

佐摩外四村戸長

宗岡光寿殿

149 讓受渡地券書替願

石見国邇摩郡佐摩村二ノ貳百貳拾五番地

字岩屋堂

一、宅地八畝貳拾四步壹合

地価金

地租金

右地所讓受渡候二付地券状壹枚御書替被下度、成規之手数料相添、此段

戸長奥印ヲ以テ奉願候也

大阪府下撰津国西成郡川崎村

五百五十六番地平民

讓渡人 浅田市兵衛

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百三十八番地寄留

兵庫県土族

右代理 大原順之助

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百五十式番地寄留

秋田県平民

北林兼司

邇摩
郡長中村秀年殿
安濃

150

大坂府下撰津国西成郡川崎村

五百五拾六番地平民

讓渡人 浅田市兵衛

佐賀県肥前国杵嶋郡武雄上瀧村

当時撰津国北区若松町八番地寄留

士族

全 久間琢馬

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百三十八番地寄留

兵庫県土族

右兩人代理 大原順之助

地所讓渡ニ付登記願

山口県長門国阿武郡萩古萩町

十三番地平民

廣田義二郎代理

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村百五十

式番地寄留

秋田県平民

北林兼司

151

地所登記済証下付願

石見国邇摩郡佐摩村二ノ式百式拾六番地

字岩屋堂

一、荒地地壹畝七步七合

同国同郡同村二ノ式百式拾三番地

字岩屋堂

一、荒地地式拾六步三合

同国同郡同村二ノ百八拾五番地

字龍源寺山

一、宅地式拾七步壹合

地価金三拾七錢九厘

地租金九厘

同国同郡同村二ノ式百三拾壹番地
字栃畑谷

一、荒地地四畝三步壹合

同国同郡同村二ノ式百八拾三番地字出シ辻谷

字大横相

荒地地三畝廿步三合

同国同郡同村二ノ式百三拾貳番地

一、荒地地壹畝拾三步五合

同国同郡同村二ノ式百六拾九番地

字昆布山谷

一、荒地地三畝拾七步六合

同国同郡同村二ノ式百五十九番地

字栃畑谷

一、宅地三畝拾七步五合

地価金壹円貳拾五錢八厘

地租金三錢壹厘

右之地所今般大坂府下撰津国西成郡川崎村五百五拾六番地平民浅田市兵衛、佐賀県肥前国杵嶋郡武雄上瀧村当時撰津国北区若松町八番地寄留士族久間琢馬ヨリ譲受候ニ付地券書替願出候間、登記済証御下付被成下度、此段奉願候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時島根県石見国邇摩郡佐摩村

百五拾貳番地寄留

秋田県平民

北林兼司

佐摩登記所御中

152 讓受渡地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村二ノ式百貳拾六番地
字岩屋堂

一、荒地地壹畝七步七合

同国同郡同村二ノ式百貳拾三番地

字岩屋堂

一、荒地地貳拾六步三合

同国同郡同村二ノ百八十五番地

字龍源寺山

一、宅地貳拾七步壹合

地価金三拾七錢九厘

地租金九厘

同国同郡同村二ノ式百三拾壹番地

字栃畑谷

一、荒地地四畝三步壹合

同国同郡同村二ノ式百八拾三番地

字出シ辻

一、荒地地三畝貳拾步三合

同国同郡同村二ノ百三拾貳番地

字大横相

一、荒地地壹畝拾三步五合

同国同郡同村二ノ式百六拾九番地

字昆布山谷

一、荒地地三畝拾七步六合

同国同郡同村二ノ式百五拾九番地

字栃畑谷

一、宅地三畝拾七步五合

地価金壹円貳拾五銭八厘

地租金三銭壹厘

右地所讓受渡候ニ付地券状八枚御書替被下度、成規之手数料相添、戸長
奥印ヲ以テ此段奉願候也

大坂府下撰津国西成郡川崎村

五百五拾六番地平民

讓渡人 浅田市兵衛

佐賀県肥前国杵嶋郡武雄

上瀧村

当時撰津国北区若松町八番地

寄留

佐賀県士族

同 久間琢馬

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百三拾八番地寄留

兵庫県士族

右兩人代理 大原順之助

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百五十式番地寄留

秋田県平民

北林兼司

邇摩 郡長中村秀年殿
安濃

153 御証明願

石見国邇摩郡佐摩村二ノ式百貳拾六番地

字岩屋堂

一、荒地地壹畝七步七合

同国同郡同村二ノ式百貳拾三番地

字岩屋堂

一、荒地地貳拾六步三合

同国同郡同村二ノ百八十五番地

字龍源寺山

一、宅地貳拾七步壹合

地価金三拾七銭九厘

同国同郡同村二ノ式百三拾壹番地

字栃畑谷

一、荒地地四畝三步壹合

同国同郡同村二ノ式百八拾三番地

字出シ辻

一、荒地地三畝貳拾步三合

同国同郡同村二ノ百三拾貳番地

字大横相

一、荒地地壹畝拾三步五合

同国同郡同村二ノ式百六拾九番地

字昆布山谷

一、荒地地三畝拾七步六合

同国同郡同村二ノ式百五拾九番地

字栃畑谷

一、宅地三畝拾七步五合

地価金壹円貳拾五錢八厘

*以下、一ツ書を抹消

同国同郡同村二ノ貳百貳拾五番地

字岩屋堂

一、宅地八畝貳拾四歩壹合

地価金

「此分別記スベキ
分ニ付取消ス」

同国同郡大国村千五百八拾七番地

字板屋向上ミ

一、田反別五畝九歩

「以下同断」

地価金拾八円貳拾三錢七厘

同国同郡同村千五百八拾八番地

字板屋向

一、田反別七畝三歩

地価金貳拾四円四拾貳錢貳厘

同国同郡同村千五百八拾九番地

字家ノ前

一、田反別六畝貳拾七歩

地価金三拾円〇七錢

同国同郡同村千五百九拾番地

字表田

一、田反別壹反四畝九歩

地価金六拾貳円三拾三錢八厘

外ニ荒地反別四畝歩

同国同郡同村千五百九拾壹番地

字表田上ミ

一、田反別三畝九歩

地価金拾三円六拾貳錢五厘

同国同郡同村千五百九拾貳番地

字板屋下モ

一、田反別八畝三歩

地価金貳拾七円八拾七錢壹厘

同国同郡同村千六百番地

字板屋上ミ

一、田反別貳畝貳拾四歩

地価金九円五拾七錢六厘

同国同郡同村千六百貳番地

字古クレ

一、田反別壹反七畝三歩

地価金五拾円六拾七錢貳厘

同国同郡同村千六百五番地

字古クレ

一、田反別貳拾七歩

地価金三円〇九錢

同国同郡同村千六百六番地

字古クレ

一、田反別三畝拾五歩

地価金拾貳円〇三錢

同国同郡同村千六百拾番地

字山口

一、田反別貳畝三歩

地価金七円貳拾貳錢

同国同郡同村千六百壹番地

字水戸

一、宅地壹畝六歩

地価金貳円拾九銭

同国同郡同村千六百七番地

字古曙

一、宅地壹畝九歩

地価金壹円九拾七銭六厘

右之地所今般山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地廣田義二郎へ譲渡候

二付登記願出度候間、登記法第四拾條ニ依り所有者タル御証明被下度、此段相願候也

大坂府下撰津国西成郡川崎村

五百五十六番地平民

浅田市兵衛

佐賀県肥前国杵嶋郡武雄上瀧村

当時撰津国北区若松町八番地寄留

佐賀県士族

久間琢馬

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百三拾八番地寄留

兵庫県士族

右兩人代理 大原順之助

佐摩外四村戸長

宗岡光寿殿

154 地券書替手数料上納証

佐摩村二ノ式百貳拾六番地券

一、金三銭

全村二ノ式百貳拾三番地券

一、金三銭

全村二ノ百八拾五番地券

一、金三銭

全村二ノ式百三拾壹番地券

一、金三銭

全村二ノ式百八拾三番地券

一、金三銭

全村二ノ百三拾貳番地券

一、金三銭

全村二ノ式百六拾九番地券

一、金三銭

全村二ノ式百五拾九番地券

一、金三銭

全村二ノ式百貳拾五番地券

一、金三銭

九筆

此計金貳拾七銭

右納候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時島根県石見国邇摩郡

佐摩村百五拾貳番地寄留
秋田県平民
北林兼司

邇摩
郡長中村秀年殿
安濃

155 地所讓渡証

石見国邇摩郡佐摩村二ノ貳百貳拾六番地
字岩屋堂

一、荒地壹畝七步七合

同国同郡同村二ノ貳百貳拾三番地

字岩屋堂

一、荒地貳拾六步三合

同国同郡同村二ノ百八十五番地

字龍源寺山

一、宅地貳拾七步壹合

地価金三拾七錢九厘

地租金九厘

同国同郡同村二ノ貳百三拾壹番地

字枋畑谷

一、荒地四畝三歩壹合

同国同郡同村二ノ貳百八拾三番地

字出シ辻

一、荒地三畝貳拾歩三合

同国同郡同村二ノ百三拾貳番地

字大横相

一、荒地壹畝拾三歩五合

同国同郡同村二ノ貳百六拾九番地

字昆布山谷

一、荒地三畝拾七歩六合

同国同郡同村二ノ貳百五拾九番地

字枋畑谷

一、宅地三畝拾七歩五合

地価金壹円貳拾五錢八厘

地租金三錢壹厘

*以下、一ツ書を抹消

同国同郡同村二ノ貳百貳拾五番地

字岩屋堂

一、宅地八畝貳拾四歩壹合

地価金

地租

同国同郡同村大國村千五百八拾七番地

字板屋向上ミ

一、田反別五畝九歩

地価金拾八円貳拾三錢七厘

同国同郡同村千五百八拾八番地

字板屋向

一、田反別七畝三歩

地価金貳拾四円四拾貳錢貳厘

同国同郡同村千五百八拾九番地

字家ノ前

「以下別記スベ
キ分ニ付取消ス」

一、田反別六畝貳拾七步

地価金三拾円〇七銭

同国同郡同村千五百九拾番地

字表田

一、田反別壹反四畝九步

地価金六拾貳円三拾三銭八厘

外二荒地反別四畝步

同国同郡同村千五百九拾壹番地

字表田上ミ

一、田反別三畝九步

地価金拾三円六拾貳銭五厘

同国同郡同村千五百九拾貳番地

字板屋下も

一、田反別八畝三步

地価金貳拾七円八拾七銭壹厘

同国同郡同村千六百番地

字板屋上ミ

一、田反別貳畝貳拾四步

地価金九円五拾七銭六厘

同国同郡同村千六百貳番地

字古クレ

一、田反別壹反七畝三步

地価金五拾円六拾七銭貳厘

同国同郡同村千六百五番地

字古クレ

一、田反別貳拾七步

地価金三円〇九銭

同国同郡同村千六百六番地

字古クレ

一、田反別三畝拾五步

地価金拾貳円〇三銭

同国同郡同村千六百拾番地

字山口

一、田反別貳畝三步

地価金七円貳拾貳銭

同国同郡同村千六百壹番地

字水戸

一、宅地反別壹畝六步

地価金貳円拾九銭

同国同郡同村千六百七番地

字古曙

一、宅地反別壹畝九步

地価金壹円九拾七銭六厘

合反別

右地所是迄拙者処有ニ有之候処前記之代価ヲ以テ貴殿へ讓渡候義実正也、然ル上ハ本年 月以後地租等ノ上納方ハ貴殿ヨリ御上納可被成候、他ヨリノ故障等ハ一切無之候、若シ万一故障申出候者有之節ハ拙者等ニ於テ引受ケ聊カ御迷惑相掛申間敷、依テ為後日讓渡証差出置候処如斯

大阪府下撰津国西成郡川崎村五百五十六番

地平民

讓渡人 浅田市兵衛

佐賀県肥前国杵嶋郡武雄上瀧村

当時撰津国北区若松町八番地寄留

佐賀県士族

全 久間琢馬

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百三十八番地寄留

兵庫県士族

右兩人代理 大原順之助

廣田義二郎殿

156 御証明願(全体に抹消線あり)

石見国邇摩郡佐摩村二ノ式百式拾六番地

字岩屋堂

一、荒地壹畝七步七合

同国同郡同村二ノ式百式拾三番地

字岩屋堂

一、荒地壹畝拾六步三合

同国同郡同村二ノ百八十五番地

字龍源寺山

一、宅地貳拾七步壹合

地価金三拾七錢九厘

同国同郡同村二ノ式百三拾壹番地

字枿畑谷

一、荒地四畝三歩壹合

同国同郡同村二ノ式百八拾三番地

字出シ辻

「是レハ重服ニ付
取消ス」

一、荒地三畝貳拾步三合

同国同郡同村二ノ百三拾貳番地

字大横相

一、荒地壹畝拾三歩五合

同国同郡同村二ノ式百六拾九番地

字昆布山谷

一、荒地三畝拾七歩六合

同国同郡同村二ノ式百五拾九番地

字枿畑谷

一、宅地三畝拾七歩五合

地価金壹円貳拾五錢八厘

同国同郡同村二ノ式百式拾五番地

字岩屋堂

一、宅地八畝貳拾四歩壹合

地価金

同国同郡大国村千五百八拾七番地

字板屋向上ミ

一、田反別五畝九歩

地価金拾八円貳拾三錢七厘

同国同郡同村千五百八拾八番地

字板屋向

一、田反別七畝三歩

地価金貳拾四円四拾貳錢貳厘

同国同郡同村千五百八拾九番地

字家ノ前

一、田反別六畝貳拾七歩

地価金三拾円〇七銭

同国同郡同村千五百九拾番地

字表田

一、田反別壹反四畝九歩

地価金六拾貳円三拾三銭八厘

外二荒地反別四畝歩

同国同郡同村千五百九拾壹番地

字表田上ミ

一、田反別三畝九歩

地価金拾三円六拾貳銭五厘

同国同郡同村千五百九十貳番地

字板屋下も

一、田反別八畝三歩

地価金貳拾七円八拾七銭壹厘

同国同郡同村千六百番地

字板屋上ミ

一、田反別貳畝貳拾四歩

地価金九円五拾七銭六厘

同国同郡同村千六百貳番地

字古クレ

一、田反別壹反七畝三歩

地価金五拾円六拾七銭貳厘

同国同郡同村千六百五番地

字古クレ

一、田反別貳拾七歩

地価金三円〇九銭

同国同郡同村千六百六番地

字古クレ

一、田反別三畝拾五歩

地価金拾貳円〇三銭

同国同郡同村千六百拾番地

字水戸

一、宅地壹畝六歩

地価金貳円拾九銭

同国同郡同村千六百七番地

字古曙

一、宅地壹畝九歩

地価金壹円九拾七銭六厘

右之地所今般山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地廣田義二郎へ譲渡候

二付登記願出度候間、登記法第四拾條ニ依リ所有者タル「御証明被下度、

此段相願候也

同国同郡同村千六百拾番地

字山口

一、田地貳畝三歩

地価金七円貳拾貳銭

同国同郡同村千六百拾番地

字山口

一、田地貳畝三歩

地価金七円貳拾貳銭

同国同郡同村千六百拾番地

字古曙

一、宅地壹畝九歩

地価金壹円九拾七銭六厘

右之地所今般山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地廣田義二郎へ譲渡候

二付登記願出度候間、登記法第四拾條ニ依リ所有者タル「御証明被下度、

此段相願候也

大坂府下撰津国西成郡川崎村

五百五拾六番地平民

浅田市兵衛

佐賀県肥前国杵嶋郡武雄上瀧村

当時撰津国北区若松町八番地寄留

佐賀県士族

久間琢馬

当時嶋根県石見国瀬摩郡佐摩村

百三拾八番地寄留

兵庫県士族

右兩人代理 大原順之助

佐摩外四村戸長
宗岡光寿殿

(157のみ「藤田組大森鉾山所」の野紙、前後は「藤田組」の野紙)

157 譲受渡地券書換願

石見国邇摩郡佐摩村ニノ式百式拾六番地
字岩屋堂

一、荒地地壹畝七步七合

全国全郡全村ニノ式百式拾三番地

字岩屋堂

一、荒地地貳拾六步三合

全国全郡全村ニノ百八拾五番地

字龍源寺山

一、宅地貳拾七步壹合

地価金三拾七錢九厘

地租金九厘

全国全郡全村ニノ式百三拾壹番地

字栃畑谷

一、荒地地四畝三歩壹合

全国全郡全村ニノ式百八拾三番地

字出シ辻

一、荒地地三畝貳拾歩三合

全国全郡全村ニノ百三拾貳番地

字大横相

一、荒地地壹畝拾三歩五合

全国全郡全村ニノ式百六拾九番地

字昆布山谷

一、荒地地三畝拾七歩六合

全国全郡全村ニノ式百五拾九番地

字栃畑谷

一、宅地三畝拾七歩五合

地価金壹円貳拾五錢八厘

地租金三錢壹厘

右地所譲受渡候ニ付地券状八枚御書替被下度、成規之手数料相添、戸長
奥印ヲ以テ此段奉願候也

大坂府下撰津国西成郡川崎村

五百五拾六番地平民

讓渡人 浅田市兵衛

佐賀県肥前国杵嶋郡武雄上瀧村

当時撰津国北区若松町八番地寄留

士族

同 久間琢馬

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村百三拾

八番地寄留

兵庫県士族

右兩人代理 大原順之助

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

廣田義二郎代理

当時嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

百五拾貳番地寄留
秋田県平民

北林兼司

邇摩郡長宛
安濃

158 火薬買入願

一、火薬三貫目

右者石見国邇摩郡大国村字柑子谷永久通洞切抜メノ為メ、前記ノ火薬買求メ度候間免シ手形御渡被下度、此段大森分署ノ火薬石割願御指令相添、戸長奥印ヲ以テ奉願候也

銀山鉦業人廣田義二郎代理

明治廿年七月廿三日

大原順之助

大田警察署 式通

御中

159 御願

石見国邇摩郡大国村

字柑子谷 永久通洞

右者今般開鉦ノ為メ火薬ヲ以テ石割仕度候間、別紙函面相添、此段奉願候也 函面略ス

鉦業人廣田義二郎代

明治廿年七月廿三日

大原順之助

大田警察署

大森分署宛 式通

160 御届

火薬買入ノ為メ出頭可仕之処、事務之都合ニ依リ門脇格造ヲ以テ代理トシ願書為差出候間、此段御届仕候也

廿年七月廿三日

大原順之助

大田警察署宛 壹通

161 火薬庫建設落成ニ付御検査願

本年四月廿三日付ヲ以御願致置候火薬庫本日落成致候ニ付鉦業上入用火薬貯蔵仕度候間、御検査被成下度戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡佐摩村

銀山鉦業人

廣田義二郎代理

同郡同村寄留

明治廿年七月廿六日

大原順之助

大田警察署宛 三通

162 火薬買入願

一、火薬三貫目

右者本年四月廿五日石割許可地内石見国邇摩郡佐摩村銀山字昆布山谷新横相坑・新盛坑及ヒ大谷龍源寺通洞右三ヶ所坑内切抜メノ為メ、是迄貳拾九貫目買求メ其当日使用致候ニ付、尚前記火薬買入之上使用致度候間免シ手形御下渡被下度、此段戸長奥印ヲ以テ奉願候也

邇摩郡佐摩村

銀山鉦業人

廣田義二郎代理

同国同郡同村

大原順之助

明治廿年七月廿六日

大田警察署宛 式通

163 御届

火薬買入之為メ出頭可致之処、事務之都合ニ依リ樋高又二郎ヲ以テ願書
為差出候間、此段御届仕候也

明治廿年七月廿六日

大原順之助

大田警察署宛 壹通

164 鉱業用火薬類買入願

一、火薬 百貫目

一、ダイナマイト 百磅 此和量拾貳貫目

右者借区許可地内当郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、枋畑谷、出シ辻、
仙ノ山、石銀山及当郡大國村字柑子谷永久通洞、全郡佐摩村銀山町小字
大谷龍源寺通洞各坑内開鑿場江支用^(使)ニ付、大坂府下東区伏見町三丁目
十四番地火薬免許商藤田鹿太郎^(商)より買入之上、火薬庫江貯藏其時々支用^(使)
可致候間免シ手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡佐摩村

銀山町鉱業人

廣田義二郎代理

同郡同村百三拾八番地

寄留

明治廿年八月廿九^九日

大原順之助

「大森分署工村上米作ヲ為出頭免シ手形受取ラセシム

廿年八月十四日

大坂本店工直チニ送附濟」

大田警察署宛 三通

165 鉱業用火薬買入願

一、火薬貳拾貫目

右者借区許可地内当郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、枋畑谷、出シ辻、
仙ノ山、石銀山及当郡大國村字柑子谷永久通洞、全郡佐摩村字銀山町小
字大谷龍源寺通洞各坑内開鑿場江支用^(使)ニ付、本県那賀郡浜田駅新町尾
田重兵衛火薬免許商ヨリ買入之上、火薬庫江貯藏其時々支用^(使)可致候間免
シ手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村

銀山町鉱業人

廣田義二郎代理

同国同郡同村百三十八番地

寄留

明治廿年七月

大原順之助

嶋根県

大田警察署

三通

御中

166 御届

拙者義

近傍鉦山巡視旁々保養ノ為メ本日出發安濃郡地方へ出張致候二付、不在
中社員谷川千代松ヲ以テ代理為致候間、此段御届申上候也

邇摩郡佐摩村百三十八番
地寄留

明治廿年七月廿六日

大原順之助

郡長、戸長、警察分署へ各々通宛

167 御払下地御引渡二付御請

佐摩村ホ三百六十六番字昆布山谷
一、荒蕪地四畝拾貳歩

右者官有地第三種ニ候処今般御払下御指令ニ依リ代金上納致候ニ付、該
地御引渡相成正ニ領収候、且隣地境界等ニ於テ故障筋無之候、依テ隣地
持主連署此段御受書差上候也

御払下願人

邇摩郡佐摩村

明治二十年八月

小割安三郎

隣地主

川村タケ
鈴木正吉

佐摩村外四ヶ村戸長宛

168 御届

火薬買入之為メ出頭可致之処、事務之都合ニ依リ出頭致兼候間柳原喜代
二付

作ヲ以代理為致候間、此段御届仕候也
願書為差出候間

邇摩郡佐摩村寄留

谷川千代松

明治二十年八月三日

島根県

大田警察署御中

169 御届

私義

客月廿六日鉦山巡視旁々保養ノ為メ安濃郡地方へ出張致候処、本日帰山致
候ニ付社員谷川千代松代理解任仕候間、此段御届申上候也

邇摩郡佐摩村百三十八番地寄留

明治二十年八月三日

大原順之助

郡長、戸長、分署各々通宛

170 委任状
印紙

拙者義都合ニ依リ高田安太郎ヲ以テ左之権限之事ヲ部理代理為致候事
一、嶋根県石見国邇摩郡佐摩村銀山鉦業人廣田義二郎代理ニテ火薬式十
貫目買入方御許可相成候ニ付、右火薬買入并ニ運搬方代理之件
右代理委任状、仍而如件

石見国邇摩郡佐摩村

銀山町百八十九番地寄留

東京府平民

明治二十年八月五日

谷川千代松

171 御届

是八百貫目ニ対スル分

拙者義

火薬買入願之件ニ付出頭可致之処、事務之都合ニ依リ村上米作ヲ以テ願書為差出候、此段御届仕候也

明治廿年八月九日

大原順之助

大田警察署宛

172 鉾業用火薬買入願

一、火薬貳拾五貫目

右者借区^{〔許可〕}。地内当郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、枋畑谷、出シ辻、仙ノ山、石銀山及当郡大国村字柑子谷永久通洞、全郡佐摩村字銀山町小字大谷龍源寺通洞各坑内開鑿場へ支用候ニ付、本県那賀郡浜田新町尾田重兵衛火薬免許商ヨリ囊ニ貳拾貫目買受^{〔使消〕}支障候ニ付、猶前頭之火薬買入之上火薬庫へ貯蔵其時々支用可致候間免シ手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村

銀山町鉾業人

廣田義二郎代理

同国同郡同村百三拾八番地

寄留

大原順之助

明治廿年八月十五日

式通

島根県 大田警察署御中

173 御届

拙者義

火薬買入之為メ出頭可致之処、事務之都合ニ依リ柳原喜代作ヲ以テ願書為差出候条、此段御届仕候也

明治廿年八月十五日

大原順之助

大田警察署御中 壹通

174 御届

私儀

社用ニ付本日日出發出雲国松江駅へ出張仕候ニ付、不在中社員谷川千代松ヲ以テ代理為致候間、此段御届申上候也

廣田義二郎代

明治廿年八月十七日

大原順之助

邇摩 郡長宛

安ノ

大森分署宛

佐摩外四ヶ村戸長宛

175 鉾業用火薬買入願

一、火薬四貫五百匁

右ハ借区許可地内当郡佐摩村字銀山町小字昆布山、枋畑谷、出シ辻、仙ノ山、石銀山及当郡大国村字柑子谷永久通洞、全郡佐摩村火薬免許商岡田道敏ノ買入之上、火薬庫へ貯蔵其時々支用可致候間免シ手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

明治廿年八月廿二日

石見国邇摩郡佐摩村
銀山町鉦業人

廣田義二郎代理

同国同郡同村百三拾八番地寄留

大原順之助代

同国同郡同村百八拾九番地

谷川千代松

島根県大田警察署御中

176 御届

拙者義

火薬買入免シ手形下渡願之為出頭可致之処、事務之都合ニ依リ三宅丈一
郎ヲ以テ願書為差出候間、此段御届仕候也

大原順之助代

谷川千代松

明治廿年八月廿二日

島根県大田警察署御中

177 御届

私義社用ニ付嚮ニ出雲国松江へ出張、不在中谷川千代松ヲ以テ代理為致
居候処、昨日帰山本日ヨリ執務致候間、此段御届仕候也

廣田義二郎代

大原順之助

明治廿年八月廿三日

郡長宛

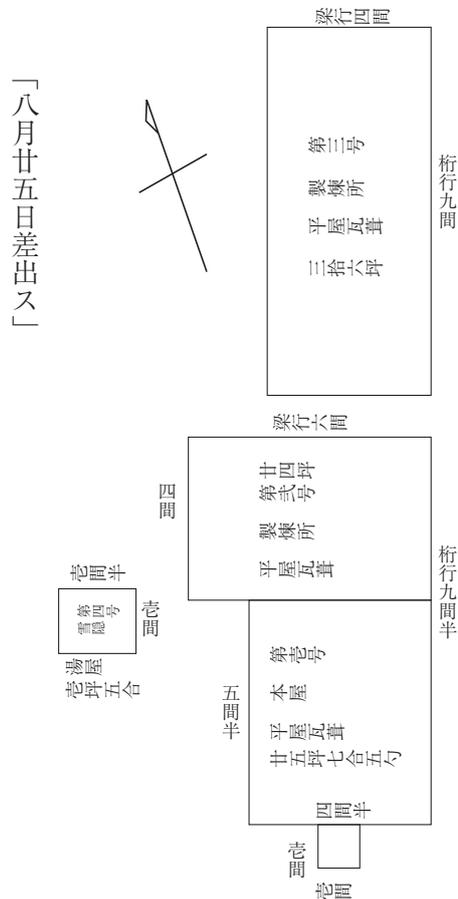
分署宛

戸長宛

178 [浅田市兵衛所有本屋一棟・製煉所二棟・雪隠一棟平面図]
邇摩郡佐摩村二式百式拾五番地

持主浅田市兵衛代

橋本為造印



179 雇用受証

一、拙者義御鉦山所へ雇用相成候ニ付、本社々則并ニ鉦山所附則ヲ確守
シ、決シテ違背不仕候事

一、御使役中ハ私利ヲ謀リ又ハ他事ニ心ヲ委スル等ノ決シテ不仕候事

一、勤務上万一不都合之義有之、其行為ヨリ御損失ヲ醸シ或ハ引負等致

候節ハ資産限り速ニ弁償致、尚不足アレハ受人ニ於テ弁償、決シテ御

損失相掛申間敷候事

一、御鉦山所營業上機密ニ係ル事件ハ勿論、総而所務上ニ属スル事件ト

モ、親子兄弟タリト雖決シテ漏洩不致候事

一、雇役年限ハ明治廿年四月一日迄全廿五年三月卅一日迄満五年間御約

定仕候ニ付、年限中ハ何等ノ事故アルト決シテ退職致間敷候、然レト御鉾山所御改革或ハ自己勤務上不都合有之解雇相成候節ハ決シテ苦情申出間敷候事

島根県石見国邇摩郡佐摩村

銀山町百七拾九番屋敷平民

明治廿年四月一日

小川兵市

右之通り相違無之、万一人之行為ヨリ御損失ヲ醸シ又ハ引負等致シ、本人弁償之義務ヲ果サ、ル節ハ受人之拙者共ニ於テ引受弁償可致候、尚本人身上ノ事件ニ付如何様ノ義出来候トモ拙者共引受聊御迷惑相掛申間敷候、仍而奥書如件

北海道庁札幌南三丁西巷丁目

拾貳番地平民

明治廿年四月一日

保証人 斎藤吾助

島根県石見国邇摩郡佐摩村

百六拾七番地平民

全 小割安三郎

藤田組鉾山所御中

180 雇用請証

一、拙者義御鉾山所へ雇用相成候ニ付、本社々則并ニ鉾山所附則ヲ確守

シ、決シテ違背不仕候事

一、御使役中ハ私利ヲ謀リ又ハ他事ニ心ヲ委スル等決シテ不仕候事

一、勤務上万一不都合之義有之、其行為ヨリ御損失ヲ醸シ或ハ引負等致

候節ハ資産限り速カニ弁償致、尚不足アレハ受人ニ於テ弁償致、決シ

テ御損失相掛申間敷候事

一、御鉾山所營業上機密ニ係ル事件ハ勿論、総テ所務上ニ属スル事件共、親子兄弟タリト雖決シテ漏洩不致候事

一、雇役年限ハ明治廿年四月一日ヨリ全廿七年三月卅一日迄満七年間御約定仕候ニ付、年限中ハ何等ノ事故アルモ決シテ退職致間敷候、然レト御鉾山所ノ御改革或ハ自己勤務上不都合有之解雇相成候節ハ決シテ苦情申出間敷候事

島根県石見国邇摩郡佐摩村

百六拾七番地平民

明治廿年四月一日

小割安三郎

右之通り相違無之、万一人ノ行為ヨリ御損失ヲ醸シ又ハ引負等致、本人弁償之義務ヲ果サ、ル節ハ受人ノ拙者共ニ於テ引受弁償可致候、尚本人身上ノ事件ニ付如何様之義出来候共拙者共引受ケ聊御迷惑相掛申間敷候、仍而奥書如件

島根県石見国邇摩郡佐摩村百五拾貳番地

受人 矢田澤吉

全県同国同郡同村式百拾七番地

受人 和田善三郎

藤田組鉾山所御中

181 雇用受証

一、拙者儀御鉾山所へ雇用相成候ニ付、本社々則并ニ鉾山所附則ヲ確守

シ、決シテ違背不仕候事

一、御使役中ハ私利ヲ謀リ又ハ他事^{マモ}ニ心ヲ委スル等ノ事決シテ不仕

候事

一、勤務上万一不都合之義有之、其行為ヨリ御損失ヲ醸シ或ハ引負等致

候節ハ資産限り速ニ弁償致、尚不足アレハ受人ニ於テ弁償、決シテ御
損失相掛申間敷候事

一、御鉦山所營業上機密ニ係ル事件ハ勿論、総テ所務上ニ属スル事件共、
親子兄弟タリト雖決シテ漏洩不致候事

一、雇役年限ハ明治廿年四月一日ヨリ全廿五年三月卅一日迄五ヶ年間御
約定仕候ニ付、年限中ハ何等之事故アルモ決シテ退職致間敷候、然レ
臣御鉦山所御改革或ハ自己勤務上不都合有之解雇相成候節ハ決シテ苦
情申出間敷候事

島根県石見国邇摩郡佐摩村
第百八十九番地平民

明治廿年四月一日 三宅丈一郎

右之通り相違無之、万一人之行為る御損失ヲ醸シ又ハ引負等致、本人
弁償之義務ヲ果サ、ル節ハ受人之拙者共ニ於テ引受弁償可致候、尚本人
身上之事件ニ付如何様之義出来候共拙者共引受聊カ御迷惑相掛申間敷
候、依而奥書如件

島根県石見国邇摩郡大国村

式百七拾四番舎平民

受人 田中義太郎

岩手県南岩手郡仁王村島根県石

見国邇摩郡佐摩村百八十八番地寄留

平民

全 向井田司郎

藤田組鉦山所御中

182 雇用受証(本文なし)

183 鉦業用火薬買入願

一、火薬式拾貫匁

右者借区許可地内当郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、栃畑谷、出シ辻、
仙ノ山、石銀山及当郡大国村字柑子谷永久通洞各坑内開鑿場へ支用候ニ
付、本県那賀郡浜田新町火薬免許商尾田重兵衛ヨリ買入之上、火薬庫へ
貯蔵其時々支用可致候間免シ手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉
願候也

石見国邇摩郡佐摩村

銀山鉦業人廣田義二郎代理

同国同郡同村百三拾八番地寄留

大原順之助

明治廿年八月 島根県大田警察署

184

印 五厘 印紙

委任状之事

拙者都合ニヨリ大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ
左之権限之事ヲ代理為致候

一、石見国邇摩郡佐摩村銀山鉦業人廣田義二郎借区今回拙者江讓受タル

二付、右二関スル官衙江出頭向取扱并代印之事

一、右同村ニ於而新規借区増借区并ニ試掘願通洞願等ニ関シ、邨民トノ

約束取極メ并ニ官衙江出願向取扱及代印之事

一、右同村ニ於テ坑業上ニ関シ、諸願届伺等官衙江出頭取扱及代印之事
右代理委任状、依而如件

大坂府東区高麗橋

通壺丁目壺番地平民³⁹⁾

藤田組頭取

明治二十年八月

藤田傳三郎(朱書印影)

185 解任御届

義二郎儀都合ニ由リ大原順之助ヲ以部理代人ト相定メ、石見国邇摩郡佐
摩村銀山町借区鈹業ニ関スル件委任罷在候処、本日限り悉皆解任仕候間、
此段連署ヲ以テ御届申上候也

山口県長門国阿武郡萩

古萩町拾三番地平民

委任者廣田義二郎(朱書印影)

島根県石見国邇摩郡

佐摩邨銀山町百三十八番地寄留

受任者大原順之助(朱書印影)

186 借区坑業讓受渡ニ付坑区券面名義書換願⁴⁰⁾

山口県長門国阿武郡萩古萩

町拾三番地平民

讓渡人 廣田義二郎

大坂府東区高麗橋壺丁目

壺番地平民

藤田組頭取
讓受人 藤田傳三郎

借区坑業讓受渡ニ付坑区券面名義書換願

山口県長門国阿武郡萩

古萩町拾三番地平民

讓渡人 廣田義二郎

大坂府東区高麗橋壺丁目

壺番地平民

藤田組頭取

讓受人 藤田傳三郎

借第三六四九号

島根県石見国邇摩郡佐摩村

字銀山町

小字 出シ辻 民有地甲区四百六拾壺坪壺合六⁴¹⁾

昆布山谷 民有地乙区六百八拾坪壺合九⁴²⁾

出シ辻

昆布山谷

枋畑谷 民有地丙区九万六千四百八拾五坪五合五⁴³⁾

仙ノ山

石銀山 合計九万七千六百貳拾七坪

銀銅鈹場 但民有地

右ハ前書借区地ニ於テ坑業罷在候処、今般双方熟議之上、大坂府東区高
麗橋壺丁目壺番地平民藤田組頭取藤田傳三郎江讓渡仕度候ニ付、御許可
之上ハ同人名義ニ御書換御下付相成候様仕度、依テ仮坑区券及ヒ実測図
相添、此段奉願候、以上

明治二十年八月

右借区讓渡人

廣田義二郎

右借区讓受人

藤田傳三郎代人

島根県石見国邇摩郡

佐摩村銀山町百三十八番

地寄留

兵庫県土族

大原順之助

187

通洞讓受渡二付仮券面名義書換願^①

山口県長門国阿武郡

萩古萩町平民

讓渡人 廣田義二郎

大阪府東区高麗橋

壺丁目壺番地平民

藤田組頭取

讓受人 藤田傳三郎

通洞讓受渡二付仮券面名義書換願

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地平民

讓渡人 廣田義二郎

大阪府東区高麗橋

壺丁目壺番地平民

通第五号

島根県石見国邇摩郡佐摩村

字昆布山谷

通洞壺ヶ所

右者嶋根県石見国邇摩郡佐摩村字銀山町銀銅鉞借区、今般熟議之上大阪府東区高麗橋壺丁目壺番地平民藤田組頭取藤田傳三郎江讓渡候二付、前書通洞仮券名前御書換被成下度、別紙仮券面相添双方連署ヲ以テ此段奉願候也

藤田組頭取

讓受人 藤田傳三郎

明治二十年八月

右通洞讓渡人

廣田義二郎

右通洞讓受人

藤田傳三郎代人

嶋根県石見国邇摩郡佐摩村

銀山町百三拾八番地寄留

兵庫県土族

大原順之助

188

旧坑道使用願^②

大阪府東区高麗橋通

壺丁目壺番地平民

藤田組頭取

藤田傳三郎

〔借第三六四九号附属〕

旧坑道使用願

嶋根県石見国邇摩郡大國村字柑子谷永久旧坑道并二全郡佐摩村字大谷龍源寺旧坑道使用之義ハ、本年三月十五日銀山借区鋳業人廣田義二郎へ御許可相成居候処、今回双方熟議之上全郡佐摩村銀山借区并通洞トモ私へ讓受候二付、右旧坑道使用之義更ニ私へ御許可相成候様致度、則チ別紙廣田義二郎へ御許可之書類及図面相添、此段奉願。候也

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地平民

借区鋳業讓渡人

明治二十年

廣田義二郎

大阪府東区高麗橋通

壺丁目壺番地平民

藤田組頭取

借区鋳業讓受人

藤田傳三郎代人

島根県石見国邇摩郡佐摩村

銀山町百三十八番地寄留

兵庫県士族

大原順之助

189 「製煉所増築并分析場建築届に係る図面」

(朱書)

繼足シ建築

邇摩郡佐摩村

元建物

二式百拾番地小割安三郎所有借地

今般解払ノ分

三間

六間

式間

分析場
平屋瓦葺

三間

老間

製煉所
平屋瓦葺

四間

燒釜場

三間

式間

老間

老間

右繼足シ建築致候間此段御届仕候也

佐摩村銀山鋳業人

廣田義二郎代

明治廿年九月

大原順之助

190 御届

採鋳物製煉所手狭二付別紙粗図面之通り製煉所繼足シ并二分析場建築致候間及御届候也

明治廿年九月

佐摩村銀山鋳業人

廣田義二郎代

大原順之助

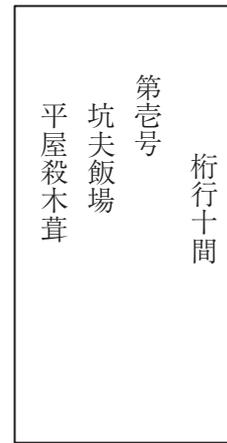
佐摩外四ヶ村戸長

宗岡光寿殿

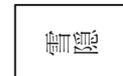
191 「龍源寺坑口見張所他建築届に係る粗図面」

邇摩郡佐摩村ホ百拾壹番北林兼司所有借地

藤田傳三郎



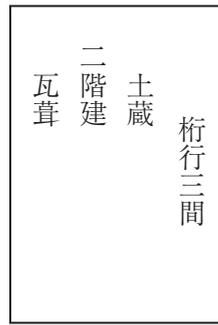
深五間



深四間

邇摩郡佐摩村二式百五拾七番三原親次所有借地

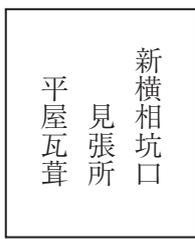
藤田傳三郎



深三間

邇摩郡佐摩村二式百七拾貳番光田ヒ口所有借地

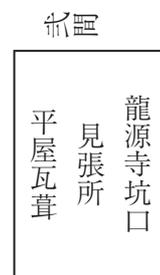
藤田傳三郎



深三間

邇摩郡佐摩村二番八拾三番田中正容所有借地

藤田傳三郎



右新築仕候間御届仕候也

藤田傳三郎代

当時佐摩村百三拾八番地寄留

明治廿年九月

大原順之助

192 御届

龍源寺坑口見張所、新横相坑口見張所并二土蔵、坑夫飯場等別紙粗図面之通り新築致候二付、此段御届致候也

藤田傳三郎代

明治廿年九月

大原順之助

佐摩外四ヶ村戸長

宗岡光寿殿

193 地所讓渡証

石見国邇摩郡佐摩村ホ百六拾三番

字天井道ノ左リ

一、畑七畝拾八歩

地価金貳円三錢

同国同郡同村ホ三百五拾九番

字馬場西ノ横相

一、山凡九反三畝九歩

地価金九拾八錢六厘

右之地処是迄拙者所有之処今般無代価ニテ貴殿へ譲渡候所確實也、然ル上ハ自今自由ニ御差配可被成、尤該地処ニ係ル諸上納ハ向後貴殿ヨリ御上納可被成、且又右地所是迄他ニ差障リ之廉少シモ無之、万一他ノ異儀申者有之候節ハ私共引受取捌き貴殿へハ聊モ御迷惑筋相掛申間敷候、仍而為後日讓渡証差出置候処如件

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民

明治廿年

廣田義二郎代人

当時島根県邇摩郡佐摩村百五拾貳番地寄留

北林兼司

大坂府東区高麗橋

壹丁目壹番地

藤田傳三郎殿

194

印紙

委任状ノ事

拙者儀都合ニヨリ北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定、左ノ権限ノ事

ヲ代理為致候

石見国邇摩郡佐摩村ホ三百五拾九番字馬場西横相山反別九反三畝九歩、全郡同村ホ百六拾三番字天井道ノ左リ畑七畝拾八歩ノ貳ヶ処今回藤田傳

三郎へ讓渡ニ付、登記願及其他右ニ関スル事件調理代印之事
右委任状、依テ如件

山口県長門国阿武郡萩古萩町

拾三番地平民大坂府東区伏

見町三丁目拾四番地寄留

明治廿年九月七日

廣田義二郎印

195

印紙

委任状之事

拙者義都合ニヨリ大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定メ、左ノ権限之事ヲ代理為致候

山口県下長門国阿武郡萩古萩町拾三番地廣田義二郎処有地石見国邇摩郡佐摩村ホ三百五拾九番字馬場西横相山反別九反三七九歩、全郡同村ホ百六拾三番字天井道ノ左リ畑七畝拾八歩ノ貳ヶ処今般讓受ケタルニ付、登記願及其他右ニ関スル事件調理代印ノ事
右委任状、依テ如件

大坂高麗橋壹丁目

壹番地平民

藤田組頭取

藤田傳三郎印

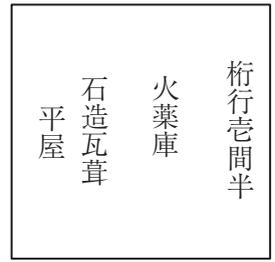
明治廿年九月七日

196

「火薬庫建築届に係る図面」

邇摩郡佐摩村ホ百四拾四番地本村順勝寺所有借地

持主 廣田義二郎



右建築致候間御届仕候也

右建築致候間御届仕候也

明治廿年^{〔八〕}九月

佐摩外四ヶ村戸長

宗岡光寿殿

197 御届

別紙図面之如ク鉷業用火葉庫邇摩郡佐摩村ホ百四拾四番地へ建築致候間、此段御届仕候也

明治廿年^{〔八〕}九月

佐摩外四ヶ村戸長

宗岡光寿殿

廣田義二郎代理

大原順之助

198

委任状之事

拙者都合ニ依リ大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ

山口県長門国阿武郡萩

古萩町拾三番地平民

廣田義二郎代理

大原順之助

以テ左之権限之事ヲ代理為致候

一、石見国邇摩郡佐摩村銀山鉷業人廣田義二郎借区今回拙者江讓受タル

二付、右二関スル官衙へ出頭向取扱并代印之事

一、右同村ニ於テ新規借区増借区并ニ試堀願通洞願等ニ関シ、邨民トノ約束取極メ并官衙江出願向取扱及代印之事

一、右同村ニ於テ坑業上ニ関シ、諸願届伺等官衙へ出頭取扱及代印之事
右代理委任状、依而如件

大坂府東区高麗橋通壱丁目壱番地

平民藤田組頭取

藤田傳三郎

明治廿年八月

前書之通り委任相受候間、此段御届及置候也

邇摩郡佐摩村百三拾八番地寄留

明治廿年九月

大原順之助

島根県大田警察署

大森分署御中

199 解任御届

義二郎義都合ニ由リ大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定メ、石見国邇摩郡佐摩村銀山町鉷業ニ関スル件委任罷在候処、本日限り悉皆解任仕候間、此段連署ヲ以テ御届申候也

山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地平民

委任者 廣田義二郎

島根県石見国邇摩郡佐摩村銀山町百三拾八番地平民

大原順之助

前書之通り届済相成候付、此段御届仕候也

明治廿年九月

島根県大田警察署

大森分署御中

右

大原順之助

200 地券書換願

石見国邇摩郡大田村千五百八拾七番

字イタヤ向上ミ

一、田反別五畝九歩

地価金拾八円貳拾三銭七厘

地租金四拾五銭六厘

同国同郡同村千五百八拾八番

字板屋向

一、田反別七畝三歩

地価金貳拾四円四拾貳銭貳厘

地租金六拾壹銭壹厘

同国同郡同村千五百八拾九番

字家ノ前

一、田反別六畝貳拾七歩

地価金三拾円〇七銭

地租金七拾五銭貳厘

同国同郡同村千五百九拾番

字表田

一、田反別壹反四畝九歩

地価金六拾貳円三拾三銭八厘

地租金壹円五拾五銭八厘

外二荒地反別四畝三歩

同国同郡同村千五百九拾壹番

字表田上ミ

一、田反別三畝九歩

地価金拾三円六拾貳銭五厘

地租金三拾四銭壹厘

同国同郡同村千五百九拾貳番

字板屋下モ

一、田反別八畝三歩

地価金貳拾七円八拾七銭壹厘

地租金六拾九銭七厘

同国同郡同村千六百番

字板屋上ミ

一、田反別貳畝貳拾四歩

地価金九円五拾七銭六厘

地租金貳拾三銭九厘

同国同郡同村千六百貳番

字古暮

一、田反別壹反七畝三歩

地価金五拾円六拾七銭貳厘

地租金壹円貳拾六銭七厘

同国同郡同村千六百五番

字古曙

一、田反別貳拾七歩

地価金三円〇九銭

地租金七錢七厘

同国同郡同村千六百六番

字コクレ

一、田反別三畝拾五歩

地価拾貳円〇三錢

地租金三拾錢壹厘

同国同郡同村千六百拾番

字山口

一、田反別式畝三歩

地価金七円貳拾貳錢

地租金拾八錢壹厘

同国同郡同村千六百壹番

字水井戸

一、宅地反別壹畝六歩

地価金貳円拾九錢

地租金五錢五厘

同国同郡同村千六百七番

字古曙

一、宅地反別壹畝九歩

地価金壹円九拾七錢六厘

地租金四錢九厘

右之地所石見国邇摩郡大国村田中勘二郎所有之處、明治廿年九月九日買受候ニ付別紙地券狀拾三枚御書換被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

大坂府東区高麗橋壹丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

島根県邇摩郡佐摩村百三拾八番地寄留

兵庫県士族

大原順之助

明治廿年九月

邇摩 郡長中村秀年殿

安濃

201 御届

拙者義

社用ニテ本日出発出雲国松江其他へ出張候ニ付、不在中ハ谷川千代松ヲ以テ代理為致候間、此段御届申上候也

廣田義二郎代

大原順之助

廿年九月廿四日

佐摩外四ヶ村

戸長宗岡光寿宛 壹通

大森分署宛 壹通

202 鉱業用火薬買入願
一、火薬貳百貫匁

右ハ借区許可地内当郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、枋畑谷、出シ辻、仙ノ山、石銀山及当郡大国村字柑子谷永久通洞、全郡佐摩村銀山町小字大谷龍源寺通洞各坑内開鑿場へ支用ニ付、大坂府東区伏見町三丁目拾四番地火薬免許商藤田組鹿太郎ヨリ買入之上火薬庫江貯蔵其時々支用可致候間免シ手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡佐摩村

銀山町鉦業人

廣田義二郎代理

大原順之助

明治廿年十月三日

島根県大田警察署御中

*欄外に「組之字消ス」とあり

203 御届

私義社用之為曩ニ出雲国松江其他へ出張、不在中谷川千代松ヲ以テ代理為致居候処昨夕帰山、本日ヨリ執務致候間、此段御届仕候也

廣田義二郎代

大原順之助

明治廿年十月十日

邇摩安濃郡長

大森分署 宛各壺通ツ、差出ス

佐摩外四村戸長

204 鉦業用火薬買入願

一、火薬式拾貫匁

右者借区許可地内当郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、栃畑谷、出シ辻、仙ノ山、石銀山及当郡大國村字柑字谷永久通洞、全郡佐摩村銀山町小字大谷龍源寺通洞各坑内開鑿場へ支用ニ付、本県那賀郡浜田新町火薬免許商尾田重兵衛ヲ買入之上、火薬庫へ貯藏其時々支用可致候間、免シ手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村

銀山鉦業人廣田義二郎代理

同郡同村百三拾八番地寄留

大原順之助

明治廿年十月十四日

島根県大田警察署

大森分署御中

205 寄留移転御届

兵庫県丹波国多紀郡井上村

百四拾三番屋敷土族戸主

大原源右衛門長男

大原順之助

安政六年一月廿五日生

右ハ島根県石見国邇摩郡佐摩村百三拾八番屋敷光田ヒロ方江寄留罷在候処、今般都合ニ扱リ同村百九拾番屋敷高橋豊次郎方江移転寄留仕候間、此段家主連署ヲ以テ御届仕候也

右

大原順之助

明治廿年十月十四日

家主

高橋豊次郎

大森分署宛 壺通

佐摩外四村戸長宛 壺通

206 出寄留御届

兵庫県丹波国多紀郡井上村

菴甘番地士族戸主

大原源右衛門長男

大原順之助

安政六年一月廿五日生

右ハ鉱業用之為メ本日ヨリ島根県石見国邇摩^郡佐摩村百九拾番屋敷へ寄留仕候付、家主連署ヲ以テ此段御届仕候也

右

明治廿年一月廿日

大原順之助

家主

高橋豊次郎

兵庫県丹波国多紀郡

八上村外拾七村戸長

佐久馬清十郎殿

207 「旧坑道使用許可再願」

勸地第七拾壹号ヲ以借区券面并ニ通洞仮券面名義御書替御下付相成、謹テ拝受致候、然ルニ前願書ト共ニ御進達仕候旧坑道使用願ハ御下付不相成候ニ付御許容之御可否御伺申上候間、其向可然ル御執行被成下速ニ御許可相成候様奉追願候也

大坂府東区高麗橋壹丁目壹番地平民

藤田傳三郎代人

明治二十年十月廿一日

嶋根県邇摩郡佐摩村百九拾番地寄留

大原順之助

佐摩村外四ヶ村戸長

宗岡光寿殿

208

委任状之事

拙者儀都合ニヨリ大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名儀ヲ以テ左之権限之事ヲ代理為致候

一、拙者所有地嶋根県石見国邇摩郡佐摩村二貳百廿五番字岩屋堂宅地八畝廿四步壹合今般山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地廣田義二郎江無代佃讓渡候ニ付、佐摩登記所へ登記請求之事

一、右ニ付佐摩登記所へ出頭登記簿ニ押印其他都テ右地所登記ニ関スル一切之事件処弁之事

右代理之委任状、仍而如件

大阪府摂津国西成郡

川崎村五百五拾六番地平民

明治二十年 月 日

浅田市兵衛印

209

委任状之事

拙者義都合ニヨリ大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左之権限之事ヲ代理為致候

一、拙者所有建物嶋根県石見国邇摩郡佐摩村二貳百廿五番地ニアル家屋第壹号ヨリ第四号迄悉皆今般山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地平民廣田義二郎へ無代佃讓渡候ニ付、佐摩登記所江登記請求之事

一、右ニ付佐摩登記所へ出頭登記簿ニ押印其他都テ右建物登記ニ関スル一切之事件処弁之事

右代理之委任状、依テ如件

大阪府摂津国西成郡

明治二十年 月 日

川崎村五百五拾六番地平民

浅田市兵衛印

210

五厘
印紙
印

委任状之事

拙者共義都合ニ依リ大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左之権限之事ヲ代理為致候

一、拙者共共有地嶋根県石見国邇摩郡佐摩村ニ式百廿六番字岩屋堂荒宅地壹畝七步七合、同村ニ式百廿三番字岩屋堂荒宅地貳拾六步三合、同村ニ百八拾五番字龍源寺山宅地貳拾七步壹合、同村ニ式百三拾壹番字栃畑谷荒宅地四畝三步壹合、同村ニ式百八拾三番字出シ辻荒宅地三畝貳拾步三合、同村ニ百三拾貳番字大横相荒宅地壹畝拾三步五合、同村ニ式百六拾九番字昆布山谷荒宅地三畝拾七步六合、同村ニ式百五拾九番字栃畑谷宅地三畝拾七步五合、合計八筆今般山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地廣田義二郎へ無代価讓渡候ニ付、佐摩登記処江登記請求之事

一、右ニ付佐摩登記所へ出頭登記簿ニ押印其他都テ右地所登記ニ関スル一切之事件処弁之事

右代理之委任状、仍テ如件

大阪府撰津国西成郡

川崎村五百五拾六番地平民

浅田市兵衛印

明治二十年 月 日

佐賀県肥前国杵嶋郡

武雄上瀧村当時大阪府北区

若松町八番地奇留

佐賀県士族

久間琢馬「印」

211

五厘
印紙
印

委任状之事

拙者義都合ニヨリ北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左之権限之事ヲ代理為致候

一、大阪府撰津国西成郡川崎村五百五拾六番地平民浅田市兵衛所有地嶋根県石見国邇摩郡佐摩村ニ式百貳拾五番字岩屋堂宅地八畝廿四步壹合今般無代価讓受候ニ付、佐摩登記処へ登記請求之事

一、右ニ付佐摩登記所へ出頭登記簿へ押印シ登記料ヲ上納其他右地所登記ニ関スル一切之事件処弁之事

右代理之委任状、依テ如件

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地平民

当時大阪府東区伏見町三丁目

拾四番地奇留

廣田義二郎「印」

明治二十年 月 日

212

五厘
印紙
印

委任状之事

拙者義都合ニヨリ北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左之権限之事ヲ代理為致候

一、大阪府撰津国西成郡川崎村五百五拾六番地平民浅田市兵衛、当時大

阪府北区若松町八番地奇留^(寄)佐賀県士族久間琢馬ト兩人共有地嶋根県石見国邇摩郡佐摩村二式百貳拾六番字岩屋堂荒地地壹畝七步七合、同村二式百貳拾三番字岩屋堂荒地地貳拾六步三合、同村二百八拾五番字龍源寺山宅地貳拾七步壹合、同村二式百三拾壹番字栃畑谷荒地地四畝三歩壹合、同村二式百八拾三番字出シ辻荒地地二畝廿歩二合、同村二百三拾貳番字大横相荒地地壹畝拾三歩五合、同村二式百六拾九番字昆布山谷荒地地三畝拾七歩六合、同村二式百五十九番字栃畑谷宅地三畝拾七歩五合、合八筆今般無代価讓受候ニ付、佐摩登記所へ登記請求之事

一、右二付佐摩登記所江出頭登記簿へ押印シ登記料ヲ上納其他右地所登記ニ関スル一切之事件処弁之事

右代理ノ委任状、依テ如件

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地平民

当時大阪府東区伏見町

三丁目十四番地奇留^(寄)

廣田義二郎「印」

明治二十年 月 日

213

委任状之事

拙者義都合ニヨリ北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左之権限之事ヲ代理為致候

一、大阪府摂津国西成郡川崎村五百五拾六番地平民浅田市兵衛所有建物、

嶋根県石見国邇摩郡佐摩村二式百廿五番地ニアル家屋第一号ヨリ第四

号迄悉皆今般無代価讓受候ニ付、佐摩登記処へ登記請求之事

一、右二付佐摩登記所へ出頭登記簿江押印シ登記料ヲ上納其他右建物登

五厘
印紙

記ニ関スル一切之事件処弁之事
右代理之委任状、依テ如件

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地平民

当時大阪府東区伏見町

三丁目拾四番地奇留^(寄)

廣田義二郎「印」

明治二十年 月 日

214

委任状之事

拙者義建物讓渡登記請求之事件ニ付北林兼司ヲ以テ部理代人ト定メ、拙者ノ名儀ニテ左之権限ヲ代理為致候事

一、石見国邇摩郡佐摩村ホ百四拾四番地ニ在ル火薬庫壹棟坪数貳坪貳合

五勺、全村二式百拾番地ニ在ル製煉処坪数四拾坪、今回大阪府東区高

麗橋壹丁目壹番地平民藤田組頭取藤田傳三郎へ讓渡タルニ付、佐摩登

記所へ登記ヲ請求スル事

一、登記簿ニ押印シ其他登記ニ付テ必要ナル一切之事件ヲ処弁スル事

右代理之委任状、仍而如件

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地平民

当時大阪府東区伏見町

三丁目拾四番奇留^(寄)

廣田義二郎「印」

明治二十年 月 日

五厘
印紙

215

委任状

拙者儀建物讓受登記請求事件ニ付大原順之助ヲ以テ部理代人ト
定メ、拙者ノ名義ニ而左之権限ヲ代理為致候事

五厘
印紙
印

一、山口県長門国阿武郡古萩町拾三番地平民廣田義二郎ヨリ讓受タル石
見国邇摩郡佐摩村ホ百四拾四番ニアル火薬庫壹棟坪数貳坪貳合五勺、
全村ニ貳百拾番地ニ在ル製^煉。処壹棟坪数四十坪ニ付、佐摩登記処ニ登
記ヲ請求スル事

一、登記簿ニ押印シ登記料ヲ上納シ其他登記ニ付而必要ナル一切之事件
ヲ処弁スル事

右代理之委任状、仍而如件

大阪府東区高麗橋一丁目

壹番地平民

藤田組頭取

藤田傳三郎「印」

明治二十年 月

*欄外に「店割印」の朱書あり

216

委任状

拙者儀地処讓受登記請求事件ニ付大原順之助ヲ以テ部理代人ト
定メ、拙者ノ名義ニテ左之権限ヲ代理為致候事

五厘
印紙
印

一、羽後国北秋田郡真木沢鉾山八拾九番地平民北林兼司ヨリ讓受タル石
見国邇摩郡三久須村九百貳拾四番字貝谷奥山反別壹町貳反六畝歩、全
村七百四拾五番字仙之山畑反別五反九畝^九。歩ニ付、佐摩登記処ニ登記

ヲ請求スル事

一、登記簿ニ押印シ登記料ヲ上納シ其他登記ニ付テ必要ナル一切ノ事件
ヲ処弁スル事

右代理ノ委任状、仍而如件

大阪府東区高麗橋

壹丁目壹番地平民

藤田組頭取

藤田傳三郎「印」

明治二十年 月

*欄外に「店割印」の朱書あり

217

委任状

拙者儀地所讓受登記請求事件ニ付北林兼司ヲ以テ部理代人ト定
メ、拙者ノ名義ニ而左之権限ヲ代理為致候事

五厘
印紙
印

一、紀伊国海部郡湊村千貳百拾番地士族鈴木正吉ヨリ讓受タル石見国邇
摩郡佐摩村ホ三百八拾九番字隱居ノ上山反別四畝歩、全村ホ三百八拾
五番字虎岸寺ノ上山反別壹畝廿四歩、全村ホ三百八拾六番字中曾根山
反別三反歩、全村ホ百五拾八番字神樂山荒地反別壹畝廿七歩、全村ニ
貳百七拾番字昆布山谷荒地反別四畝廿四歩八合ニ付、佐摩登記処ニ
登記ヲ請求スル事

一、登記簿ニ押印シ登記料ヲ上納シ其他登記ニ付テ必要ナル一切之事件
ヲ処弁スル事

右代理之委任状、仍而如件

大阪府東区高麗橋

明治二十年 月

壺丁目壺番地平民
藤田組頭取
藤田傳三郎〔印〕

*欄外に「本店割印」の朱書あり

218 「旧坑道使用許可に係る付属図面下げ渡し願」

昨廿一日付ヲ以テ旧坑道使用願御許可之末御下附奉願上候処、尚左記之
図面壺葉御下渡無之二付其向可然御取計之上御下渡被成下、此段奉願上
候也

一、借第三千六百四拾九号借区願

附属実測図 壺葉

明治廿年十月廿二日

大坂東区高麗橋壺丁目壺番地
藤田組頭取
藤田傳三郎代人
当時邇摩郡佐摩村百九拾番地寄留
大原順之助

佐摩外四村戸長

宗岡光寿殿

219 御届

私義社用之為本日芸州地方江出張仕、不在中社員北林兼司ヲ以テ代理
為致候間、此段御届仕候也

明治廿年十月廿七日

邇摩郡佐摩村銀山鉷業人
藤田傳三郎代理
大原順之助

郡長
分署 宛各壺通ツ、
戸長

220 鉷業用火薬買入願

一、ダイナマイト式百磅

一、雷管式千四百管

右ハ借区許可地内邇摩郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、枋畑谷、出シ辻、
仙ノ山、石銀山及当郡大田村字柑子谷永久通洞、全郡全郡佐摩村銀山
町小字大谷龍源寺通洞各坑内開鑿場へ支用ニ付、大坂府東区伏見町三丁
目十四番地火薬免許商藤田鹿太郎ヨリ買入之上火薬庫へ貯蔵其時々支用
可致候間免シ手形御下渡被下度、戸長與印ヲ以テ此段奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村銀山鉷業人
藤田傳三郎代理
同郡同村百九十番地寄留
大原順之助代人
同村式百番ノ一寄留
北林兼司

明治廿年十月廿七日
島根県大田警察署

大森分署御中

(221から222まで抹消線あり)

221 「火薬運搬許可証還納届」

鉱業用火薬之義本月十四日願出、免シ手形御下附相成候二付、那賀郡浜田新町火薬免許商尾田重兵衛ノ買入運搬済二付、別紙運搬許可証御還納仕候也

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

同村百九十番地寄留

大原順之助代

同村式百番地ノ一寄留

北林兼司

明治廿年十月

島根県大田警察署御中

*欄外に「書換ニ付取消」とあり

222 「火薬運搬許可証還納届」

鉱業用火薬買入之義 月三日願出、免シ手形御下附相成候二付、大坂府東区伏見町三丁目十四番地火薬免許商藤田鹿太郎ヨリ買入運搬済二付、別紙運搬許可証御還納仕候也

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

同村百九十番地寄留

大原順之助代

同村式百番地ノ一寄留

明治廿年
島根県大田警察署御中

北林兼司

223 「火薬運搬許可証還納届」

鉱業用火薬買入之義客月三日願出、免シ手形御下附相成候二付、大坂府東区伏見町三丁目拾四番地火薬免許商藤田鹿太郎ノ買入運搬済二付、別紙運搬許可証御還納仕候也

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

同村百九十番地寄留

大原順之助

明治廿年十一月

島根県大田警察署御中

224 「火薬運搬許可証還納届」

鉱業用火薬買入之義客月十四日願出、免手形御下附相成候二付、本県那賀郡新町火薬免許商尾田重兵衛ノ買入運搬済二付、別紙運搬許可証御還納仕候也

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

同村百九十番地寄留

大原順之助

明治廿年十一月
島根県大田警察署御中

225 御届

私儀社用之為メ去般芸州地方江出張仕、不在中社員北林兼司ヲ以テ代理為致居候処、昨日帰山本日ヨリ事務取扱仕候就テ右代理解任致候、此段御届仕候也

邇摩郡佐摩村銀山鉷業人

藤田傳三郎代理

明治廿年十一月二日

大原順之助

郡長

分署 宛

戸長

226 買銃二付願

明治二十年第百七拾五号

大阪府

明治二十年第百七拾六号

一、式番形ヒストル銃 式挺

但彈藥百發附屬 火藥量四拾式匁

右ハ身体財産ニ係ル保護盜難予防ノ為所持致度ニ付、大阪府西区京町堀東五丁目銃砲火藥類売買免許商粟谷品三ヨリ買入之義、大阪府知事へ願出、明治二十年十月六日許可濟之上買入持帰リ候処、都合ニ依リ邇摩郡佐摩村百九拾番地寄留大原順之助へ讓渡候間、御許可御捨印被成下度、双方連署戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村五百八拾一番地

明治二十年十一月四日

讓渡人 三宅珠吉

同国同郡同村百九拾番地寄留

讓受人 大原順之助

島根県大田警察署御中

227 委任状

私義都合ニ依リ藤田組社員当時邇摩郡佐摩村式百番屋敷ノ宅寄留北林兼司ヲ以テ部理代人ト定メ、私之名義ヲ以テ左ノ権限ノ事ヲ代理為致候
一、石見国邇摩郡佐摩村銀山鉷業用ダイナマイト式百磅、雷管式千四百發ヲ要シ候ニ付テハ、買入免手形大田警察署へ願出之件及代印之事
右代理之委任状、依而如件

明治二十年十月三十一日

邇摩郡佐摩村

百九拾番地寄留士族

大原順之助

228 鉷業用火藥買入願

一、火藥式百貫目

一、タイナマイト和量三拾貫目

一、雷管三千發

右ハ借区許可地内邇摩郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、枋畑谷、出シ辻谷、仙ノ山、石銀山及当郡大國村字柑子谷永久通洞、全郡佐摩村銀山町小字大谷龍源寺通洞各坑内開鑿場へ支用ニ付、大阪府東区高麗橋壱丁目火藥免許商榎南勇太郎ヨリ買入之上火藥庫へ貯藏其時々支用可致候間免シ手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村銀山

鉷業人

藤田傳三郎代印

同国同郡同村百九拾番地寄留

大原順之助

明治二十年十一月十二日
島根県大田警察署御中

229 「回答」

笹田助次郎へ対シ御談シ有之趣ニテ御喚起ニ相成、脚夫同道出頭可致様取計之旨、号外ヲ以テ御照会相成候ニ付取調候処、同人ハ只今他坑へ入鋪中ニ付、脚夫同道出頭致兼候へ者、早速出頭可致様申附候間、此段御回答申上候也

明治廿年十一月十六日

藤田組大森鉷山所

佐摩外四村戸長役場

租税係御中

230 「開申」

明治廿年十二月五日附乙一第八九四号ヲ以テ銀銅単位估価可調之義御下命ニ付先般開申仕候へ者、違算有之候ニ付再応篤卜精算仕候処、左別記之通り有之候間、前差出置候分卜御引換被成下度、此段開申仕候也

藤田傳三郎代

大原順之助

明治廿年十二月七日

邇摩安濃郡役所

第一課御中

一キログラム之估価

一、純銀 三拾九円九十銭

但壹匁ニ付拾五匁ノ割合錢

一、純銅（絞リ銅）式十六銭六厘

但和量百斤ニ付拾六円ノ割合

一、銀含銅鉷

含銀三分九厘九毛
含銅拾貳匁九分六厘

七銭三厘六毛

但起業ノ目的ニ達シテ採掘シタル銀山固有ノ鉷石ニ非ラス、唯目下開坑堀進ノ中路ニ発頭セシ者ノ平均ナリ

231 副申

先般願濟之上火薬類買入運搬濟ニ付、別紙運搬許可証三葉御還納仕候也

明治廿年十二月九日

邇摩郡佐摩村銀山鉷業人

藤田傳三郎代

大原順之助

島根県大田警察署

御中

232 官地（符）御払下願

石見国邇摩郡佐摩村二百三拾壹番

字大横相

一、荒地式畝九歩四厘

同村ニ式百七拾四番

字昆布山谷

一、荒地壹畝拾五歩三厘

同村ニ式百八拾八番

字休谷

一、荒地拾八歩

右之地所開墾之見込有之候ニ付、特別之御詮議相当之代価ヲ以テ御払下

被成下度、図面相添此段戸長奥印ヲ以テ奉願仕候也

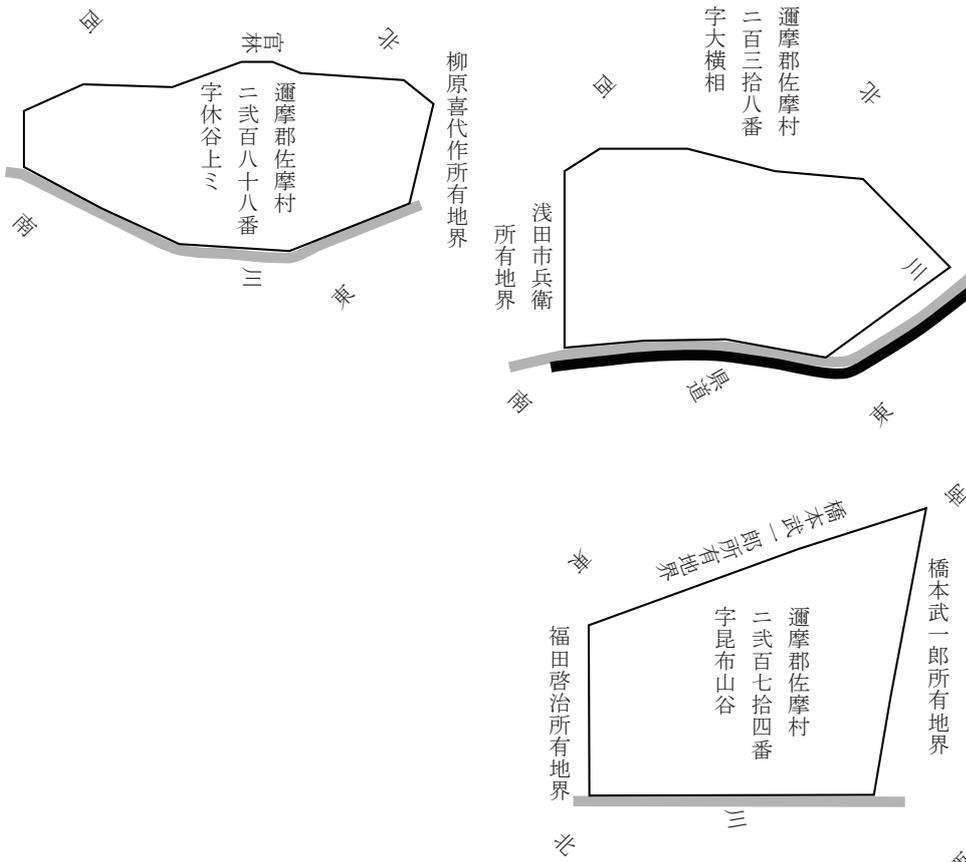
大坂府東区高麗橋壹丁目壹番地

藤田組頭取

藤田傳三郎代理

大原順之助

明治廿年十一月十二日
島根県知事籠手田安定殿



233 「開申」

官地邇摩郡佐摩村二百三拾壹番、二式百七拾四番、二式百八十八番、合三筆払下之義先般願出置候付曩二其筋ヨリ御検査相成、該地二係ル縁故者ノ有無、土地ノ原由、何之為ニ所用スルヤ之三点御尋之赴左ニ

一、右之内二式百七拾四番ハ原ト虎岸寺ト云ヘル小坊アリシカ、元来此寺所得檀家等ノ無キ為維持ニ耐ヘ難ク、明治五六年ノ頃遂ニ破壊シ其後用タル所ナシ

一、二式百八十八番ハ往昔幕府直稼ノ時製鉞所ノ遺跡ナリ

一、二百三拾壹番ハ官林地ニ接続スル荒地ニシテ別ニ原由ナシ

一、縁故ノ者ナシ

一、該地ハ共ニ鉞山用ノ見込

右開申仕候也

藤田傳三郎代

大原順之助

明治廿年十二月十三日

佐摩外四村戸長役場

租税係御中

234 鉞業用火薬買入願

一、火薬式百貫目

右ハ借区許可地内邇摩郡佐摩村銀山小字昆布山谷、枋畑谷、出シ辻、仙ノ山、石銀山及同郡大國村字柑子谷永久通洞、全郡佐摩村銀山町小字大谷龍源寺通洞各坑内開鑿場ヘ支用ニ付、大坂府東区伏見町三丁目十四番地火薬免許商藤田鹿太郎ヨリ買入之上火薬庫ヘ貯藏其時々支用可致候間免シ手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡佐摩村銀山鉞業人

明治廿年十二月十六日
島根県大田警察署御中

藤田傳三郎代理
大原順之助

235 「副申」

当鉱山景況并盛衰之原由報告可致旨、一乙第一九四三号ヲ以テ御照会相成候処、目下創業ニシテ日浅ク格段ノ美事ナク官報材料ニ足ラス候へ者、唯有状ノ梗概ノミ報告仕候、此段副申候也

明治廿年十二月十八日

藤田傳三郎代理
大原順之助

邇摩安濃郡役所

第一課御中

236 現況報告書

当鉱山ハ目下専ラ開坑及旧坑取明ニ従事又側ラ採鉱ヲナス

現今主要タル計画ハ、銀山ヲ距ル廿余町大國村字柑子谷ニ於テ銀山全区ノ疏水及運搬用ノ本坑道タル永久坑ノ改修ニシテ、又旧坑取明ケ箇所ハ銀山町龍源寺坑、新横相坑、村上坑、新盛坑等トス、而シテ坑道ニハ木道或ハ鉄軌ヲ布設シ、豎坑ニハ人力捲揚機ヲ据付、以テ鉱物土石ノ運搬ヲ便ニシ、漸次巨多ノ採鉱場ヲ検出セント努力スル所ナリ、尚ホ字休谷新切坑及本谷ノ諸坑ハ来春ヲ期シ開浚セントス
十一月中使役ノ坑夫手子等ノ員数約四百余名ナリ
右報告仕候也

明治廿年十二月十八日

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人
藤田傳三郎代理
大原順之助

邇摩郡役所
安の

第一課御中

237 「上申」

当鉱山之景況并盛衰之原由翌月十日限り報告可致旨、客年一乙第一九四号ヲ以テ御照会相成居候処、客年十二月十八日報告後未タ時日幾何モ経過セス、尚目下月々報告可致程ノ異事無之候間、爾後当分之内三ヶ月毎ニ報告候様致度、追々盛況ニ赴クニ随ヒ毎月報告可仕候、此段上申仕候也

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

大原順之助

明治廿一年一月九日

邇摩郡役所第一課御中
安の

238 副申

客月十六日願済之上鉱業用火薬買入運搬済ニ付、別紙運搬許可証御還納仕候也

明治廿一年一月十三日

邇摩郡佐摩村銀山鉱業人

藤田傳三郎代理

島根県大田警察署御中

大原順之助

239 御届

邇摩郡佐摩村銀山ニ於テ借区鉷業罷在候ニ付テハ同村ニ式百十六番地ニ事務所ヲ設置シ、藤田組大森鉷山所ト名称仕候間、此段為念及御届置候也

邇摩郡佐摩村銀山鉷業人

藤田傳三郎代理

明治廿一年一月十四日

大原順之助

島根県大田警察署大森分署御中

邇摩 郡長中村秀年殿

安の

佐摩外四村戸長宗岡光寿殿

240 鉷業用火薬類買入願

一、火薬式百貫目

一、ダイナマイト和量三十貫目

一、雷管式千五百管

右ハ借区許可地内邇摩郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、枋畑谷、出シ辻谷、仙ノ山、石銀山及当郡大田村字柑子谷永久通洞、全郡佐摩村銀山町小字大谷龍源寺通洞各坑内開鑿場へ支用ニ付、大坂府東区高麗橋壱丁目火薬免許商榷南勇太郎ヨリ買入之上火薬庫へ貯蔵其時々支用可致候間免手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ奉願候也

邇摩郡佐摩村銀山鉷業人

明治廿一年一月十六日
島根県大田警察署御中

藤田傳三郎代理
同郡同村百九十番地寄留
大原順之助

241 副申

明治廿一年度之借区納税切符本日御下附相成候処、出雲国神門郡鶴峠鉷山借区之分モ加算有之候ニ付、全ク誤謬ニテ然ル者ニハ無之哉ト愚考致、一応返納仕候間、御取調ノ上再応御下附相成度、此段副申仕候也

石見国邇摩郡^{佐摩村}銀山鉷業人

藤田傳三郎代理

明治廿一年一月廿四日

大原順之助

邇摩

郡長中村秀年殿

安濃

242 「回答」

当鉷山坑中ヨリ従来一種之類似瑪瑙石様之鉷物出ツル由、過般之山陰新聞中ニ掲載之ニ付、一乙第一六〇号ヲ以テ御照会相成候処、該品似寄ノ者更ニ無之、全ク誤聞ニ出テシ者ナランカト存、目下同社へ問合中ニ付、近日何分之義可申出候、此段不取敢及御回答候也

大森鉷山所

明治廿一年二月二日

大原順之助

邇摩安濃郡役所

第一課御中

243 御届

先般官有地私下之義出願御許可済ニ付、該代金本日上納致候間、此段御届仕候也

明治廿一年二月六日

藤田傳三郎代理

大原順之助

佐摩外四村戸長

宗岡光寿殿

244



委任状之事

拙者儀都合ニヨリ北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、左之権限之事ヲ代理為致候

一、島根県石見国邇摩郡佐摩村ホ三百五拾九番字馬場西横相山反別九反三畝九歩、全郡全村ホ百六拾三番字天井道之左リ畑七畝拾八歩ノ式ケ所、今回大阪府東区今橋式丁目壹番地藤田組頭取藤田傳三郎へ譲渡ニ付登記願ニ代印之事

一、右ニ付所有之証明書江代印之事

右代理之委任状、仍テ如件

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地平民

当時大阪府東区伏見町三丁目

拾四番地寄留

廣田義二郎「印」

明治廿一年

245



委任状之事

拙者義建物讓渡登記請求事件ニ付北林兼司ヲ以テ部理代人ト定メ、拙者之名義ニテ左之権限ヲ代理為致候

鳥根県石見国邇摩郡佐摩村ホ百四拾四番地ニ在ル火薬庫壹棟坪数貳坪貳合五勺、全郡ニ貳百拾番地ニ在ル製煉所坪数四拾坪今回大阪府東区今橋式丁目壹番地藤田組頭取藤田傳三郎江讓渡タルニ付、佐摩登記所江登記請求代印之事

一、登記簿ニ押印シ、其他処弁スル事

右代理之委任状、仍テ如件

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地平民

当時大阪府東区伏見町

三丁目拾四番地寄留

廣田義二郎「印」

明治廿一年

246



委任状之事

拙者義都合ニヨリ北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左之権限之事ヲ代理為致候

一、大阪府摂津国西成郡川崎村五百五拾六番地平民浅田市兵衛所有建物、鳥根県石見国邇摩郡佐摩村ニ貳百貳拾五番地ニ在ル家屋第壹号ヨリ第四号迄悉皆今般無代価讓受候ニ付、佐摩登記所へ登記請求之事
一、右ニ付佐摩登記所へ出頭登記簿江押印シ登記料ヲ上納スル事
一、登記済証下付願ニ代印之事

右代理之委任状、仍テ如件

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地平民

当時大阪府東区伏見町

三丁目拾四番地寄留

明治廿一年

廣田義二郎〔印〕

247

委任状之事

五厘
印紙

拙者義都合ニ依リ北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左之権限之事ヲ代理為致候

一、大阪府摂津国西成郡川崎村五百五拾六番地平民浅田市兵衛所有地、
島根県石見国邇摩郡佐摩村ニ式百式拾五番字岩屋堂宅地八畝廿四步壹
合今般無代価讓受候ニ付、佐摩登記所へ登記請求之事

一、右ニ付佐摩登記所へ出頭、登記簿へ押印シ登記料ヲ上納スル事
一、登記済証之下付願ニ代印之事

右代理之委任状、依テ如件

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地平民

当時大阪府東区伏見町

三丁目拾四番地寄留

明治廿一年

廣田義二郎〔印〕

248

委任状之事

五厘
印紙

拙者義都合ニ依リ北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ヲ以テ左之権限之事ヲ代理為致候

一、大阪府摂津国西成郡川崎村五百五拾六番地平民浅田市兵衛、当時大阪府北区若松町八番地寄留佐賀県土族久間琢馬ト兩人共有地、嶋根県石見国邇摩郡ニ式百式拾六番字岩屋堂荒宅地壹畝七步七合、全村ニ式百式拾三番字岩屋堂荒宅地式拾六步二合、全村二百八拾五番字龍源寺山^{宅地}廿七步壹合、全村ニ式百三拾壹番字枋畑谷荒宅地四畝三歩壹合、全村ニ式百八拾三番字出シ辻荒宅地三畝式拾步三合、全村二百三拾式番字大横相荒宅地壹畝拾三歩五合、全村ニ式百六拾九番字昆布山谷荒宅地三畝拾七步六合、全村ニ式百五拾九番字枋畑谷宅地三畝拾七歩五合、合セ八筆今般無代価讓受候ニ付、佐摩登記所へ登記請求之事
一、右ニ付佐摩登記所へ出頭登記簿へ押印シ登記料ヲ上納スル事
一、登記済証之下付願ニ代印之事

右代理委^(之)任状、依而如件

山口県長門国阿武郡

萩古萩町拾三番地平民

当時大阪府東区伏見町

三丁目拾四番地寄留

明治廿一年

廣田義二郎〔印〕

249



委任状之事

拙者儀都合ニヨリ大原順之助ヲ以テ部理代人ト相定メ、左之権限之事ヲ代理為致候

- 一、山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地廣田義二郎所有地石見国邇摩郡佐摩村ホ三百五拾九番字馬場西横相山反別九反三畝九歩、全郡全村ホ百六拾三番字天井道ノ左リ畑七畝拾八歩ノ式ヶ処今般讓受タルニ付、登記願ニ代印之事

一、右ニ付登記簿江押印シ登記料ヲ上納及登記済証下付願ニ代印之事
右代理之委任状、依テ如件

大阪府東区今橋式丁目

壱番地藤田組頭取

藤田傳三郎「印」

明治廿一年

250



委任状之事

拙者儀建物讓受登記請求事件ニ付大原順之助ヲ以テ部理代人ト定メ、拙者之名義ニテ左之権限ヲ代理為致候

- 一、山口県長門国阿武郡萩古萩町拾三番地平民廣田義二郎ヨリ讓受タル石見国邇摩郡佐摩村ホ百四拾四番ニアル火薬庫壱棟坪数式坪式合五勺、全郡ニ式百拾番地ニアル製煉所壱棟坪数四拾坪ニ付、佐摩登記所ニ登記ヲ請求スル事

一、登記簿ニ押印シ登記料ヲ上納スル事

一、登記済証下付願ニ代印之事

右代理之委任状、仍テ如件

明治廿一年

大阪府東区今橋式丁目

壱番地藤田組頭取

藤田傳三郎「印」

251



委任状之事

拙者義地所讓受登記請求事件ニ付北林兼司ヲ以テ部理代人ト定メ、拙者之名義ニテ左ノ権限ヲ代理為致候

- 一、和歌山県紀伊国海部郡湊村千式百拾番地土族鈴木正吉ヨリ讓受タル石見国邇摩郡佐摩村ホ三百八拾九番字隱居ノ上山反別四畝歩、全村ホ三百八拾五番字虎岸寺ノ上山反別壱畝廿四歩、全村ホ三百八拾六番字中曾根山反別三反歩、全村ホ百五拾八番字神樂山荒地反別壱畝廿七歩、全村式百七拾番字昆布山谷荒地反別四畝廿四歩八合ニ付、佐摩登記所ニ登記ヲ請求スル事

一、右ニ付登記簿ニ押印シ登記料ヲ上納スル事

一、登記済証下付願ニ代印之事

右代理之委任状、仍テ如件

大阪府東区今橋式丁目

壱番地藤田組頭取

藤田傳三郎「印」

明治廿一年

252



委任状之事

拙者義地処讓受登記請求事件ニ付北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ニテ左之権限之事ヲ代理為致候

一、福岡県筑前國中島町六拾貳番地平民橋本小市所有地石見国邇摩郡佐摩邨二貳百貳拾七番字岩屋堂荒宅地廿三步七厘今般讓受候ニ付、佐摩登記処江登記請求之事

一、右ニ付佐摩登記所へ出頭登記簿へ押印シ登記料ヲ上納スル事
一、登記済証下付願ニ代印之事
右代理之委任状、仍而如件

大阪府東区今橋式丁目

壺番地藤田組頭取

藤田傳三郎「印」

明治廿一年二月

253



委任状之事

拙者義地処讓受登記請求事件ニ付北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者ノ名義ニテ左ノ権限之事ヲ代理為致候

一、島根県石見国邇摩郡佐摩村 橋本武一郎所有全国全郡全村
二、貳百六拾五番字昆布山谷荒地壹畝廿六步九厘、全村二貳百六拾八番字昆布山谷荒地三畝步貳厘、全村二貳百七拾壹番字昆布山谷荒地三畝三步貳厘、全村二貳百七拾五番字昆布山谷荒地壹畝廿九步四厘、全村ホ三百九拾壹番字宝萊山ノ上山反別六畝步、全村ホ三百八拾貳番字邨上ノ前山反別式畝拾貳步今般讓受候ニ付、佐摩登記所へ登記請求之事
一、右ニ付佐摩登記所へ出頭登記簿へ押印シ登記料ヲ上納スル事
一、登記済証下付願ニ代印之事
右代理之委任状、依テ如件

大阪東区今橋式丁目

壺番地藤田組頭取

明治廿一年二月

藤田傳三郎「印」

254



委任状之事

拙者義地所讓受登記請求事件ニ付北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ニテ左ノ権限之事ヲ代理為致候

一、島根県出雲国意宇郡中矢村字井ノ奥 宮次觀一郎所有之石見国邇摩郡佐摩村二百貳拾番字休ミ谷宅地三畝七步五厘今般讓受候ニ付、佐摩登記所へ登記請求之事
一、右ニ付佐摩登記所へ出頭登記簿へ押印シ登記料ヲ上納スル事
一、登記済証下付願ニ代印之事
右代理之委任状、依而如件

大阪府東区今橋式丁目

壺番地藤田組頭取

藤田傳三郎「印」

明治廿一年二月

255



委任状之事

拙者義地所讓受登記請求事件ニ付北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ニテ左ノ権限之事ヲ代理為致候

一、嶋根県石見国邇摩郡佐摩村 所有全国全郡全村二
貳百七拾三番字昆布山谷宅地壹畝廿九步壹厘、全村二貳百七拾六番字昆布山谷荒地壹畝廿八步六厘今般讓受候ニ付、佐摩登記所へ登記請求之事



257

委任状之事

拙者義地処讓受登記請求事件ニ付北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ニ而左之権限之事ヲ代理為致候

明治廿一年二月

大阪東区今橋式丁目
壹番地藤田組頭取

藤田傳三郎「印」



256

委任状之事

拙者義地所讓受登記請求事件ニ付北林兼司ヲ以テ部理代人ト相定メ、拙者之名義ニ而左之権限之事ヲ代理為致候

一、嶋根県石見国邇摩郡大田村
田中義太郎所有之全国全郡佐摩村字万教院山反別廿四歩今般讓受候ニ付、佐摩登記所へ登記請求之事
一、右ニ付佐摩登記所江出頭登記簿へ押印シ登記料ヲ上納スル事
一、登記済証下付願ニ代印之事
右代理之委任状、依而如件

明治廿一年二月

明治廿一年二月

大阪東区今橋式丁目
壹番地藤田組頭取

藤田傳三郎「印」

一、右ニ付佐摩登記所へ出頭登記簿へ押印シ登記料ヲ上納スル事
一、登記済証下付願ニ代印之事
右代理之委任状、依而如件

258

寄留御届

岩手県陸中国南岩手郡仁王村
四拾六番地司郎妻

カチ

右者私当村百八十八番屋敷へ寄留致居候処、今般前記之者罷越更ニ当村百六拾五番屋敷三宅丈一郎宅へ寄留換致候間、此段家主連署組長奥印ヲ以テ併セテ御届仕候也

明治廿一年一月

家主

向井田司郎
三宅丈一郎

佐摩外四村戸長宗岡光寿殿
盛岡仁王村外五村戸長藤脇吉愛殿

各壹通宛ツ、

259 [回答]

奈良博覧会開設ニ付当山産出之鉾石出品云々之儀御照会相成候処、至急出品可致ニ付不取敢御回答申進候也

明治廿一年二月十七日

佐摩村銀山

大原順之助

佐摩村外四村戸長役場

庶務係御中

260 代理人御届

邇摩郡大国村式百三十番屋敷平民

田中正容

右者私義御部内大国村ニ於テ土地処有仕候ニ付、該地ニ係ル納税ハ前記之人名ヲ以テ代理為致候ニ付、連署ヲ以テ此段御届仕候也

明治廿一年二月

大坂府東区今橋式丁目壹番地

藤田傳三郎代理

邇摩郡佐摩村百九拾番地寄留

兵庫県土族

大原順之助

邇摩郡大国村

代り人 田中正容

仁万外四村戸長

安井好尚殿

261 地券下附願

石見国邇摩郡佐摩村ホ三百六十六番

字昆布山谷元長福寺跡地

一、宅地四畝拾式歩

地価壹円五拾四銭四厘

地租金三銭九厘

右之地処官有地ニ有之候処、払下之義出願明治廿年六月廿六日御許可ニ相成廿年七月四日代金上納済斗付賦税御検査願出候処、今團簡届相成候間、地券状壹枚御下附被成下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

石見国邇摩郡佐摩村

小割安三郎印

邇摩郡長中村秀年殿
安濃

262 鋳業用火薬類買入願

一、ダイナマイト和量三十貫目

一、雷管千発

右者借区許可地内邇摩郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、栃畑谷、出シ辻、石銀山、仙之山及当郡大国村字柑子谷永久通洞、全郡佐摩村銀山町小字大谷龍源寺通洞各坑内開鑿場へ支用ニ付、大坂府下東区高麗橋壹丁目火薬類売買売捌免許商榷南勇太郎ヨリ買入之上火薬庫へ貯蔵其時々支用可致候間免手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡佐摩村銀山鋳業人

藤田傳三郎代理

同村百九十番屋敷寄留

明治廿一年二月十八日
鳥根県大田警察署御中

大原順之助

263 御払下地御引渡ニ付請書

瀬摩郡佐摩村二百三拾壹番
字大横相

一、荒地貳畝九歩四厘

同郡同村二貳百八十八番

字休ミ谷上ミ

一、荒地七畝四歩

同郡同村二貳百七十四番

字昆布山谷

一、荒地壹畝十五歩三厘

右八官有地第三種ニ有之候処、今般御払下御指令ニ依リ代金上納済ニ付、

該地御引渡相成正ニ領収致候、且又隣地境界等ニ於テ故障筋無之候、依

テ隣地主連署此段御受書差上候也

大坂府下藤田傳三郎代理

佐摩村百九十番屋敷寄留

明治廿一年二月廿四日

大原順之助「〇」

同村百五十六番屋敷平民

隣地主 橋本武一郎「〇」

同村貳百十九番屋敷平民

同 柳原喜代作「〇」

佐摩外四村戸長

宗岡光寿殿

264 委任状之事

拙者都合ニ依リ親戚鳥根県石見国瀬摩郡佐摩村百五十九番屋敷須田浅
市ヲ部理代人卜定メ、拙者之名義ヲ以テ左之権限之事ヲ代理為致候

一、拙者所有地石見国瀬摩郡佐摩村二貳百貳十七番字岩屋堂市街荒地宅地

貳十三歩七厘今般大坂東区今橋式丁目壹番地藤田傳三郎へ無代価讓渡

候ニ付、讓渡証書ニ代理調印及佐摩登記所へ登記請求之事并地所証明

願へ代印之事

一、右ニ付佐摩登記所へ出頭、登記簿工押印シ其他登記ニ関スル一切之

事件処弁之事

右代理之委任状、依而如件

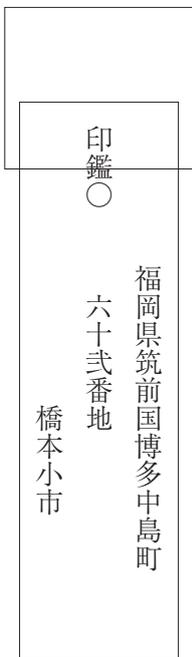
明治廿一年二月

福岡県筑前国博多中島町

六十式番屋敷

橋本小市

265 印鑑証明願



右印鑑御証明被成下度奉願候也

福岡県筑前国博多中島町

六十式番地平民

橋本小市

福岡区長

山中立木殿

右印鑑相違無之候也

明治廿一年二月十八日

福岡区長山中立木

*区役所角印及区长角印の枠線を朱書で示す

266 御届

大国村千五百八拾九番、千五百九拾貳番、千五百九拾番、千五百九拾壹番、千五百八拾八番、千六百番、千五百八拾七番、千六百貳番、千六百壹番、千六百七番、千六百五番、千六百六番、千六百十番ノ内今般鋤業之為地目変換致、尚此先追々悉皆変換可致見込有之候へ者、目下工事中ニシテ確定セサルヲ以テ追テ落成ノ上一時二届出之手続相進可申心算ニ有之候間、此段為念予め御届置候也

大坂東区今橋式丁目

藤田傳三郎代理

邇摩郡佐摩村百九十番屋敷寄留

兵庫県土族

大原順之助

明治廿一年二月廿五日

仁万外四村戸長

安井好尚殿

267 御払下地賦税御検査願

石見国邇摩郡佐摩村二百三十壹番

字大横相

大坂東区今橋式丁目

元荒地反別式畝九步四厘

地主 藤田傳三郎

一、荒地宅地成反別三畝九步八厘

内壹畝四厘 丈量増

此地価金壹円三拾九錢七厘

地租金三錢五厘

類地比較
二百三十七番
反金四円貳十錢

十一ヶ月分地租金三錢貳厘

是八当明治廿一年一月中御払二付本年十一ヶ月分

来ル明治廿二年々全額納税ノ分

同国同郡同村二式百七拾四番
字昆布山谷

元荒地反別壹畝拾五步三厘

一、荒地宅地成反別式畝步六厘

内拾五步三厘 丈量増

此地価金七拾八錢八厘

地租金貳錢

類地比較
貳百五十八番
反金三円九十八錢

十一ヶ月分地租金壹錢八厘

是八当明治廿一年一月中御払二付本年八十一ヶ月分

来ル明治廿二年々全額納税ノ分

同国同郡同村二式百八拾八番

字休谷上ミ

元荒地反別七畝肆步

一、荒地宅地成反別九畝拾貳步八厘

内式畝九步八厘 丈量増

此地佃金三円九十五銭九厘

地租金九銭九厘

類地比較
二百三十七番
反金四円貳十銭

〔^(貼紙)十一ヶ月分地租金九銭壹厘

是八当明治廿一年一月御払二付本年八十一ヶ月分

来ル廿二年の金額納税ノ分

右八村内官有地明治廿一年一月廿八日大坂府下東区今橋式丁目藤田傳三郎へ御払下相成候二付、近傍類地之比較ヲ以テ地佃取調候処、書面之通りニテ彼我權衡上不平準無御座候間、実地御検査之上賦税御聞届被下度、実測図相添、此段奉願候也

大坂東区今橋式丁目

藤田傳三郎代理

石見国邇摩郡佐摩村百九拾壹番地

兵庫県土族

大原順之助

明治廿一年二月

嶋根県知事籠手田安定殿

別紙実測図帳ハ

(268から「藤田組大森鉦山所」の野紙)

268

副申

鉦業用火薬、ダイナマイト、雷管等買入之義明治廿一年一月十七日御許可之上、火薬類売買免許商大坂府下榎南勇太郎ヨリ買入運搬済二付、別紙運搬許可証式葉御還納仕候也

明治廿一年二月廿七日

邇摩郡佐摩村銀山鉦業人

島根県大田警察署御中

藤田傳三郎代理
佐摩村百九十番地寄留
大原順之助

269 鉦業用火薬類買入願

一、火薬式百貫目

一、ダイナマイト和量三拾貫目

一、雷管式千五百発

右八借区許可地内邇摩郡佐摩村字銀山町小字昆布山谷、枳畑谷、出シ辻谷、仙ノ山、石銀山、当郡大田村字柑子谷永久通洞、全郡佐摩村銀山町小字大谷龍源寺通洞等各坑内開鑿場ニ^(他)支用之為、大坂府東区高麗橋壹丁目榎南勇太郎方ヨリ買入之上拙者^(他)有之火薬庫へ貯藏其時々^(他)支用可致候間免手形御下渡被下度、戸長奥印ヲ以テ此段奉願候也

邇摩郡佐摩村銀山鉦業人

藤田傳三郎代理

全郡佐摩村百九十番屋敷寄留

兵庫県土族

大原順之助

明治廿一年三月一日

島根県大田警察署御中

270 [添状]

去ル一月廿四日及二月十六日付号外ヲ以テ御照会相成候鉾石式塊、乍延引差出候間可然ル御取計相成様致度、此段申進候也

明治廿一年二月廿九日

藤田組鉾山所

大原順之助

佐摩村外四ヶ村役場

庶務課御中

271 目録

一、石見国邇摩郡佐摩村大森鉾山

金銀合銅鉾石

但非売品

右之通り差出候間、可然ル御取計相成度候也

明治廿一年三月

石見国邇摩郡

藤田組大森鉾山所

奈良大仏博覧会御中

272 [添状]

昨五日号外ヲ以奈良大仏博覧会出品目録差上可ク様御照会ニ付、別紙式葉差出候間可然ル御取計相成様致度、此段申進候也

明治廿一年三月六日

藤田組大森鉾山所

佐摩外四村戸長役場

庶務課御中

大原順之助

273 [自用乗馬使用届]

号		第 年 志 廿 治 明	
御 届	地 業 營	額 税	御 届 明 治 年 月 日 検
	税金	税金	
御 届	準 標 税 課	目 種 税 納	明 治 年 月 日 検
		鹿毛色 自用乗馬一頭	
右来ル 四月 一日ヨリ 使用 仕候間此段御届申上候也 明治廿一年 二月廿八日 邇摩郡 佐摩村 百九拾番屋敷寄留 大原順之助代理 上野席次郎(朱印) 邇摩安濃郡長 中村秀年 殿			
前書之通相違無御座候也 郡 村戸長			
明 治 年 月 日			

*印刷文字はゴチック体、手書文字は明朝体で表記

274 [自用乗馬使用届]

明治廿一年 三月廿一日		右来ル 四月 一日ヨリ 仕候間此段御届申上候也 明治廿一年 二月廿日 瀬摩郡 佐摩村 百九拾番屋敷寄留 瀬摩安濃郡長 中村秀節殿 大原順之助代理 上野席次郎 [印]		御届	明治廿一年 二月廿七日檢 [印]
地業營	額税	標準税課	目種税納	税金式円 [印]	鹿毛色 自用乗馬一頭
前書之通相違無御座候也		瀬摩郡 佐摩外四 村戸長 宗岡光寿			

*印刷文字はゴチック体、手書文字は明朝体で表記
 *欄外右上に朱書で「本書ハ廿二年二月廿八日付廃乗馬届ニ添付返付」とあり
 *郡役所印と戸長角印枠線は朱書

275 御届

社用ニ付本日出発上阪仕候ニ付、不在中社員谷川千代松ヲ以テ代理為致候間、此段御届申上候也

私儀

藤田傳三郎代理

明治廿一年三月九日

佐摩外四ヶ村戸長宛

大森分署宛

瀬摩安濃郡長宛

大原順之助

276 [開申]

当山産出之鉾石這回福島県物産陳列場へ出品致候義ニ付、其鉾石動用代価取調之義御照会相成候処、当山ニ於テハ鉾石之俣ニテ売買不仕候間、此段開申仕候也

明治廿一年三月九日

大原順之助代理

谷川千代松

瀬摩安濃郡役所

第一課御中

注

史料中、必要箇所に番号を付し若干の注を以下に列記した。なお、No付き数字は個々の文書番号を示す。また典拠した文献のうち以下のものは略記した。

「大森鉱山史 七十年社史編纂資料」一九五三年・・・「社史資料」

『創業百年史 同和鉱業株式会社』一九八五年・・・『創業百年史』

「借区許可其他書類写」(上野家文書11-4)・・・「許可書類写」

「石見銀山譲受約定証并関係契約書類」(同11-3)・・・「約定并契約書類」

(1)【合名会社藤田組】藤田組は、明治二十六(一八九三)年十二月十一日に、それまでの組合組織を改め、合名会社藤田組を設立した。資本金総額は六〇万円、出資者は藤田傳三郎と実兄の藤田鹿太郎・久原庄三郎の三人で、傳三郎が社長に、鹿太郎、庄三郎は取締役の役職に就いた。(『創業百年史』)

(2)【借区】「日本坑法」(明治六年七月二十日太政官布告第二五九号公布、同年九月一日施行)は民営鉱山に関する体系的な法律として制定された。同法では鉱物資源の専有権を政府が総て掌握することとし、民間開発者は十五年の期限付きで鉱区の借用によって操業が認められている。(同法 第三章借区開坑、石村善助『鉱業権の研究』一九六〇年)

(3)【小川兵市・田中義太郎】明治十九(一八八六)年九月九日、小川兵市・田中義太郎は借区三七七二坪と製錬施設・諸道具一切を六〇〇〇〇円で藤田組廣田義二郎に譲渡する契約を締結した。(『約定并契約書類』)

(4)【廣田義二郎】藤田組本店職員(『社史資料』)。

(5)【大原順之助】工学士。丹波篠山藩士大原源右衛門の長男として安政六(一八五九)年に生まれる(No.206)。工部大学校に入学し明治十七(一八八四)年に鉱山科を首席で卒業(大蔵省『工部省沿革報告』一八八九年)。同年、工部省に入省し鉱山課七等技手となる(『改正官員録』明治十七年七月)。同十九年に藤田組に入社。同年十二月から大森鉱山開発の責任者である鉱山技長、同二十年十二月から大森鉱山所長、同二十一年十二月から大森鉱山出張所主務、同二十六年七月から二十九年三月まで大森鉱山事務所長を務める(『社史資料』、『創業百年史』)。同二十九年藤田組本社勤務となる。同年十一月没(葉賀七三男『工学士 大原順之助』『鉱山』第三八卷第一号 一九八五年)。

(6)【佐摩村外四村戸長】邇摩郡内の佐摩村、荻原村、三久須村、白坏村、福原村の所轄戸長役場は佐摩村に置かれていた。(明治十七年八月一日付島根県甲第九〇号布達)『新修島根県史』史料編五 一九六六年)

(7)【宗岡光壽】佐一郎。銀山附地役人宗岡儀一郎光政の長男として弘化四(一八四七)年に生まれる。明治初め頃から浜田県(のち島根県)に出仕(『浜田県職員録』明治七年五月十日改『新修島根県史』史料編四 一九六六年)。島根県を一時退職後佐摩外四村戸長となる(『職員録』明治十九年(乙)十二月三十一日)。大正五(一九一六)年没。宗岡家は戦国期より毛利家に仕えて石見銀山支配に携わっていた。近世には初代宗岡弥右衛門が石見銀山奉行大久保長安の下で銀山役人に召し抱えられ、同じく戦国期から石見銀山支配に携わった吉岡隼人とともに徳川家康から胴服と受領名を拝領している。その後も代々銀山附地役人

を歴任するなど由緒ある家であった。

(8)【**邇摩・安濃郡**】明治二十二(一八八九)年の町村合併以前には、邇摩郡は三十七村、安濃郡は二十三村で構成され、両郡を管轄する郡役所は佐摩村の旧大森代官所に置かれた。明治十九年には郡長のほか書記六名が置かれていた(『職員録(乙)』明治十九年十二月三十一日)。

(9)【**中村秀年**】天保十(一八三九)年生まれ。元松江藩士(『烈士録』)。松江県庁(『明治辛未県職員名簿』『新修島根県史』史料編四一九六六年)、島根県庁を経て、明治十七(一八八四)年に邑智郡長(『島根県職員録』明治十七年八月二十日改)、同十九年に邇摩・安濃郡長(『職員録(乙)』明治十九年十二月三十一日)となり同二十二年に飯石郡長として転出。明治四十五年没(中村元『東方の英知』一九七九年)。

(10)【**借区坑業譲受并増借区御願**】明治二十(一八八七)年二月七日付島根県知事籠手田安定名で農商務次官吉田清成あて進達。同次官名で許可され、同年三月十五日付借第三六四九号で廣田義二郎名義の仮坑区券が新たに発券された。券面の裏には既存の二ヶ所の借区(明治十年八月十五日付借第四四〇号及び同十六年四月二日付借第二八七四号)について面積の更正と廣田への譲渡に伴い両者が統合されたことが記されている。(『許可書類写』)

(11)【**田中義太郎**】弘化二(一八四五)年、邇摩郡大國村生まれ。安政六(一八五九)年に大森代官所に出仕する。明治初期には石見銀山の経営に携わる。明治三十五(一九〇二)年島根県会議員となり、同三十七年まで同議長を務める。昭和四(一九二九)年没。(山陰中央新報社『島

根県歴史人物事典』一九九七年)

(12)【**籠手田安定**】天保十一(一八三〇)年、長崎県生まれ。元平戸藩士。滋賀県令、元老院議官を経て明治十八(一八八五)年島根県令、同十九年初代島根県知事となる。同二十四年新潟県知事として転出。島根県令・知事時代に産業振興に力を入れたほか、松江城天守の保存、松江中学校の英語教師としてラフカディオ・ハーンの招聘などの実績がある。明治三十二年没。(鉅鹿敏子『県令 籠手田安定』一九七六年、山陰中央新報社『島根県大百科事典』一九八二年)

(13)【**通洞**】「日本坑法」第一二(第四章通洞)に「坑道ハ縦横ニ小坑ヲ穿チ通常トス別ニ探鉱疎水運輸等ノ為メ地底ヲ横截シ一道ノ大坑ヲ穿ツアリ之ヲ通洞ト云」とあり、一般の坑道と異なる疎水・運搬などに用いる大規模な坑道を通洞とした。

(14)【**通洞仮券名前御書換願**】明治二十(一八八七)年二月七日付島根県知事名で農商務次官吉田清成あて進達。同年三月十五日付で同次官名で許可された。これにより工部卿佐々木高行の名前で発券されていた明治十八年十二月十六日付通第五号通洞仮券の小川兵市・田中義太郎の名前が抹消され、廣田義二郎の名義に変更された。(『許可書類写』)

(15)【**旧坑道使用願**】明治二十(一八八七)年二月七日付島根県知事名で進達され、同年三月十五日付農商務次官名により許可された。(『許可書類写』)

(16)【**安井好尚**】弘化四(一八四七)年生まれ。安井家は近世中期以降、代々

邇摩郡大國村庄屋を務めた家系。明治三（一八七〇）年には浜田県生産御用達、同五年大國村戸長、同七年邇摩・安濃郡養蚕世話役、大國部六ヶ村戸長などに任命されている。地域の農業・紡績業・牧畜業などの発展に尽力し、同二十年には私立大國英和学校を開設した。大正十一（一九二二）年没。（『仁摩町誌』一九七二年）

(17) 【熊谷信常】三左衛門。大森町にある商家熊谷家の十四代当主。生年不詳、明治三十七（一九〇四）年没。熊谷家は近世には金融業・酒造業等を家業として、代官所の御用達・掛屋・郷宿を務め、町役人を歴任した有力な商家。明治期には郵便局も開設していた。（大田市『重要文化財熊谷家住宅主屋ほか五棟保存修理工事報告書』二〇〇五年）

(18) 【川北徹蔵】文政十一（一八二八）年生まれ。明治六（一八七三）年に家督を相続（岡田順吉『岡田家と川北家の伝承』一九九六年）。明治七（一八九六）年には邇摩郡第三大区小一区の戸長、同十四（一八八〇）年には市原村戸長として名前が見える（高橋家文書など）。明治十九年十二月没。川北家は近世には酒造業・金融業等を家業とし、大森町役人を歴任、十八世紀後半には郷宿を務めるなど大森の有力町人であった。

(19) 【堀家】祖は鎌倉時代に能登（石川県）から下向した吉見氏の家臣と言われる。十八世紀後半には笹ヶ谷銅山の銅山師として銅山年寄役などを務める。また、津和野藩や浜田藩への多額の御用金融資など金融業も盛んに行っていた。近代には多くの鉱山を経営し、大正九（一九二〇）年には堀鉱業株式会社を設立している。（『津和野町史』一九七六年、津和野町教育委員会『旧堀氏庭園調査報告書』二〇〇五年）

(20) 【堀伴成】十四代藤十郎。天保三（一八三二）年生まれ。山口県の安部四郎右衛門嫡子。明治五（一八七二）年に家督相続するも、多病のため同八年に隠居。その後も道路改修や海防費、日清戦役の軍需品費、小学校建築費等多額の献納・寄付を行った。明治四十一年九月没。（澄川正爾『畑迫堀家略史』『津和野郷土誌』一九八八年）

(21) 【真木沢鉱山】現秋田県北秋田市に所在した阿仁鉱山の内の一ヶ所。阿仁鉱山は真木沢・三枚・一の又・小沢・二の又・萱草の各鉱山（六ヶ山）の総称。宝永三（一七〇六）年開坑、主要産出鉱物は銅（『日本鉱業史料集第六期明治篇上』一九八四年）。明治初頭には官営鉱山として稼業したが、明治十八（一八八五）年古河市兵衛へ払い下げられた（のちに古河鉱業）。昭和五十三（一九七八）年閉山。

(22) 【登記願】「登記法」（明治十九年八月十三日公布法律第一号 同二十年二月一日施行）第一条「地所建物船舶ノ売買譲与質入書入ノ登記ヲ請ハントスル者ハ本法ニ従ヒ地所建物ハ其所在地船舶ハ其定繋場ノ登記所ニ登記ヲ請フ可シ」

(23) 【佐摩登記所】「大森区裁判所沿革略誌」によれば、明治十九（一八八六）年司法省令甲第四号により邇摩・安濃郡役所内に置かれたとある。（大森町文化財保存会『石見銀山』一九七四年）

(24) 【谷川千代松】明治十六（一八八三）年（十七年の名簿に工部省阿仁鉱山局、同小坂鉱山局の八等技手として名前が見える。（『改正官員録』明治十六年十一月、十二月、同十七年一月、同年七月等）

(25)【堀礼造】十五代藤十郎。嘉永六年(一八五三)生まれ。明治八(一八七五)

年に家督相続後、家業である鉱山業では笹ヶ谷銅山の他、県内各地の鉱山(銅ヶ丸、久喜、都茂、宝満山等)、県外では多田(兵庫県)、長登(山口県)など数十ヶ所を営し「中国の銅山王」と呼ばれる。また、明治二十五年には畑迫村・木部村及び鉱山労働者のため畑迫病院を設立、大正三(一九一四)年には石見水力電気株式会社を設立して日原に発電所を建設するなど、地域の発展にも尽力した。大正十三年没。(「畑迫堀家略史」、『島根県歴史人物事典』)

(26)【中條政恒】米沢藩士の長男として天保十二(一八四一)年に生まれる。

福島県大書記官、太政官権大書記官を経て明治十九(一八八六)年島根県大書記官となる。同二十四年病気のため免官。同三十三年没。(『中條政恒先生略傳』復刻版一九九二年)

(27)【埋納錢貨】多量の錢貨とともに一字一石経を一括埋納した経塚であり、昆布山谷における信仰関連遺跡の存在が十五世紀代にさかのぼることが指摘されている(目次謙一「石見銀山遺跡昆布山谷地区の出土錢貨について」『石見銀山遺跡調査ノート』六二〇〇七年)。No.67で更に詳細な古錢等の調書が作成され、No.83で発見品が藤田組に下げ渡されている。なお、現品の所在は不明。

(28)【火薬庫】明治二十(一八八七)年五月四日に建設許可を受け、同年七月二十六日に完成検査願(No.161)が出されている。その後、関係法令の改正を受け土堤の一部省略許可願や貯蔵量の変更許可願が出されている。大正六(一九一七)年には他五棟の火薬庫とともに合名会社藤田組から藤田鉱業株式会社に所有名義が変更された(上野家文書13、

11「火薬庫其他建設書類綴」)。この火薬庫は藤田組が大森鉱山で最初に建設した火薬庫で、近世萩峠口番所跡に近い西向きの丘陵斜面に立地し、現在は建物の基礎の石垣と土塁が残されている。

(29)【火薬庫建設方法書】火薬庫の仕様については、「火薬取締規則」(明治十七年太政官布告三一〇号 同十九年改正)第一八条に「土蔵又ハ煉瓦造ニシテ家根ハ軽量ノ不燃質物ヲ用ヒ内部ニハ鉄釘石瓦ヲ露ハサス窓ニハ透明ノ硝子ヲ用フ可ラス又避雷針ヲ設ケ庫外ノ周囲ニ二間以上ヲ隔テ、高サ六尺以上ノ土堤ヲ築キ」と規定されている。

(30)【ダイナマイト】火薬による採鉱は、安政三(一八五六)年薩摩藩島津家による山ヶ野、谷山の両鉱山での使用が始まりとされ、明治に入ると各地の鉱山で行われた。明治十二(一八七八)年には、それまでの黒色火薬よりも威力のあるダイナマイトが英国から初めて輸入され、翌年箱根の鉄道開鑿工事に使用された。鉱石の採鉱には同十五年に別子鉱山、翌年に足尾鉱山で使用された。日本におけるダイナマイトの製造は明治三十八年からで、翌年陸軍岩鼻火薬製造所(群馬県高崎市)から鉱業用ダイナマイトの払い下げが開始された。(鉱山懇話会編『日本鉱業発達史』上巻(一)一九三二年)

(31)【火薬類の貯蔵】「火薬取締規則」では、火薬類の貯蔵量は段階的に規制されており、火薬は一〇貫目、ダイナマイトは一貫目を超える場合は火薬庫に貯蔵すること、それ以下の量でも許可を受けて倉庫に貯蔵することが義務づけられていた(第一三三條)。No.74に記された火薬の量は倉庫での貯蔵限度を超えているため、願書を取り下げNo.73が改めて作成されたものと考えられる。

(32)【堀家との和議】借区をめぐる藤田組と堀家の争いは農商務省技師杵^{すきど}次郎と島根県の仲介によって和解に至り、明治二十(一八八七)年四月二十八日付で和議の契約が締結された。これによれば①堀家は石見銀山の開発から完全に手を引く②堀家側が既に取得していた土地は全て藤田組に譲渡する③同家が三久須村民と締結した契約はすべて解除するとし、その代償として藤田組は堀家に対し二五〇〇円を支払い、他の鉱山での堀家の鉱業活動を妨げないことが取り決められた。(「約定并契約書類」)

(33)【宗岡光養】宗岡光壽の養父。明治四十四(一九一一)年没。

(34)【大森銀山開業式】佐毘売山神社境内を会場に明治二十(一八八七)年七月十六日に開催された。県からは籠手田知事、中條書記官、藤岡農商課長が出席。地元から中村郡長ほか大田警察署長、同大森分署長、安井・宗岡両戸長ほか郡役所職員、関係地元民、地元小学校教員・生徒ほか総勢百名余りが出席して行われた。式典は午前九時から十一時まで行われ、参加した生徒らに銀山再興と染められた手拭いが配布された。また、近隣の村々から美麗な花車が佐毘売山神社に奉納された。午後からは鉱業施設の見学や相撲の興業も行われた。この開業式には周辺の村から大勢の見物人が押し寄せ大変賑わったと新聞で報じられた。(『山陰新聞』明治二十年七月二十一日 第八六五号)

(35)【藤岡直蔵】安政四(一八五七)年鳥取県生まれ。島根県に出仕し、鳥取支庁詰(『島根県職員録』明治十年八月十五日改)後、明治十二(一八七九)年から島根県勸業課に勤務(『島根県職員録』明治十二年

五月改)。その後農商課長心得を経て同課長となる(『職員録(乙)』明治二十一年三月三十一日)。同二十三年には中村秀年の後任として邇摩・安濃郡長となる(『職員録(乙)』明治二十三年)。のちに鳥取県議会議員を経て第五代鳥取市長となる。大正九(一九二〇)年没(『鳥取県大百科事典』一九八四年)。

(36)【鶴峠鉱山】島根県出雲市大社町鶴^{うづ}峠に所在した銅鉱山。幕末、松江藩による開発の先鞭がつけられ、明治三(一八七〇)年から民間による本格的な採掘がおこなわれる。藤田組は明治二十年七月に借区を譲り受け鶴峠鉱山出張所を置いて操業した(『創業百年史』)。

(37)【登記法第四拾条】登記法第四〇条には「登記ノ登記簿ニ未タ登記セサル地所建物船舶ニ付キ登記ヲ請フ者ハ地所建物ハ其所在地船舶ハ其定繫場ノ戸長ノ證書ヲ以テ其所有者タルコト及其物件ニ付故障ナキコトヲ示ス可シ」とあり、No.35も同条文に基づく証明願である。

(38)【藤田鹿太郎】藤田傳三郎の次兄。明治二十(一八八七)年当時は藤田組取締。明治二十九年没。(『創業百年史』)

(39)【高麗橋壺丁目番地】明治七(一八七四)年頃から藤田傳三郎の本邸があり(佐藤英達『藤田組の発展 その虚実』二〇〇八年)、明治十一年七月〜同二十年八月まで店を置く。その後同所は藤田組の土木関係業務を継承した日本土木会社の大阪支店となる(『創業百年史』)。なお、藤田傳三郎は明治二十一年七月二十日付で今橋二丁目一番地に転籍している(『要書録』明治二十一年八月二十九日付転籍御届)。

- (40)【借区坑業譲受渡ニ付坑区券面名義書換願】明治二十(一八八七)年九月九日付で提出。同年九月十四日付島根県知事名で農商務大臣土方久元あてに進達され、同年十月五日付で同大臣黒田清隆によって許可された。これにより、前出注(10)の仮坑区券に記されていた廣田義二郎の名前が抹消され、藤田傳三郎の名義に変更された。(「許可書類写」)
- (41)【通洞譲受渡ニ付仮券面名義書換願】明治二十(一八八七)年九月九日付で提出。同年九月十四日付島根県知事名で農商務大臣土方久元あてに進達され、同年十月五日付で同大臣黒田清隆によって許可された。これにより、通第五号の通洞仮券は前出注(14)の書き換えを経て藤田傳三郎の名義に変更された。(「許可書類写」)
- (42)【旧坑道使用願】明治二十(一八八七)年九月九日付で提出。同年九月十九日付島根県知事名で農商務大臣土方久元あてに進達され、同年十月六日付で同大臣黒田清隆によって許可された。(「許可書類写」)
- (43)【大森鉦山所】社史資料等によると事業所名が大森鉦山所となるのは明治二十(一八八七)年十二月とあるが(「社史資料」、『創業百年史』、No.229)には十一月時点で既に大森鉦山所とある。
- (44)【大森鉦山の類似瑪瑙石】『山陰新聞』明治二十一(一八八八)年一月二十八日第九四七号に掲載された「大森鉦山の類似瑪瑙石」の記事を指す。
- (45)【今橋式丁目壱番地】藤田組は明治二十(一八八七)年九月に本店を高麗橋一丁目から今橋二丁目に移転した。(『創業百年史』)

上野家(下博多屋)所蔵文書(群11)

番号	表題	年代	西暦	作成者	形状	備考
1	継用帳簿及書類書留簿	自明治44年11月 至大正12年8月	1911~1923		縦帳	(貼紙)「保存年限五ヶ年 廃棄年度大正十八年度」→ 「現用」
2	失効契約書	自明治21年4月 至昭和3年12月	1888~1928		縦帳	借地証、賃貸契約書類の綴り
3	石見銀山譲受約定証并関係契約書類	明治19年9月ヨリ 同20年5月マテ	1886~1887	藤田組大森 鉦山所	縦帳	(貼紙朱書)「第二号」
4	借区許可其他書類写	自明治19年10月 至同42年8月	1886~1967		縦帳	(貼紙)「保存年限五ヶ年 廃棄年度大正十八年度」
5	大森鉦山関係重要書類 大森鉦山煙害賠償約定書・大森鉦山山林立木買受約定書類	明治26年 ~大正5年	1893~1916	鉦業課	縦帳	(貼紙)「本店ヨリ貸り受ケ セシ分 本店へ返納スベキ 帳簿 明治廿六年九月」 (表紙付紙)「大森関係煙 害・山林」(中表紙貼紙 朱書)「当用保存」
6	官用例規綴	自明治38年11月 至昭和2年6月	1905~1927		縦帳	(貼紙)「保存年限五ヶ年 廃棄年度大正十八年度」
7	帳簿及書類引渡目録控綴	自明治44年4月 至大正12年8月	1912~1923	会計	縦帳	(貼紙)「保存年限拾ヶ年 廃棄年度昭和九年度」
8	引継目録	大正2年2月 ~同11年9月	1913~1922	庶務	縦帳	(貼紙)「保存年限拾ヶ年 廃棄年度大正廿三年度」
9	雑記			上野	縦帳	
10-1	(上野虎次郎より各所へ 公用諸書類留)	自昭和3年3月18日 至全年9月28日	1928		縦帳	10-1~7までひもで一括
10-2	(上野虎次郎より各所へ 公用諸書類留)	昭和3年9月28日ヨリ 全4年5月27日マテ	1928~1929		縦帳	
10-3	(上野虎次郎より各所へ 公用諸書類留)	自昭和4年6月1日 至全5年12月24日	1929~1930		縦帳	
10-4	(上野虎次郎より各所へ 公用諸書類留)	自昭和6年1月26日 至全8年7月23日	1931~1933		縦帳	
10-5	(上野虎次郎より各所へ 公用諸書類留)	自昭和8年8月21日 至全10年9月24日	1933~1935		縦帳	
10-6	(上野虎次郎より各所へ 公用諸書類留)	自昭和10年11月23日 至全11年12月21日	1935~1936		縦帳	
10-7	(上野虎次郎より各所へ 公用諸書類留)	自昭和11年12月22日 至全12年10月14日	1936~1937		縦帳	
11	鉦況調査綴	自大正5年度 至大正9年度上半期	1916~1920		仮綴	(貼紙)「保存年限拾ヶ年 廃棄年度大正廿五年度 五ヶ年延期」 仮綴帳面同 封「大森鉦山閉鎖費勘定帳」 (大正12年4月・同5月)

12	鉱業収支内訳表・鉱業損益決算表控綴	自大正6年度下半期至同9年度下半期	1917～1920	藤田鉱業株式会社 大森鉱山事務所	仮綴	(貼紙)「保存年限五ヶ年 廃棄年度大正十五年度」
13	貸借対照表／運転資金・未払金・未売生産品・半製鉱物・貯藏品・製作勘定・仮出金各内訳表／生産作業決算表控綴	自大正6年度下半期至同9年度上半期	1917～1920	藤田鉱業株式会社 大森鉱山事務所	仮綴	(貼紙)「保存年限五ヶ年 廃棄年度大正十五年度」

上野家(下博多屋)所蔵文書(群12)

番号	表題	年代	西暦	作成者	形状	備考
1	事務所諸観則及通達綴	自明治35年11月至大正12年8月	1902～1923		縦帳	保存年限拾カ年廃棄年度昭和8年度→永年
2	鉱山監督局往復書類綴	自大正15年9月至昭和	1926～	大森鉱山福石鉱探鉱詰所	縦帳	
3	富田鉱山分官公署往復書類	自明治35年2月至大正9年10月	1902～1920		縦帳	永年保存
4	工作物ニ関スル届書綴	明治38年12月～昭和3年9月	1905～1928	大森鉱山事務所庶務	縦帳	永年保存
5	貸山関係書類綴	自大正13年3月至昭和2年3月	1924～1927		縦帳	
6	工場ヨリ大田市街ニ通スル道路河川変更工事書類綴 附大田村約定書其他書類共	明治36年2月ヨリ 全41年8月迄	1903～1908	合名会社藤田組大森鉱山事務所	縦帳	永年保存
7	鉱務署往復書類綴	自大正12年10月	1923～		縦帳	
8	事務所設定・鉱山監督署 関係・土地使用・係員任 免届書控綴	自明治38年7月至大正15年12月	1905～1926		縦帳	永年保存
9	失効契約書	自明治40年2月至	1907～		縦帳	
10	他鉱山内雑書類入					封書等21点
11	鉱山鉱務署関係規則書類	大正5年10月	1916		縦帳	
12	藤田組所有地関係書類一式					

上野家(下博多屋)所蔵文書(群13)

番号	表題	年代	西暦	作成者	形状	備考
1	皇太子殿下御使御差遣ニ 係ル書類	明治40年5月	1907		縦帳	
2	備忘録			上野	縦帳	
3	富田鉱山ニ関スル要書類	明治28年5月より	1895		縦帳	

4	要書録	明治19年9月より 明治22年1月	1886～1889		縦帳	(貼紙)「永年保存」、(朱印) 「合名会社藤田組大森鉦山 事務所」
5	諸官省願伺届書綴	明治25年4月より 明治26年9月	1892～1893	庶務係	縦帳	(貼紙)「永年保存」、(朱印) 「合名会社藤田組大森鉦山 事務所」
6	要書録	明治22年1月より 明治24年12月	1889～1891	大森鉦山藤 田組出張所	縦帳	(貼紙)「永年保存」
7	土地内訳簿	明治28年4月以降	1895	合名会社藤 田組大森鉦 山会計	縦帳	「帳第八号、三冊之内、 反別、地価、地租別」と朱 書、「鉦業財産へ組入済、(組 入未済：朱書)」墨書あり
8	大森鉦山鉦業権ニ関スル 贈与書類綴込				縦帳	
9	坑内実測図綴	明治38年8月より 昭和元年12月	1905～1926		縦帳	(貼紙)「保存年限五カ年、 廃棄年度大正十八年度」
10	官公署其他往復書類綴	大正12年度(8月20 日)	1923		縦帳	
11	火薬庫其他建設書類綴	明治20年4月より 大正6年10月	1887～1917		縦帳	(貼紙)「永年保存」、(朱印) 「合名会社藤田組大森鉦山 事務所」
12	土地分割変換届控綴	大正14年6月より	1925～		縦帳	
13	土地異動ニ係ル願届書類	明治20年6月より	1887～		縦帳	「第百貳拾六号」朱書あり、 年月日訂正あり

島根県教育委員会所蔵関係図面目録

番号	表題	作成者	寸法 (cm)	所蔵 番号	備考
1	島根県石見国邇摩郡佐摩 村字大谷、柗畑谷、大国 村字柑子谷通洞願地(坑 道)式箇所実測図	願人廣田義二郎外8名	タテ37.7×ヨコ80.0	3	明治19年10月7日付の旧坑 道使用願の付属図面
2	島根県石見国邇摩郡佐摩 村銀山町銀銅鉦借区外旧 坑道使用願地実測図 字清水谷蔵ノ丞坑、字休 ミ谷新切坑、字御崎谷蔵 本坑	願人藤田傳三郎外9名	タテ37.8×ヨコ79.5	4	明治21年4月28日付旧坑道 使用願の付属図面
3	島根県石見国邇摩郡佐摩 村銀山町銀銅鉦借区願地 実測図	願人藤田傳三郎外9名	タテ109.3×ヨコ52.3	5	明治21年4月28日付借区坑 業増借区願の付属図面

石見銀山近代史料集 第一集

編集

島根県教育委員会（松江市殿町一番地）

発行

島根県教育委員会

大田市教育委員会（大田市大田町大田口二二一番地）

島根県教育庁文化財課世界遺産室

☎〇八五二一二一五六四二

URL <http://www.pref.shimane.lg.jp/sekaisan/>

発行日

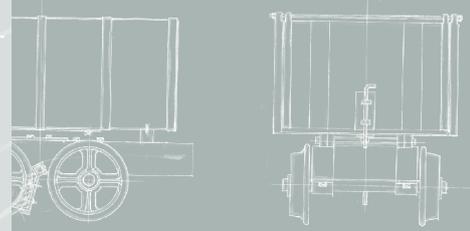
平成二十八（二〇一六）年 三月十六日

印刷

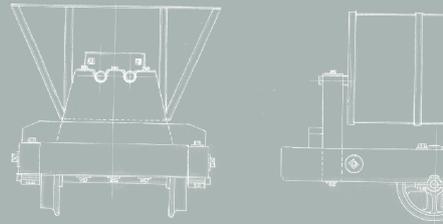
株式会社 報光社



車鑛運



車鑛運形類朝



火藥庫 (石造)

